



WebReport 2.0

ダッシュボードチュートリアル

ごあいさつ

このたびは弊社製品 WebReport2.0 をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

本製品は、基幹系や情報系のデータベースにある様々なデータを Web ブラウザーから簡単に照会できる汎用検索ツールです。

本書は、ダッシュボードエディタ機能を使用したチュートリアルについて記載しております。ご使用の際にお読みください。

なお、表示画面などは操作の一例として掲載しているものです。お客様のご使用環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合がありますので、ご了承ください。

本書に記載されている機能は、「WebReport2.0」をご購入のお客様のみご使用いただけます。



「WebReport2.0 Express」をご使用のお客様は、別途ライセンスをご購入いただく必要があります。

著作権 / ご注意

- 本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製転載することを禁じます。
- 本書に掲載の内容および製品の仕様などは、予告なく変更されることがあります。

本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り、記載もれ、乱丁、落丁などお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

本書の表記方法について

	ハードウェアやソフトウェアの損害やエラーの発生を防止するために、必ず守っていただきたい情報を記載しています。
	特定のテーマに関する補足情報を記載しています。
メニュー、アイコン、ボタン、ウィンドウ、タブ	[] で囲んで表記します。 (例) [OK] ボタンをクリックします。
キーボード上のキー	< > で囲んで表記します。 (例) キーボードの < Tab > キーを押します。
参照先	章、節、項は『 』、見出しは「 」で囲んで表記します。 (例) 『1章1 チュートリアルについて』(P2)を参照してください。

目次

ごあいさつ.....	i
版權 / ご注意.....	i
本書の表記方法について.....	i
目次.....	ii
第 1 章.....	1
チュートリアル概要.....	1
1 チュートリアルについて.....	2
1.1 チュートリアルの概要.....	2
1.2 作業手順.....	3
1.3 グラフの説明.....	4
第 2 章.....	6
チュートリアル準備.....	6
1 サンプルテーブル導入.....	7
1.1 サンプルデータベーステーブルについて.....	7
1.2 サンプルデータベーステーブル導入方法.....	8
1.3 テーブルの登録.....	15
第 3 章.....	19
商品別売上金額グラフの作成.....	19
1 データ用定義作成.....	20
1.1 設定内容.....	20
1.2 設定手順.....	22
2 グラフの作成.....	27
2.1 設定内容.....	27
2.2 設定手順.....	28
第 4 章.....	37
店舗別売上推移グラフを作成する.....	37
1 データ用定義作成.....	38
1.1 設定内容.....	38
1.2 設定手順.....	39

2 グラフの作成.....	45
2.1 設定内容.....	45
2.2 設定手順.....	47
第5章	62
商品別売上推移グラフを作成する	62
1 データ用定義作成	63
1.1 設定内容.....	63
1.2 設定手順.....	65
2 グラフの作成.....	70
2.1 設定内容.....	70
2.2 設定手順.....	72
第6章	87
全体売上金額グラフを作成する	87
1 データ用定義作成	88
1.1 設定内容.....	88
1.2 設定方法.....	90
2 リンク用定義作成	95
2.1 設定内容.....	95
2.2 設定手順.....	97
3 グラフの作成.....	105
3.1 設定内容.....	105
3.2 設定手順.....	106
第7章	115
店舗別売上金額グラフを作成する	115
1 データ用定義作成	116
1.1 設定内容.....	116
1.2 設定手順.....	118
2 グラフの作成.....	125
1.1 設定内容.....	125
1.2 設定手順.....	127

第 1 章

チュートリアル概要

1 チュートリアルについて

1.1 チュートリアルの概要

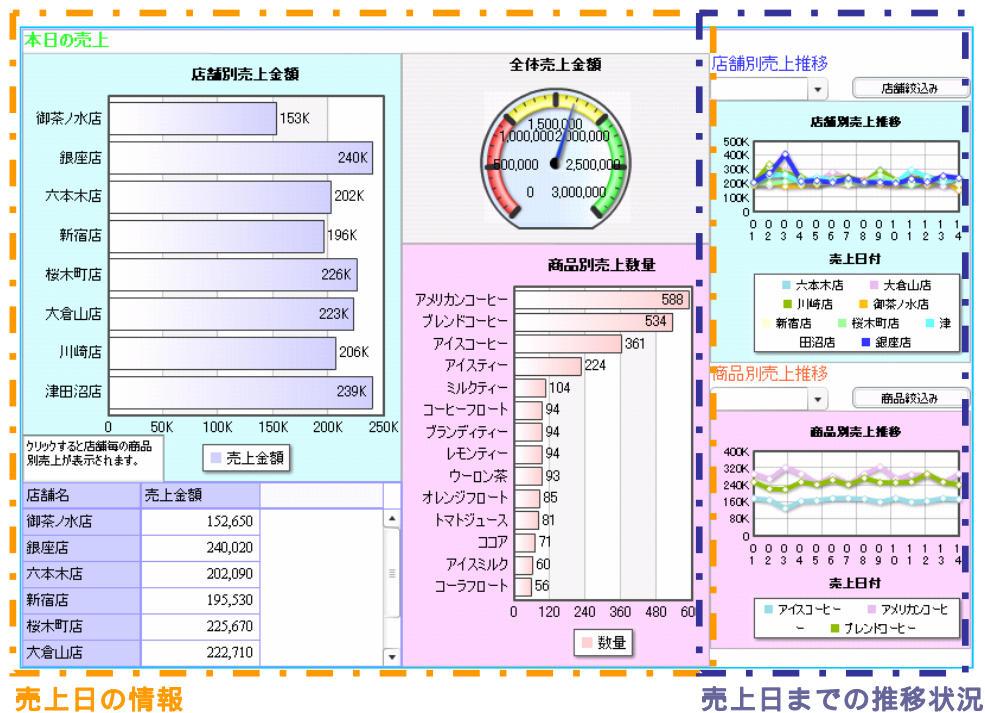
『ダッシュボードチュートリアル』では、サンプルの売上分析表の作成を通して、基本的なグラフの作成方法から、リンクやドリルダウンの設定まで幅広く体験できます。

サンプルでは、今日、どこで、何がどれだけ売れたかの売上日報と、売上日までの推移を一画面でグラフとして表示できる表を作成します。

サンプルには、5つのグラフと1つの表が配置され、グラフや表は、章ごとに、一つあるいは二つずつ作成を進めます。全ての章を通して実施いただくと、図のような完成図を作成することが出来ます。また、必要なグラフのみ、抜粋して実施していただくことも可能です。

以下のようなグラフで構成されます。

- 「店舗別売上金額グラフ・表」（2D 横棒グラフ・表） ドリルダウンあり
- 「全体売上金額グラフ」（ゲージグラフ） リンクあり
- 「商品別売上数量グラフ」（2D 横棒グラフ）
- 「店舗別売上進捗グラフ」（折れ線グラフ） 絞り込みあり
- 「商品別売上進捗グラフ」（折れ線グラフ） 絞り込みあり



(完成図)

1.2 作業手順

以下の順番でご説明を進めます。

第 2 章 チュートリアル準備

チュートリアルで使用するデータベースサンプルテーブルを導入します。

第 3 章 - 第 7 章

ダッシュボード定義を作成します。

難易度の低いグラフから説明を進めます。

ご説明順序は、以下の通りです。

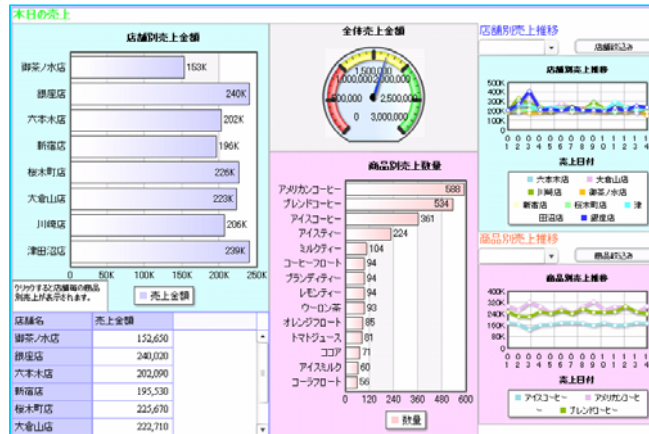
第 3 章 「商品別売上数量グラフ」

第 4 章 「店舗別売上進捗グラフ」

第 5 章 「商品別売上進捗グラフ」

第 6 章 「全体売上金額グラフ」

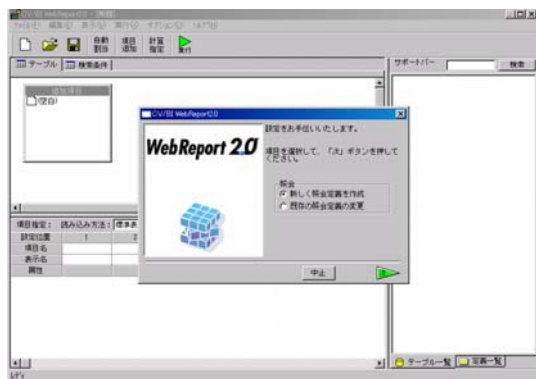
第 7 章 「店舗別売上金額グラフ」



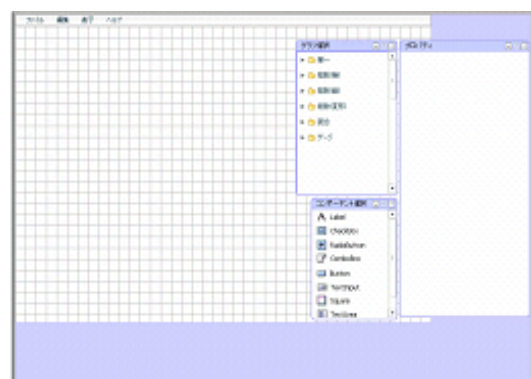
チュートリアルでは、全ての章を通して、一つの定義を作成しますが、全ての章を実施せず、抜粋してグラフを作成していただいてもかまいません。

どの章も、以下の順番で進めます。

1. データ用定義作成（定義設定画面で設定）、
2. グラフ・表の作成（ダッシュボードエディタ上で設定）



（定義設定画面）



（ダッシュボード画面）

各グラフと表の説明と難易度は「1.3 グラフの説明」をご参照下さい。

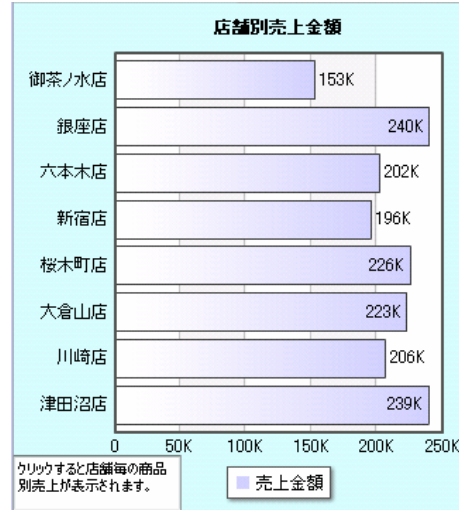
1.3 グラフの説明

各グラフの詳細は以下の通りです。

「店舗別売上グラフ」(2D 横棒グラフ)・「店舗別売上表」(DataGrid) : 難易度 3

ある日の店舗別の売上を棒グラフで表示させます。
 グラフをクリックすると、店舗別から、その店舗の商品別のグラフに変化するよう「ドリルダウン」設定します。
 同じデータを、表コンポーネントで表示させます。

店舗名	売上金額
御茶ノ水店	152,650
銀座店	240,020
六本木店	202,090
新宿店	195,530
桜木町店	225,670
六倉山店	222,710



全体売上グラフ(ゲージグラフ) : 難易度 3

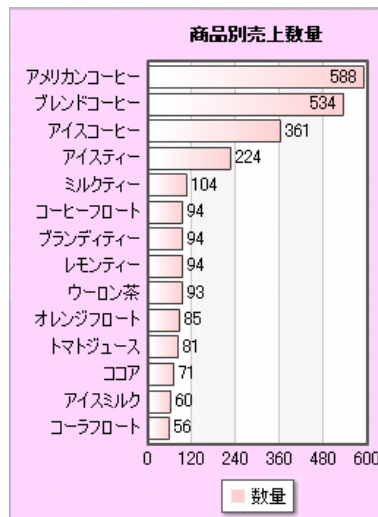
ある日の全ての店の売上合計をゲージで表示させます。
 クリックすると売上明細が表示されるように、「リンク」設定をします。



商品名	御茶ノ水店	銀座店	六本木店	新宿店	桜木町店	六倉山店	川崎店	津田沼店
アイスコーヒー	8	3490	8	3490	8	3490	8	3490
アイスミルク	7	3360	7	3360	7	3360	7	3360
アイスティー	56	26880	56	26880	56	26880	56	26880
アイスミルクティー	22	10560	22	10560	22	10560	22	10560
アイスコーヒー	3	1440	3	1440	3	1440	3	1440
アイスミルク	11	5280	11	5280	11	5280	11	5280
アイスティー	2	960	2	960	2	960	2	960
アイスミルクティー	12	5760	12	5760	12	5760	12	5760
アイスコーヒー	4	1920	4	1920	4	1920	4	1920
アイスミルク	10	4800	10	4800	10	4800	10	4800
アイスティー	12	5760	12	5760	12	5760	12	5760
アイスミルクティー	6	2880	6	2880	6	2880	6	2880

商品別売上数量グラフ(2D 横棒グラフ) : 難易度 1

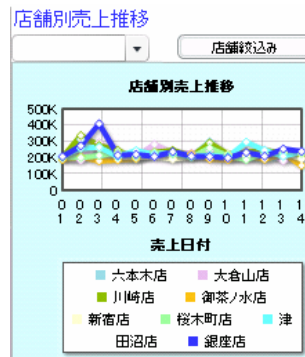
ある日の売上商品数量を、棒グラフで表示させます。50個より売り上げた商品だけを表示させます。



店舗別売上推移グラフ（2D 線グラフ）：難易度 2

売上日別の店舗ごとの売上金額の推移を表示させます。

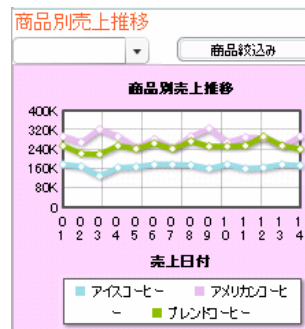
コンボボックスを使用することにより、店舗を絞り込んで表示できます。



商品別売上推移グラフ（2D 線グラフ）：難易度 2

売上日別の商品ごとの売上金額の推移を表示させます。

コンボボックスを使用することにより、商品を絞り込んで表示できます。



グラフの説明は以上です。

第 2 章

チュートリアル準備

1 サンプルテーブル導入

1.1 サンプルデータベーステーブルについて

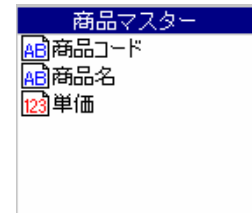
チュートリアルで使用するデータベーステーブルは、メディアの Sample フォルダに収められています。導入方法は、ご使用の環境によって異なります。

チュートリアルでは、以下のデータベーステーブルを使用します。

商品マスターテーブル … 商品情報が格納されています。

項目

- ・商品コード
- ・商品名
- ・単価

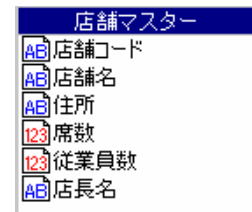


商品マスター	
AB	商品コード
AB	商品名
123	単価

店舗マスターテーブル … 店舗情報が格納されています。

項目

- ・店舗コード
- ・店舗名
- ・住所
- ・席数
- ・従業員数
- ・店長名

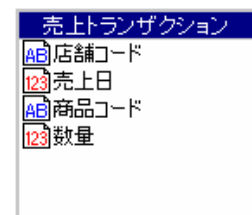


店舗マスター	
AB	店舗コード
AB	店舗名
AB	住所
123	席数
123	従業員数
AB	店長名

売上トランザクションテーブル … 売上情報が格納されています。

項目

- ・店舗コード
- ・売上日
- ・商品コード
- ・数量



売上トランザクション	
AB	店舗コード
123	売上日
AB	商品コード
123	数量

1.2 サンプルデータベーステーブル導入方法

チュートリアルで使用するサンプルデータベースを導入します。

サンプルデータベース導入用スクリプトは、sample フォルダに格納されています。

i5/iSeries/AS400

サンプルテーブルの SAVF を復元します。

作業前に、以下の項目を確認して下さい。

QSECOFR のパスワード

メディアの sample¥DashBoard¥AS400 フォルダを Windows クライアントの任意の場所にコピーします。

TCP/IP で接続できる Windows クライアントのスタートメニューのプログラムから、「コマンドプロンプト」を起動します。

FTP を起動し、次の下線部を入力します。

```

ftp> open 192.168.118.210
Connected to 192.168.118.210.
220-QTCP AT S654BAFB.
220 CONNECTION WILL CLOSE IF IDLE MORE THAN 5 MINUTES.
User (192.168.118.210:(none)): qsecofr
331 ENTER PASSWORD.
Password:XXXXXX
230 QSECOFR LOGGED ON.
ftp> binary
200 REPRESENTATION TYPE IS BINARY IMAGE.
ftp> quote site namefmt 1
250 NOW USING NAMING FORMAT "1".
ftp> put C:¥tmp¥AS400¥BISAMPLE.SAVF /qsys.lib/qtpl.lib/BISAMPLE.SAVF
200 PORT SUBCOMMAND REQUEST SUCCESSFUL.
150 SENDING FILE TO MEMBER BISAMPLE IN FILE BISAMPLE IN LIBRARY QGPL.
250 FILE TRANSFER COMPLETED SUCCESSFULLY.
ftp: 396528 bytes sent in 0.67Seconds 590.95Kbytes/sec.
ftp> close
ftp> bye

```

AS400 の IP アドレスまたはホスト名を入力

ユーザーは QSECOFR

QSECOFR のパスワードを入力(表示されません)

バイナリモードに変更

名前付け書式を 1 に設定

ファイル転送

「IBM Personal Communications」「JDeskTop i-Connector」等を起動し、QSECOFR でサインオンします。

サンプルテーブル用「BISAMPLE」ライブラリを作成し、

RSTOBJ コマンドを実行します。

```

CRTLIB LIB(BISAMPLE)
RSTOBJ OBJ(*ALL) SAVLIB(BISAMPLE) DEV(*SAVF) SAVF(QGPL/BISAMPLE)

```

作業は以上です。1.3 に進んで下さい。

DB2 UDB

作業前に、以下の項目を確認して下さい。

サンプルテーブルを導入するデータベース名

ユーザー名

パスワード

通常、 のユーザー名でテーブルのスキーマが作成されます。1.3 で使用するためメモをしておきます。サンプルテーブルは、9 つ作成されます。

バッチファイルを実行し、サンプルデータベーステーブルを導入します。

メディアの sample¥DashBoard¥DB2 フォルダを任意の場所にコピーします。

スタートメニューのプログラムから、「DB2 コマンドウィンドウ」を起動します。

カレントドライブを、チェンジディレクトリコマンドなどを使用してバッチファイルが存在するディレクトリに移動します。

以下のコマンドを入力し、<Enter>キーを押します。

```
create_sample DBNAME USERID PASSWORD
```

または

```
create_sample2 DBNAME USERID PASSWORD SERVER
```

DBNAME DB 名

USERID ユーザーID

PASSWORD パスワード

(SERVER サーバー名、インスタンス名)

導入ログファイル (create_sample.log) が、DB2 フォルダに作成されます。ご確認の上、特にエラーがなければ、1.3 にお進み下さい。

Oracle

作業前に、以下の項目を確認して下さい。

ユーザー名

パスワード

通常、 のユーザー名でテーブルのスキーマが作成されます。1.3 で使用するためメモをしておきます。サンプルテーブルは、9 つ作成されます。

バッチファイルを実行し、サンプルデータベーステーブルを導入します。

メディアの sample¥DashBoard¥Oracle フォルダを任意の場所にコピーします。

スタートメニューのプログラムから、「コマンドプロンプト」を起動します。

カレントドライブを、チェンジディレクトリコマンドなどを使用してバッチファイルが存在するディレクトリに移動します。

以下のコマンドを入力し、<Enter>キーを押します。

```
create_sample USERID PASSWORD
```

USERID ユーザーID

PASSWORD パスワード

導入ログファイル (create_sample.log) が、Oracle フォルダに作成されます。ご確認の上、特にエラーがなければ、1.3 にお進み下さい。

Microsoft SQL Server

作業前に、以下の項目を確認して下さい。

サンプルテーブルを導入するデータベース名

ユーザー名

パスワード

通常、 のユーザー名でテーブルのスキーマが作成されます。1.3 で使用するためメモをしておきます。サンプルテーブルは、9 つ作成されます。

バッチファイルを実行し、サンプルデータベーステーブルを導入します。

メディアの sample¥DashBoard¥mssql フォルダを任意の場所にコピーします。

スタートメニューのプログラムから、「コマンドプロンプト」を起動します。

カレントドライブを、チェンジディレクトリコマンドなどを使用してバッチファイルが存在するディレクトリに移動します。

以下のコマンドを入力し、<Enter>キーを押します。

```
create_sample DBNAME USERID PASSWORD
```

DBNAME DB 名

USERID ユーザーID

PASSWORD パスワード

導入ログファイル (create_sample.log) が、mssql フォルダに作成されます。ご確認の上、特にエラーがなければ、1.3 にお進み下さい。

MySQL

作業前に、以下の項目を確認してください。

サンプルテーブルを導入するデータベース名

ユーザー名

パスワード

サンプルテーブルは、9 つ作成されます。

バッチファイルを実行し、サンプルデータベーステーブルを導入します。

メディアの sample¥DashBoard¥MySQL フォルダを任意の場所にコピーします。

スタートメニューのプログラムから、「コマンドプロンプト」を起動します。

カレントディレクトリを、チェンジディレクトリコマンドなどを使用してバッチファイルが存在するディレクトリに移動します。

以下のコマンドを入力し、<Enter>キーを押します。

```
create_sample DBNAME USERID PASSWORD
```

DBNAME 導入先データベース名

USERID ユーザーID

PASSWORD パスワード

導入ログファイル (create_sample.log) が、MySQL フォルダに作成されます。ご確認の上、特にエラーがなければ、1.3 にお進み下さい。

テーブルの削除

サンプルテーブルの削除方法をご説明します。

i5/iSeries/AS400

ライブラリを削除します。

DLTLIB LIB(BISAMPLE)

警告が出て削除できない場合には、オブジェクトごとに削除します。

DSH_AR を最後に削除します。

DB2

DB2¥drop ディレクトリに移動します。

以下のコマンドを入力し、<Enter>キーを押します。

```
drop_sample DBNAME USERID PASSWORD
```

Oracle

Oracle¥drop ディレクトリに移動します。

以下のコマンドを入力し、<Enter>キーを押します。

```
drop_sample USERID PASSWORD
```

Microsoft SQL Server

mssql¥drop ディレクトリに移動します。

以下のコマンドを入力し、<Enter>キーを押します。

```
drop_sample DBNAME USERID PASSWORD
```

MySQL

MySQL¥drop ディレクトリに移動します。

以下のコマンドを入力し、<Enter>キーを押します。

```
drop_sample DBNAME USERID PASSWORD
```

1.3 テーブルの登録

管理ツールを使用し、サンプルテーブルを登録します。

管理ツールの導入に関しては、製品付属の『導入の手引き』を、管理ツールのご使用にしましては、『ユーザーズマニュアル 第 2 章 システム管理者編』をそれぞれご覧下さい。

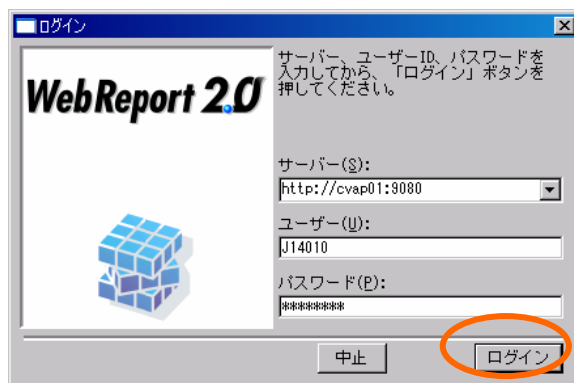
<サンプルテーブルを導入したデータベースが管理ツールに登録されていない場合>

Web サーバー、管理ツールでのデータベース登録が必要になります。

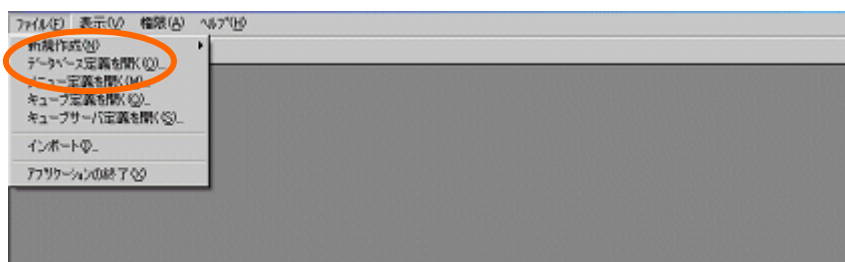
詳細は『導入の手引き』をご参照下さい。

[スタート]メニューから、[プログラム] [Customer Vision] [WebReport] [CV/BI 管理ツール]を起動します。

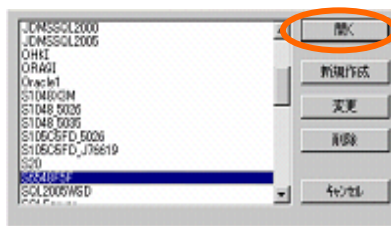
適切なパスワードを入力してログインします。



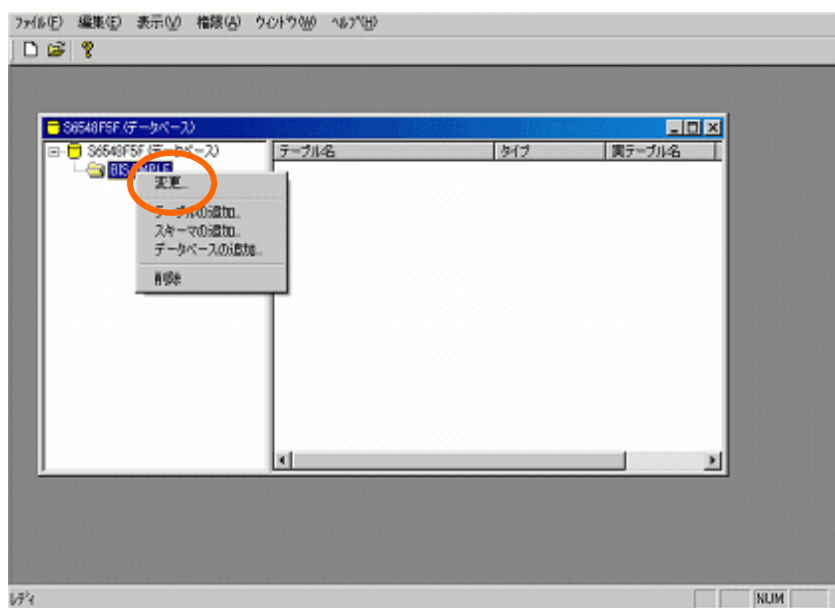
[ファイル]メニューから[データベース定義を開く]をクリックします。



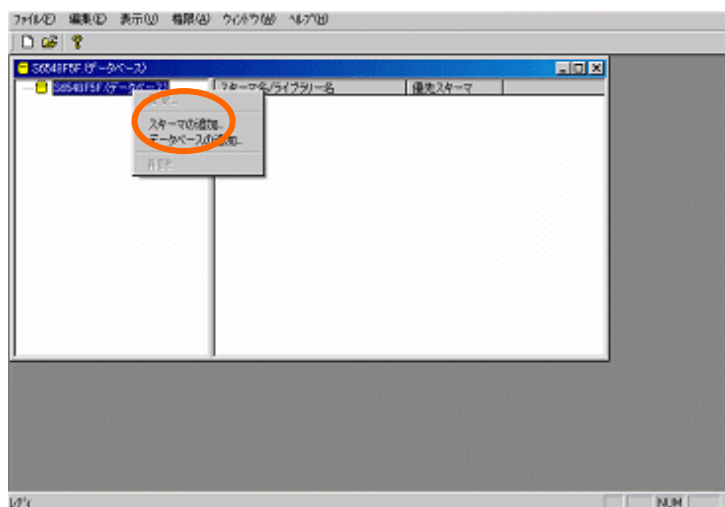
サンプルテーブルを導入したデータベースを選択し、[開く]ボタンをクリックします。



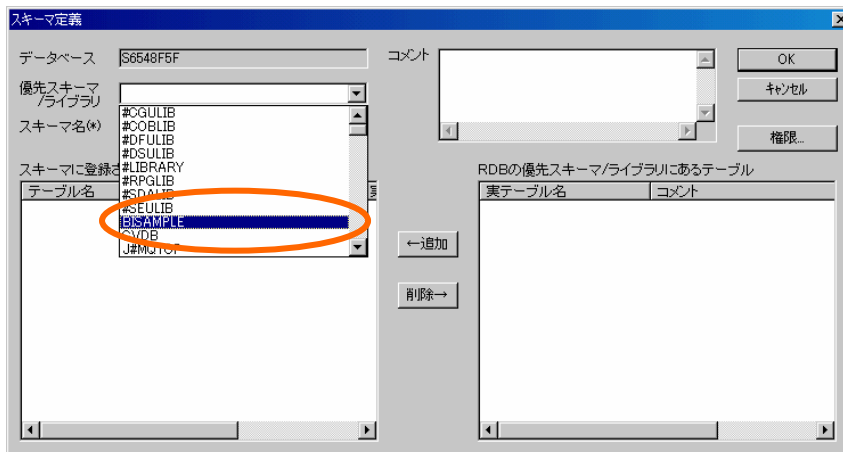
(サンプルテーブルを導入したスキーマ(ライブラリ)が登録されている場合)スキーマ名を選択し、右クリックします。「変更」を選択します。次ページの中段にお進み下さい。



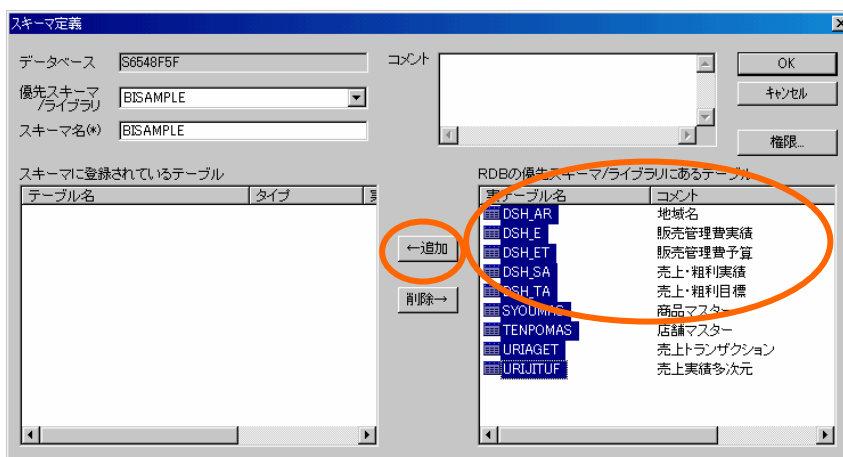
(サンプルテーブルを導入したスキーマ(ライブラリ)が選択されていない場合)データベース名を選択し、「スキーマの追加」を選択します。



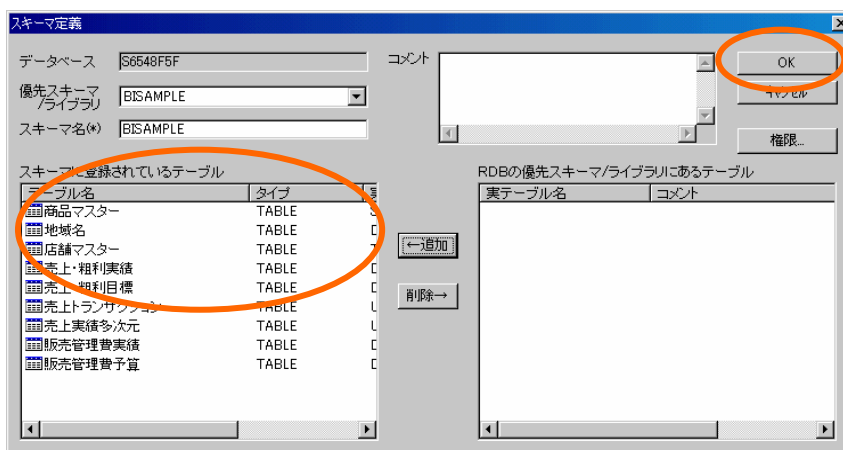
表示されたダイアログで、テーブルが存在するスキーマ名を選択します。



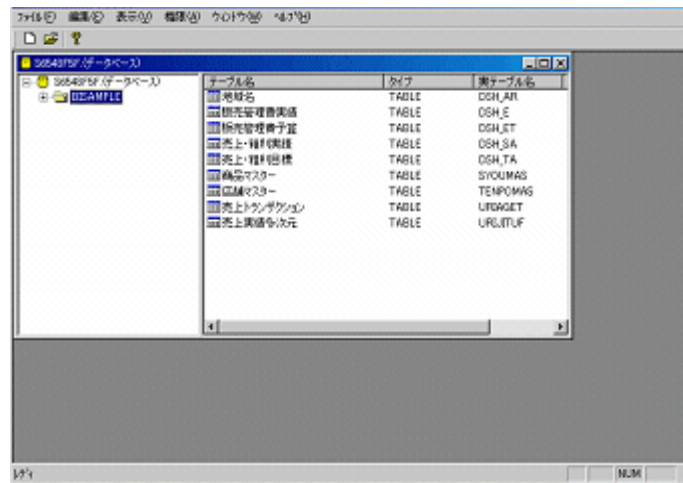
ダイアログで、右側のリストから全てのテーブル名を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



左側にテーブルが登録されたことを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



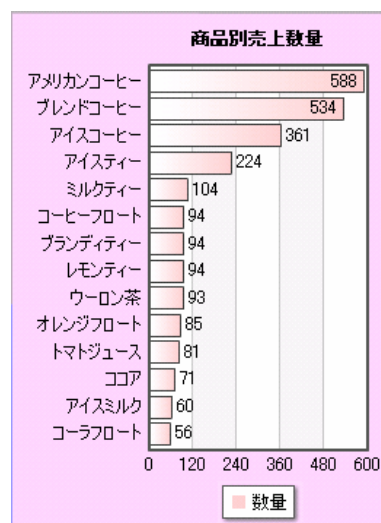
テーブルが登録されます。



テーブルを登録したデータベース名は、チュートリアル実施時に使用しますのでメモ等にお控え下さい。

第 3 章

商品別売上金額グラフの作成



1 データ用定義作成

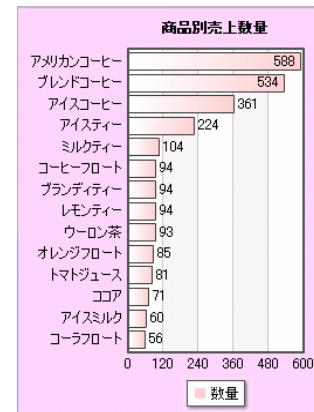
ある売上日の、商品別の売上数量グラフ、「商品別売上数量グラフ」用の定義「商品別売上数量」を作成します。

売上日は、「20140814」を指定します。

(画面では「20030814」となっていますが、読み替えて実行してください。)

商品数が多いため、数量が50より上のものに絞り、軸として設定します。

多く売れた商品順に表示をします。

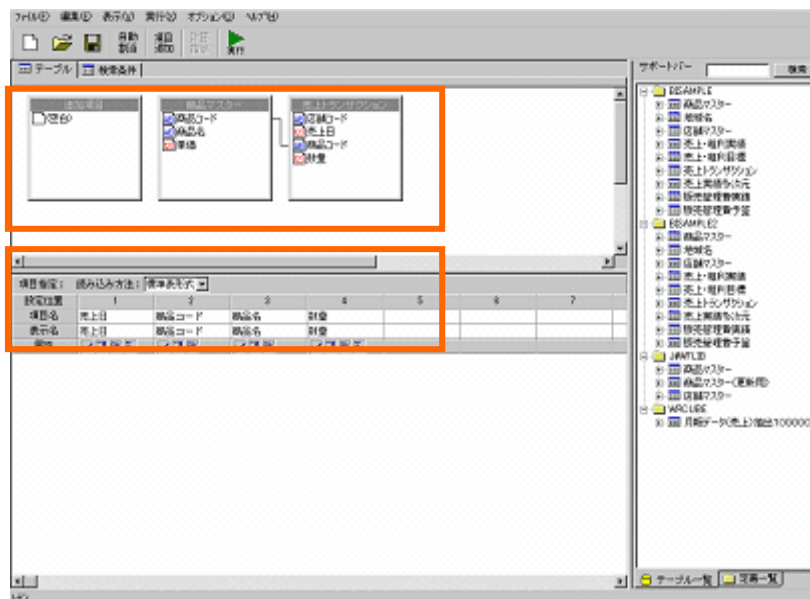


1.1 設定内容

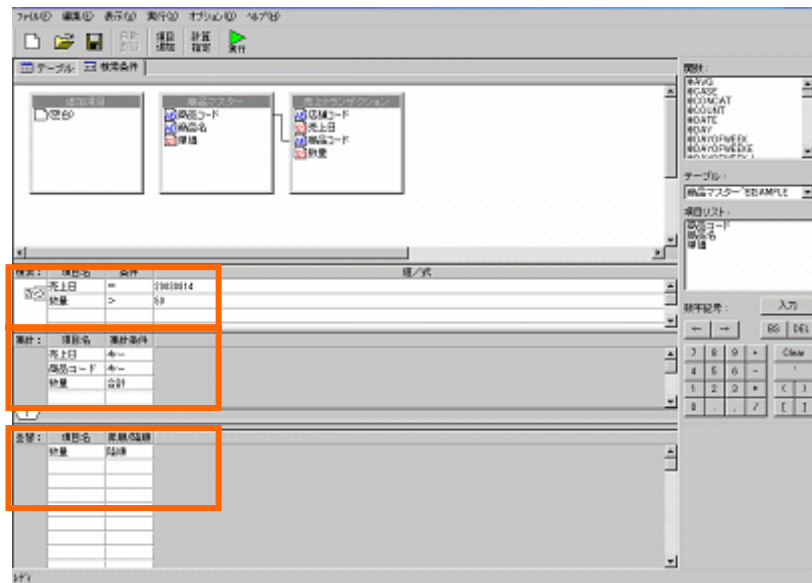
照会定義の設定内容は以下の通りです。詳細な手順は「1.2 設定手順」をご覧ください。

定義名：商品別売上数量

①使用テーブル	「商品マスター」「売上トランザクション」
テーブル結合条件	「商品マスター」と「売上トランザクション」を結合 「商品コード」キー
②項目設定	読み込み方法「標準表形式」 項目名「売上日」「商品コード」「商品名」「数量」



③検索条件	「売上日」=「20140814」 「数量」>「50」
④集計条件	「売上日」「キー」 「商品コード」キー 「数量」合計
⑤並替条件	「数量」降順



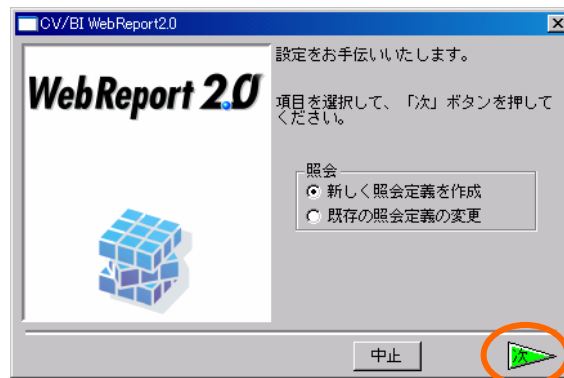
1.2 設定手順

定義設定ボタンをクリックします。



定義設定ウィザードが起動されます。

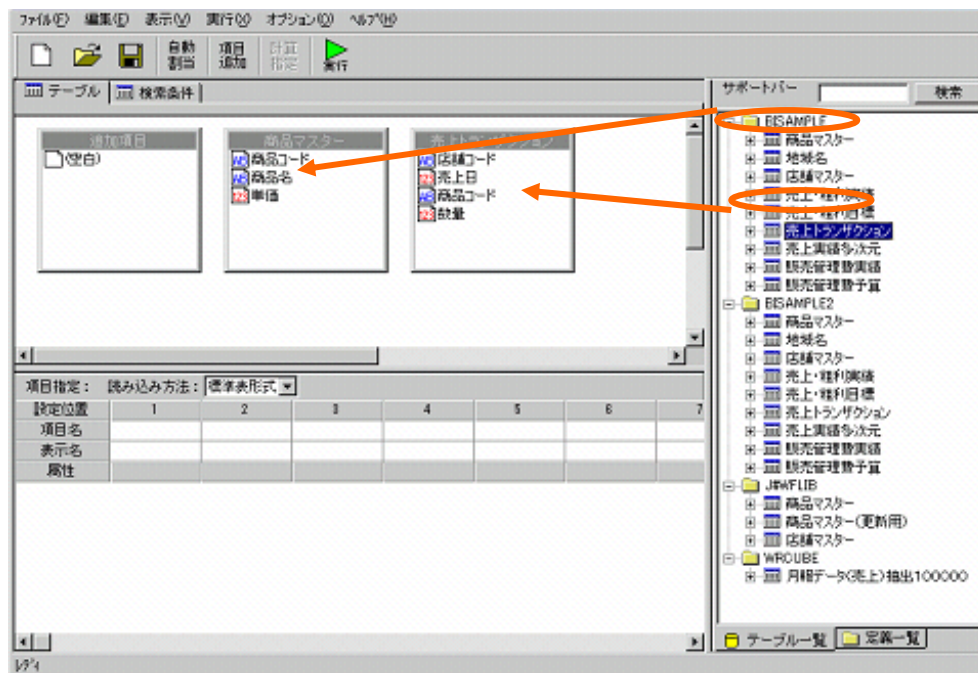
「新しく照会定義を作成」を選択し、[次]ボタンをクリックし、第2章でサンプルテーブルを作成したデータベース名を指定します。



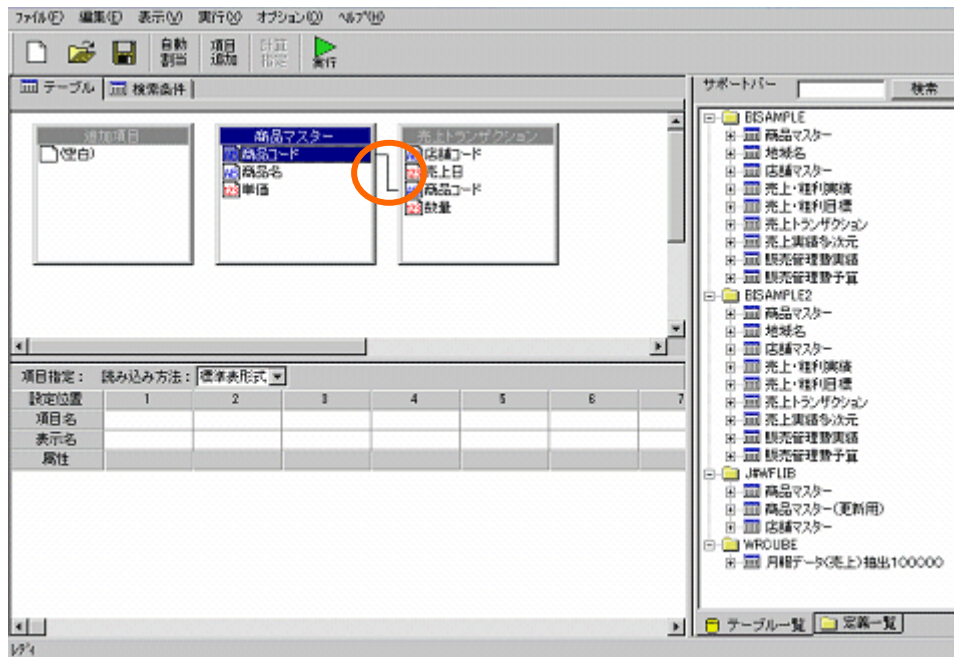
指定後は、再度[次]ボタンをクリックし、ウィザードを終了させます。

定義設定画面が表示されます。

サポートバーから、テーブル指定域に、「商品マスター」、「売上トランザクション」をドラッグアンドドロップして追加します。



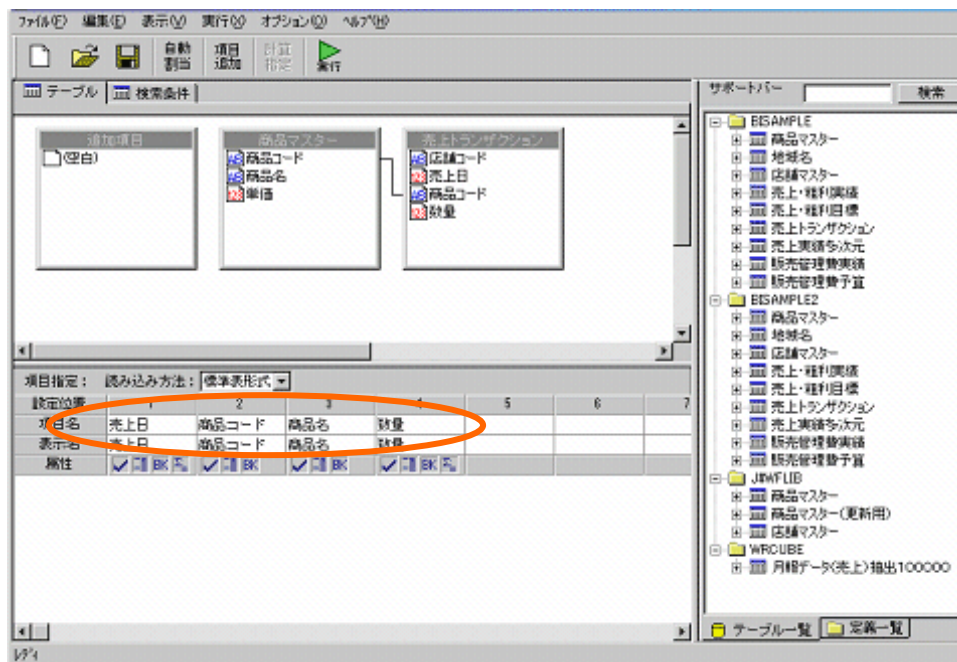
「商品マスター」と「売上トランザクション」を「商品コード」で結合します。



項目を選択します。

「売上トランザクション」からは「売上日」「数量」

「商品マスター」からは「商品コード」「商品名」を項目指定域で設定します。



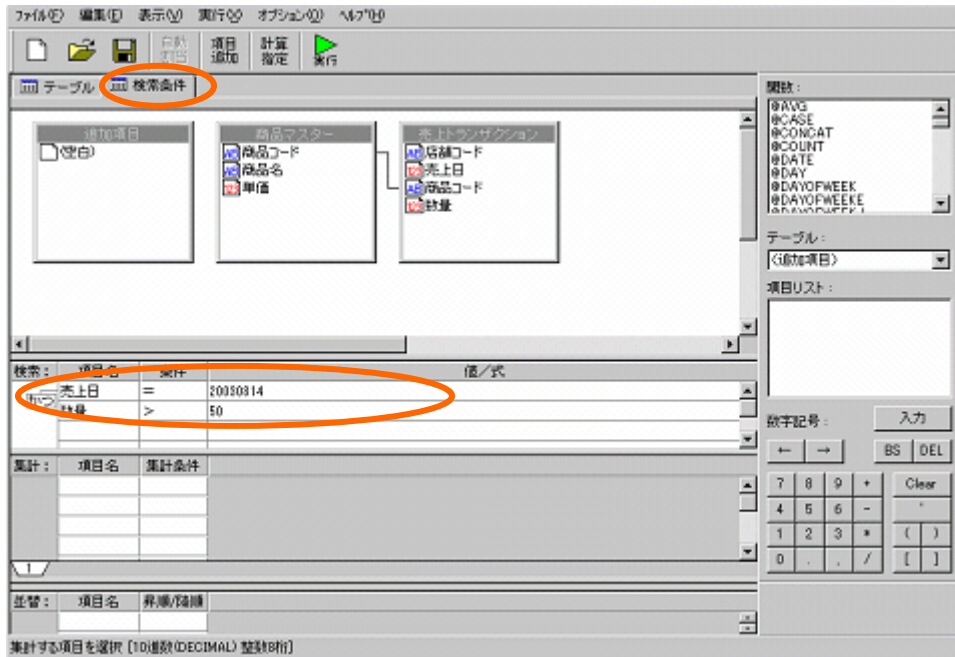
「検索条件」を設定します。

ページ切り替えタブで、検索条件タブをクリックします。

「売上日」 = 「20140814」

(画面では「20030814」となっていますが、読み替えて実行してください。)

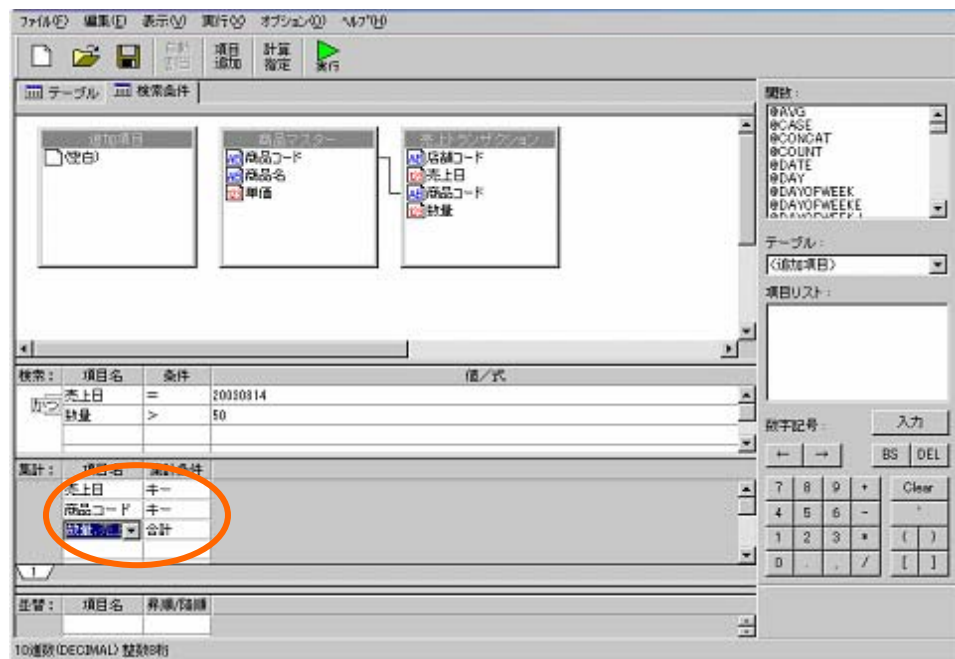
「数量」 > 「50」



集計の設定をします。

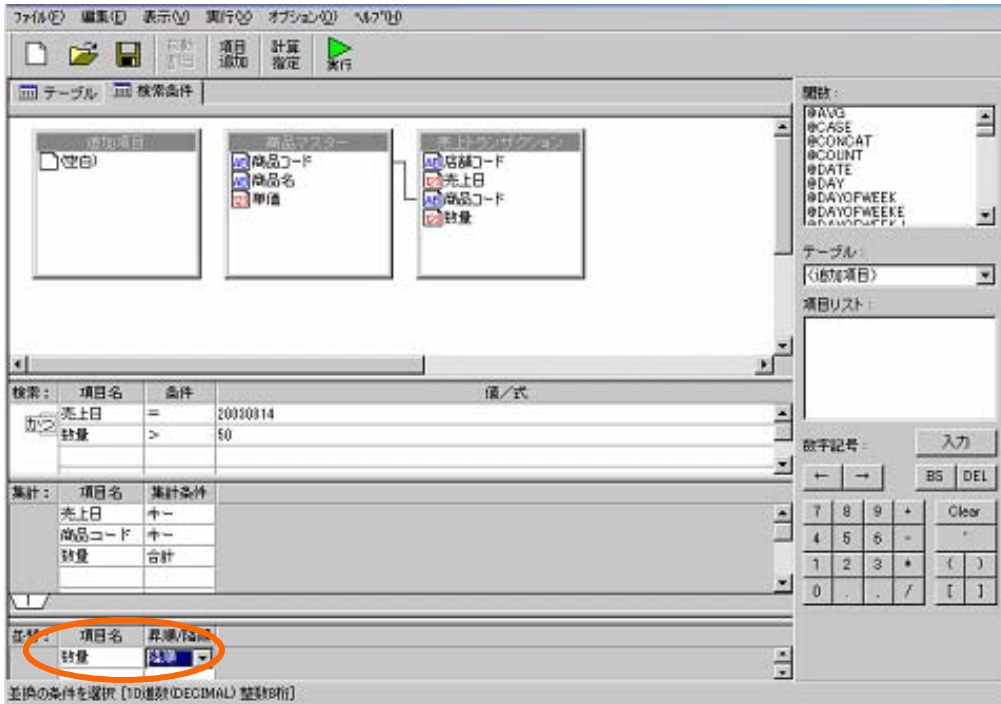
「商品コード」「売上日」を「キー」に指定します。

「数量」を「合計」に指定します。



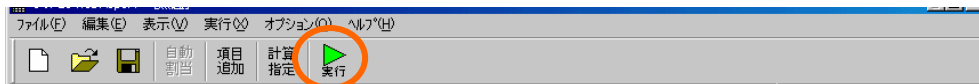
並替の設定をします。

「数量」を「降順」で並び替えます。



作成した定義のレポート結果を確認します。

[実行]ボタンをクリックします。

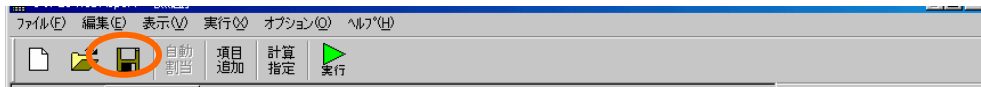


確認後は[閉じる]ボタンをクリックします。



定義を保管します。

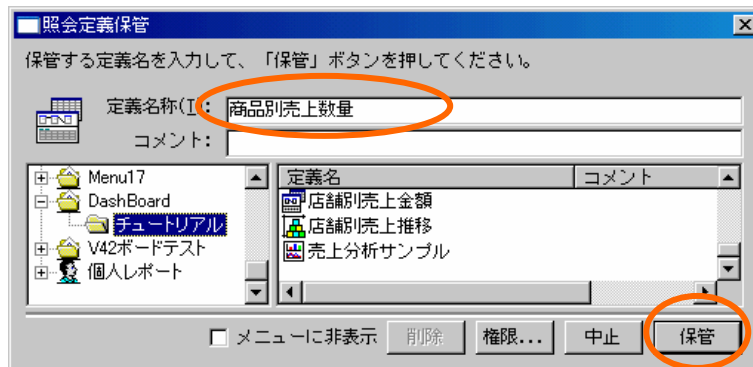
[保管]ボタンをクリックします。



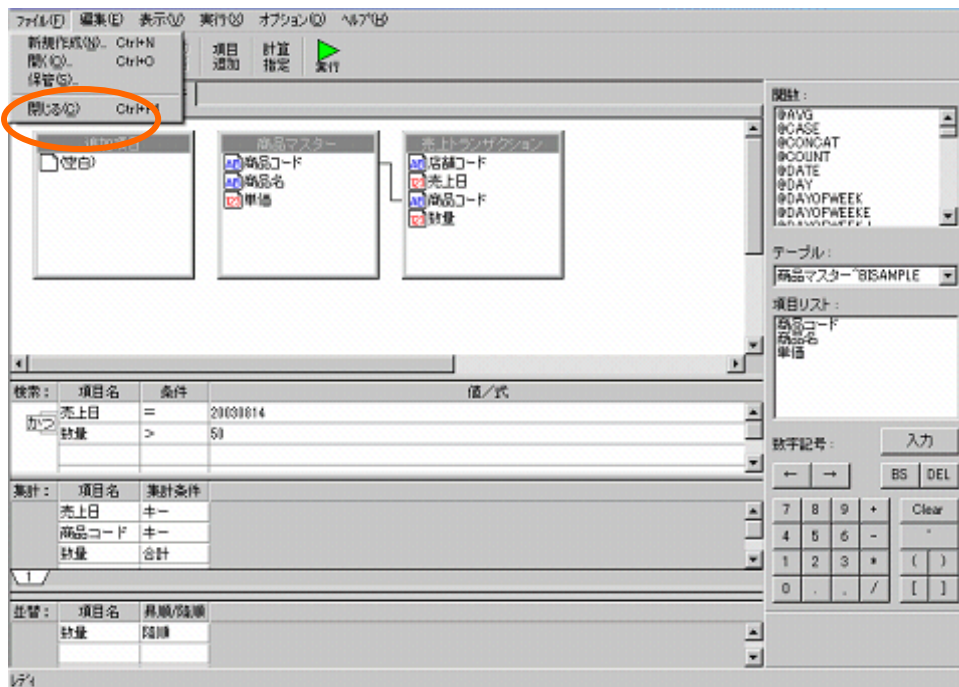
「照会定義保管」ダイアログが表示されます。

定義を保管するメニュー、フォルダを選択し、

「商品別売上数量」という名前を入力し、[保管]ボタンをクリックします。



メニューバーの[ファイル]-[閉じる]をクリックし、定義設定ダイアログを終了させます。



データ用定義作成は以上です。

2 グラフの作成

「商品別売上数量グラフ」を作成します。

2.1 設定内容

バインドする定義、プロパティは以下の通りです。

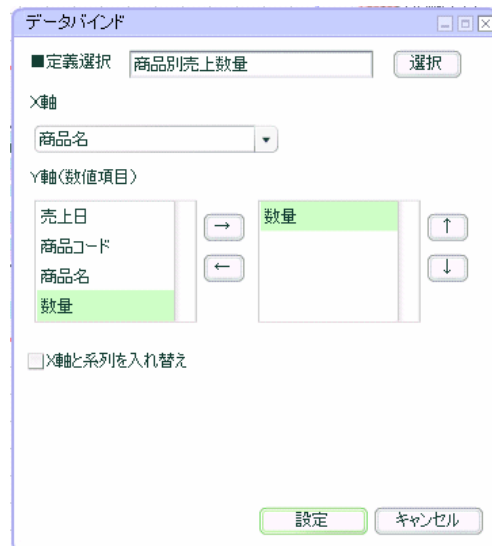
詳細な手順は、次ページをご覧ください。

バインド定義

データに使用する定義	商品別売上数量
X 軸	商品名
Y 軸	数量

プロパティ

X 座標	320
Y 座標	180
幅	260
高さ	355
背景色	FAD1FA(カラーチャート 6 行 6 列)
フォントサイズ	12
右余白	15
配色	レッド

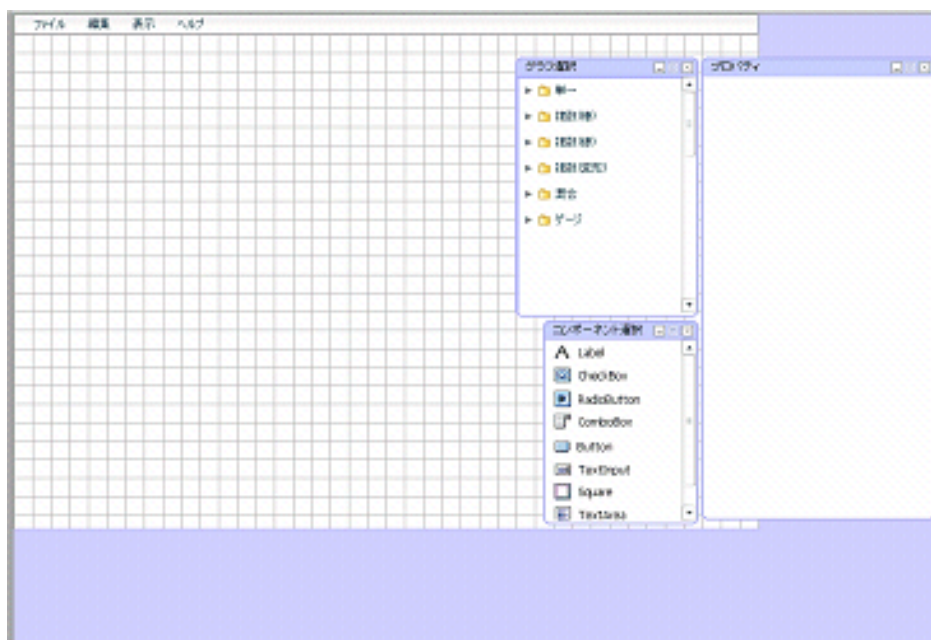


2.2 設定手順

「ダッシュボードエディタボタン」をクリックします。



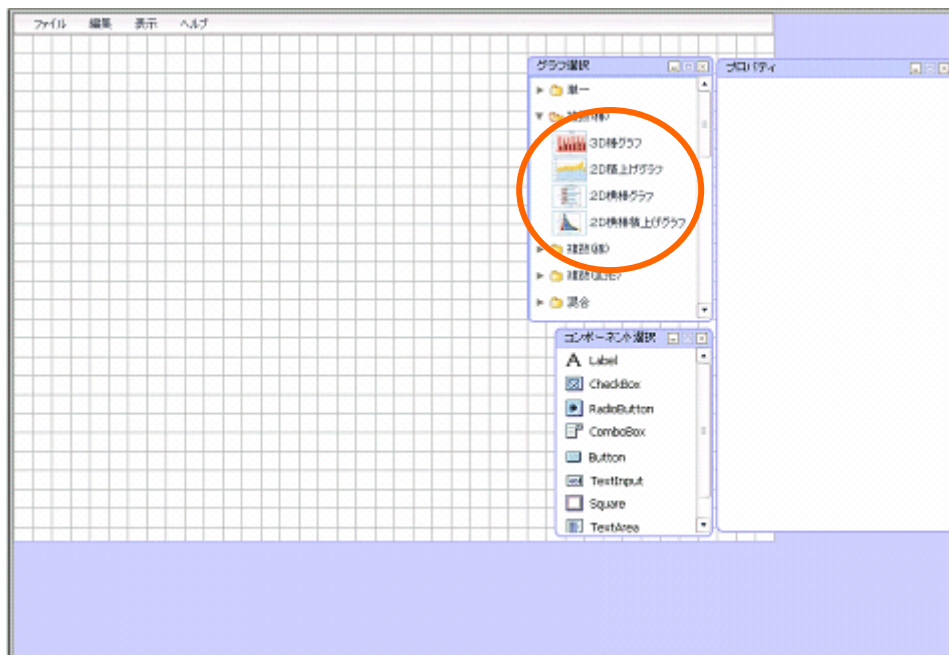
「ダッシュボードエディタ」が起動されます。



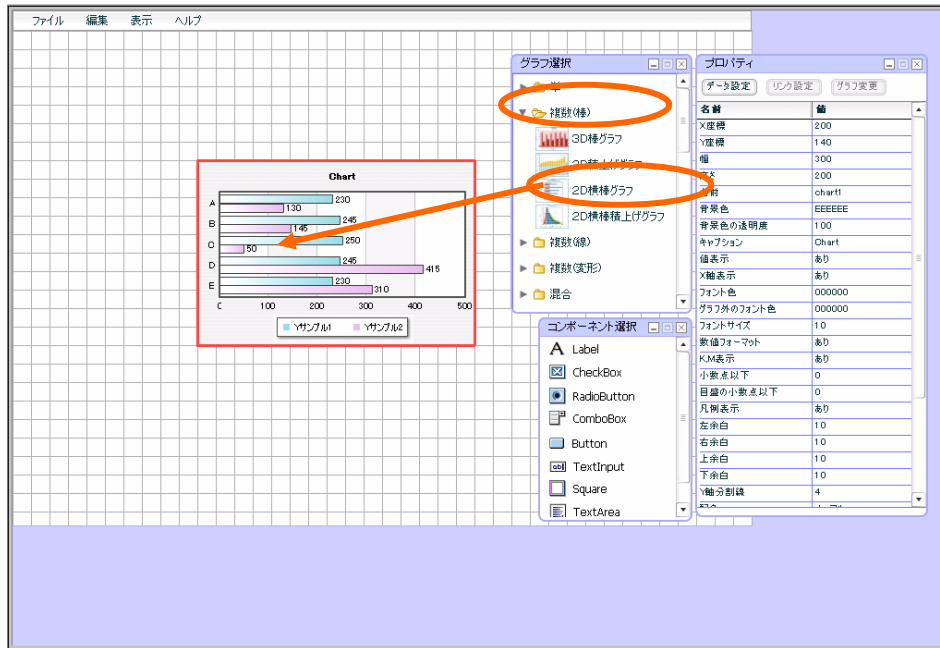
グラフ配置

グラフを配置します。

「グラフ選択ウィンドウ」で、「複数（棒）」をクリックして展開します。

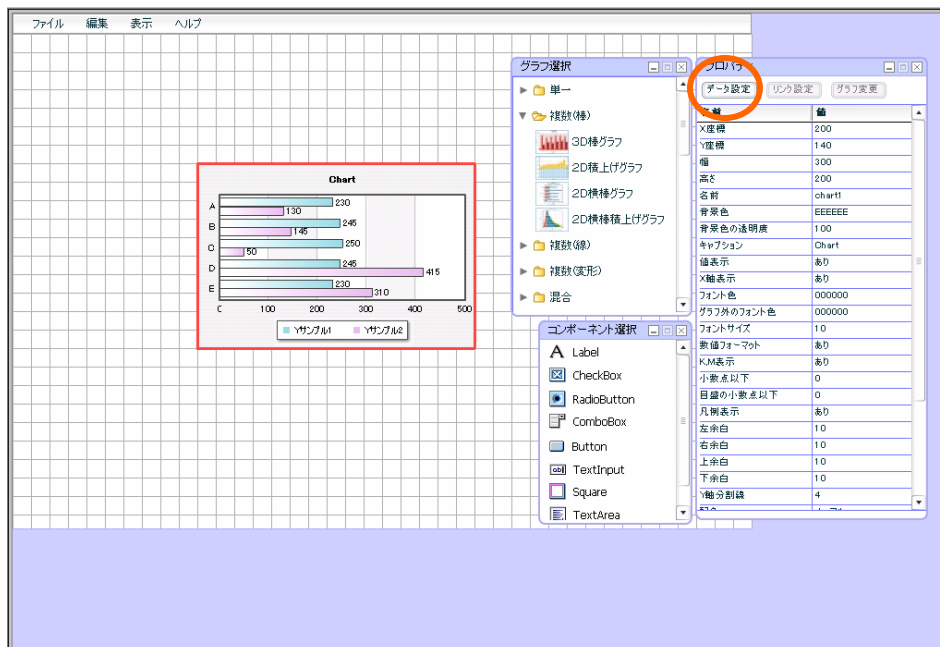


「2D 横棒グラフ」を選択し、キャンバス中央にドロップします。

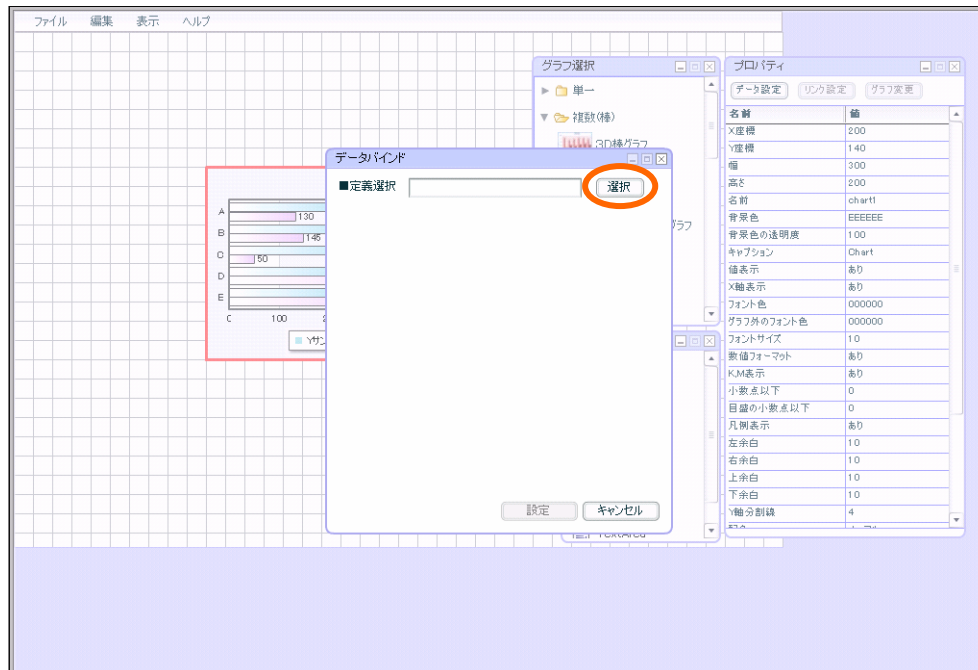


データ設定

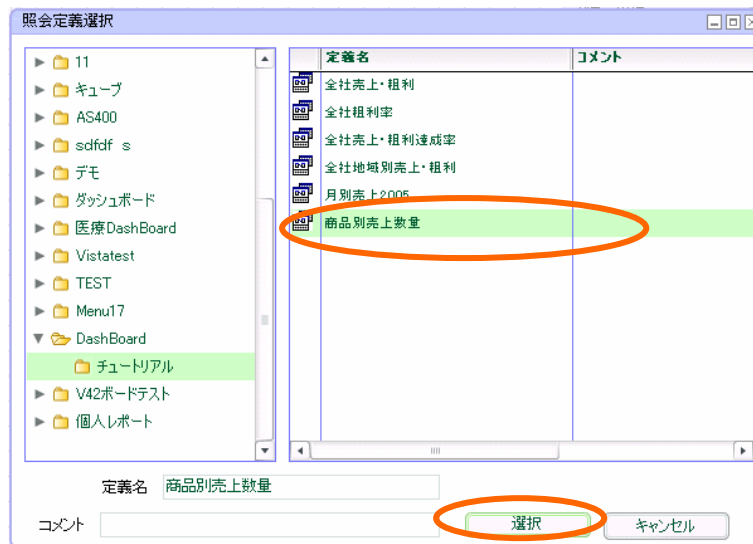
プロパティウィンドウの[データ設定]ボタンをクリックします。



[選択]ボタンをクリックします。

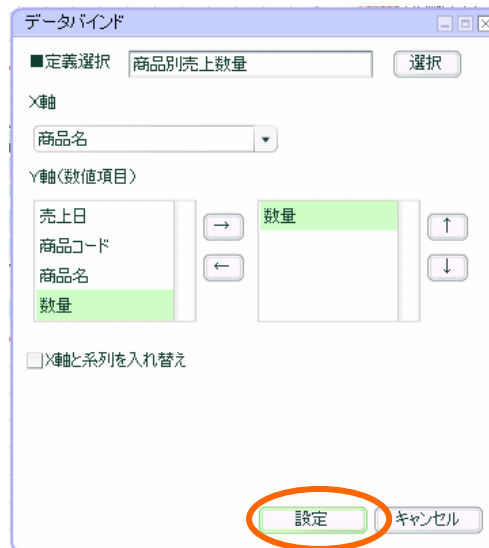


「1 データ用定義作成」で作成した、「商品別売上数量」定義を選択します。

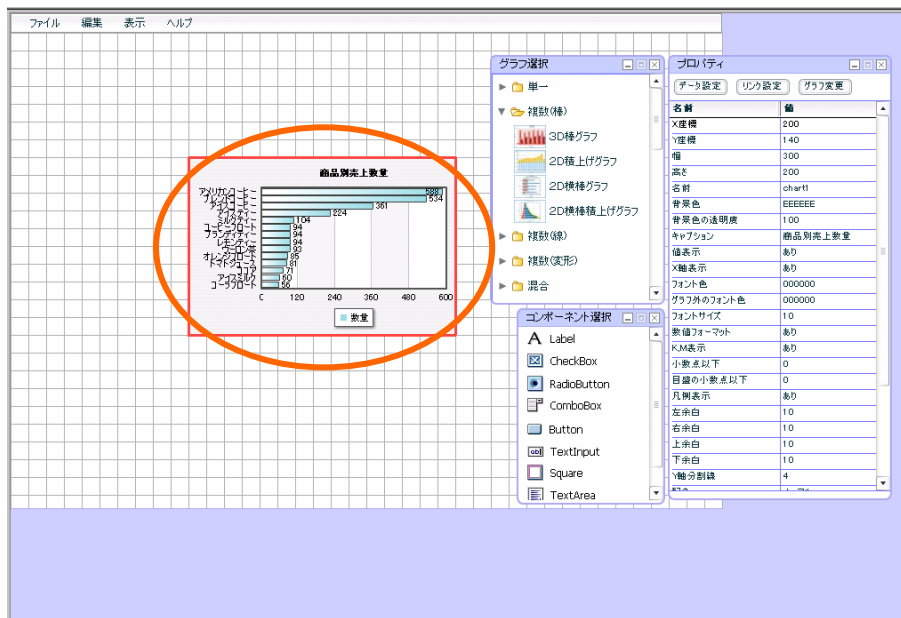


X軸に、「商品名」

Y軸に、「数量」をそれぞれ選択し、[設定]ボタンをクリックします。



データがバインドされます。



プロパティ設定

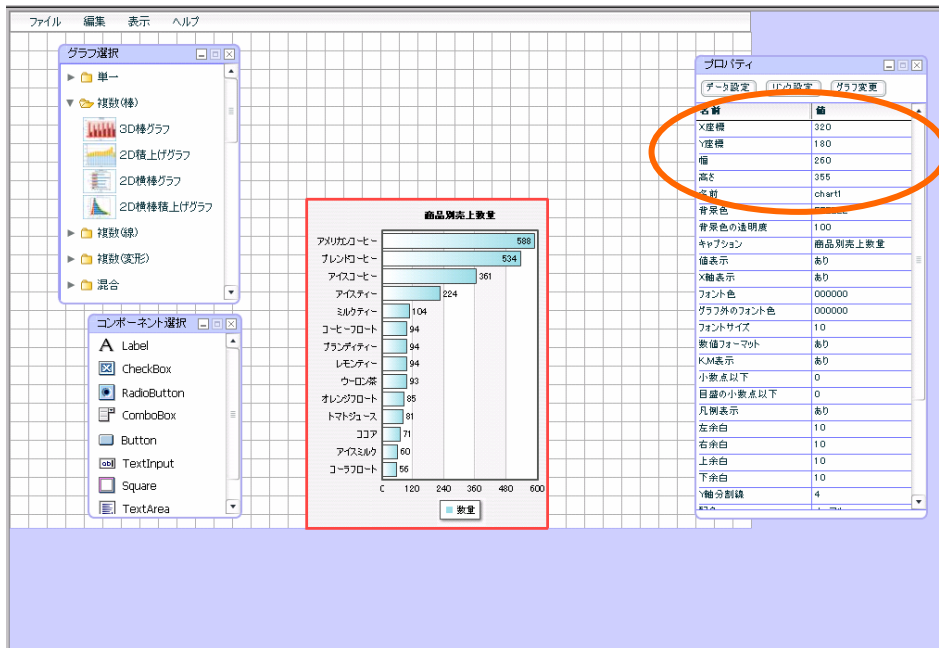
プロパティウィンドウで、以下のプロパティを設定します。値をそれぞれ入力します。

「X座標」 「320」

「Y座標」 「180」

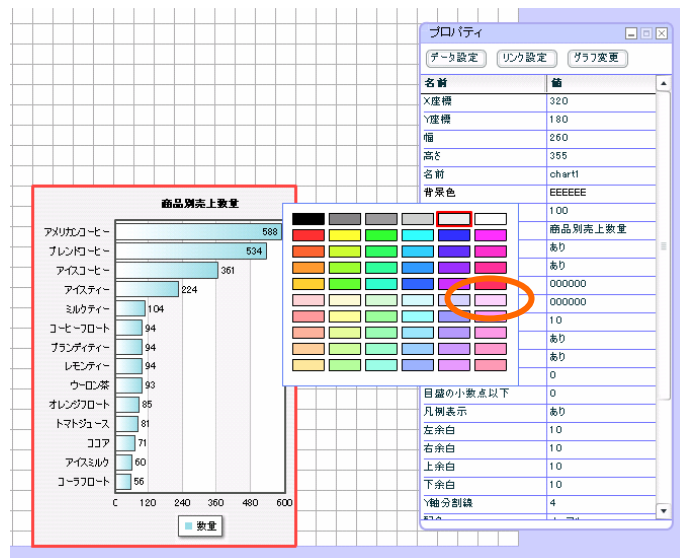
「幅」 「260」

「高さ」 「355」



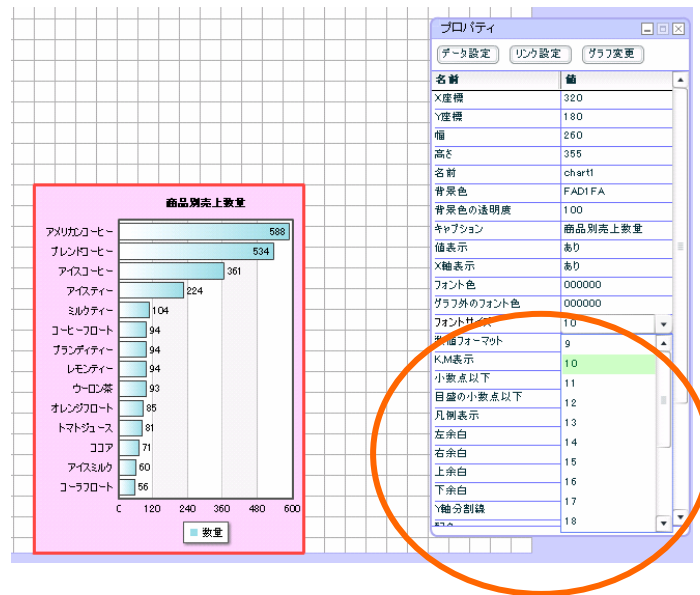
プロパティウィンドウで、以下のプロパティを設定します。

「背景色」 「FAD1FA(カラーチャート 6 行 6 列)」



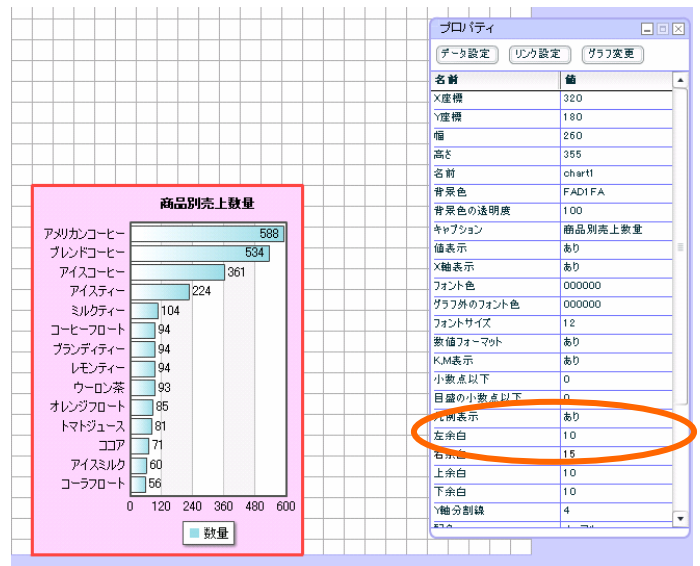
プロパティウィンドウで、以下のプロパティを設定します。

「フォントサイズ」「12」



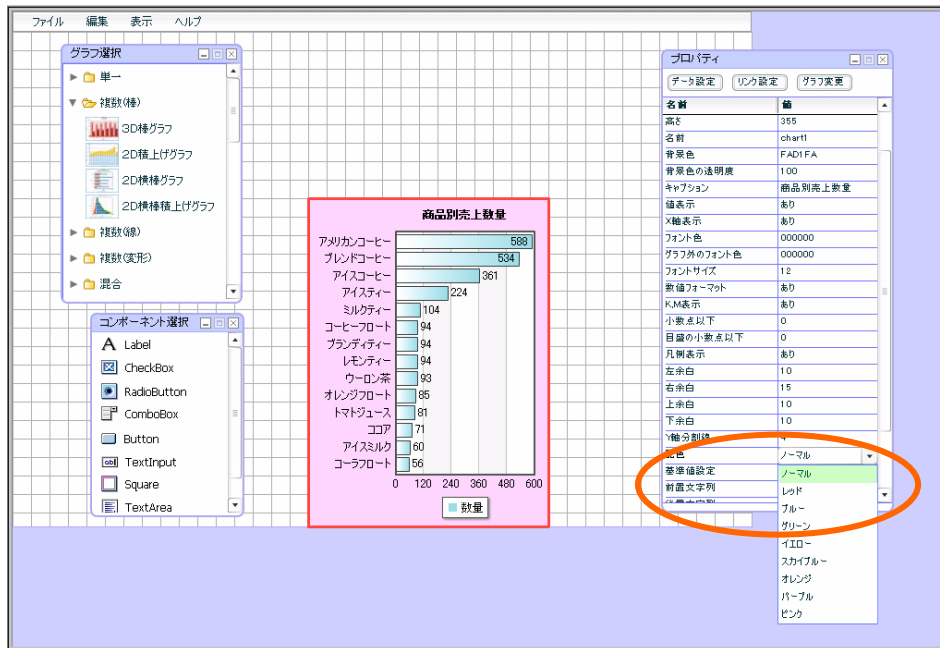
プロパティウィンドウで、以下のプロパティを設定します。

「右余白」「15」

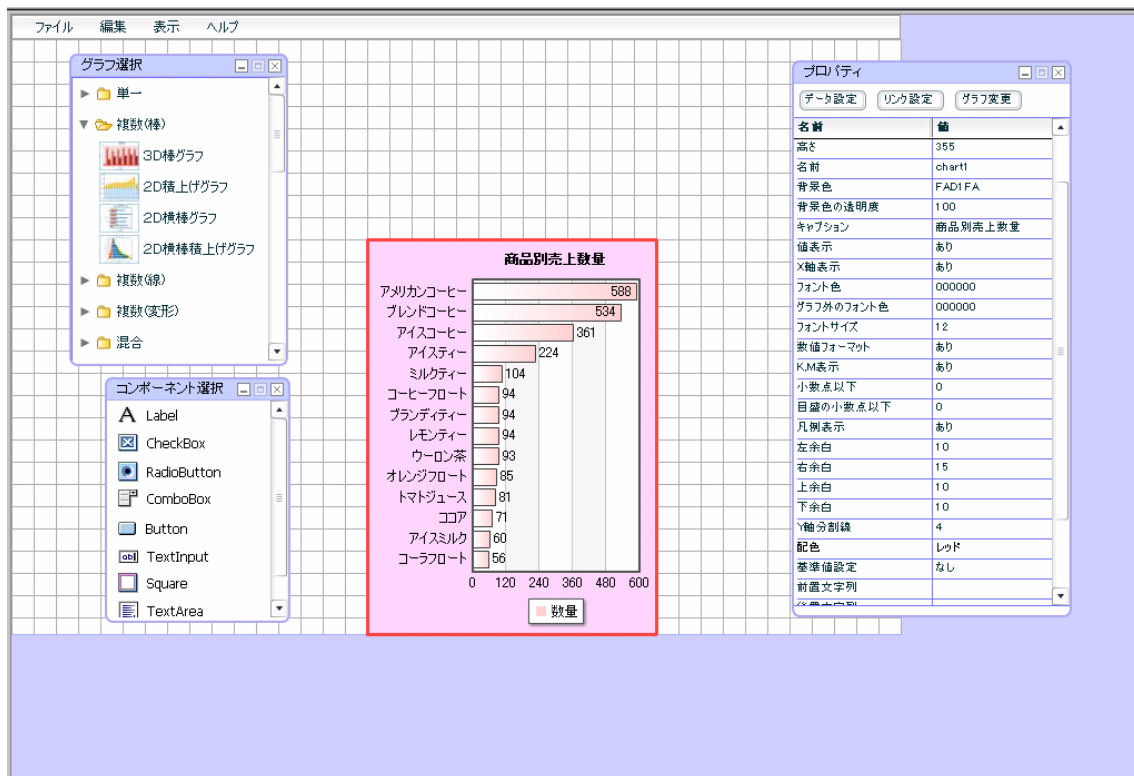


プロパティウィンドウで、以下のプロパティを設定します。

「配色」「レッド」



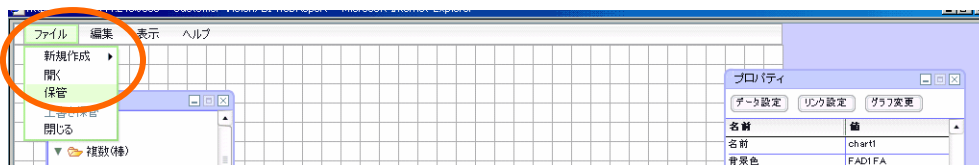
グラフが完成しました。



定義保管

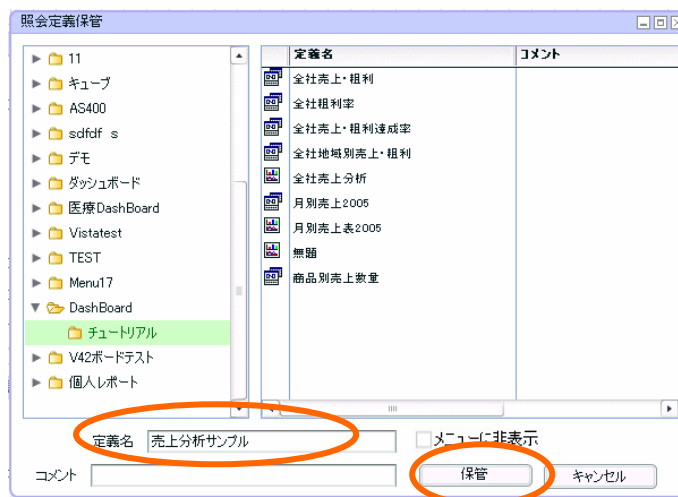
定義を保管します。

メニューバーから、「ファイル」「保管」をクリックします。



任意のメニュー・フォルダを展開します。

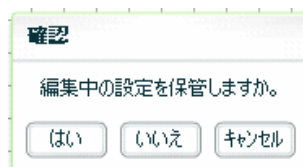
「売上分析サンプル」と名前を入力し、[保管]ボタンをクリックします。



メニューバーで「ファイル」「閉じる」を選択し、ダッシュボードエディタを終了させます。



終了時には確認ダイアログが表示されますが、「いいえ」をクリックして下さい。

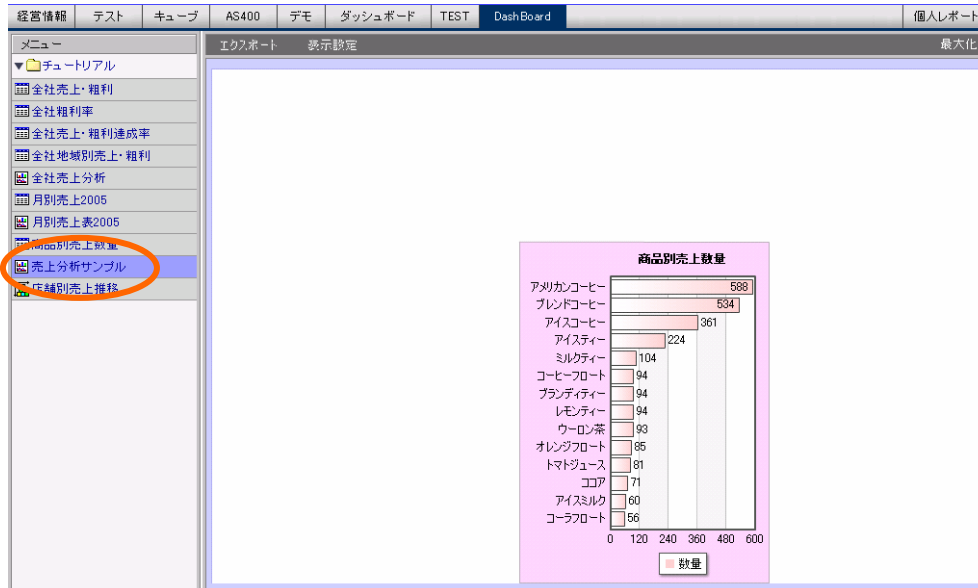


以上で、「商品別売上数量グラフ」の設定は終了です。

確認

定義の確認をします。Web 実行画面から定義を保管したメニュー、フォルダーを選択し、定義を選択します。

保管したグラフが表示されます。

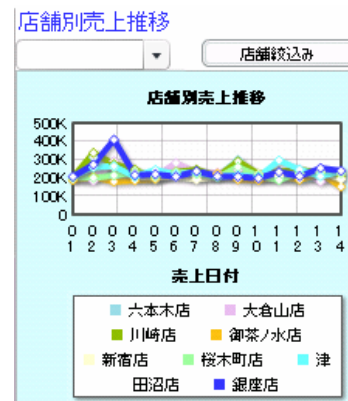


以上で第3章は終了です。

グラフを引き続き作成する場合には、第4章へお進み下さい。

第 4 章

店舗別売上推移グラフ を作成する



1 データ用定義作成

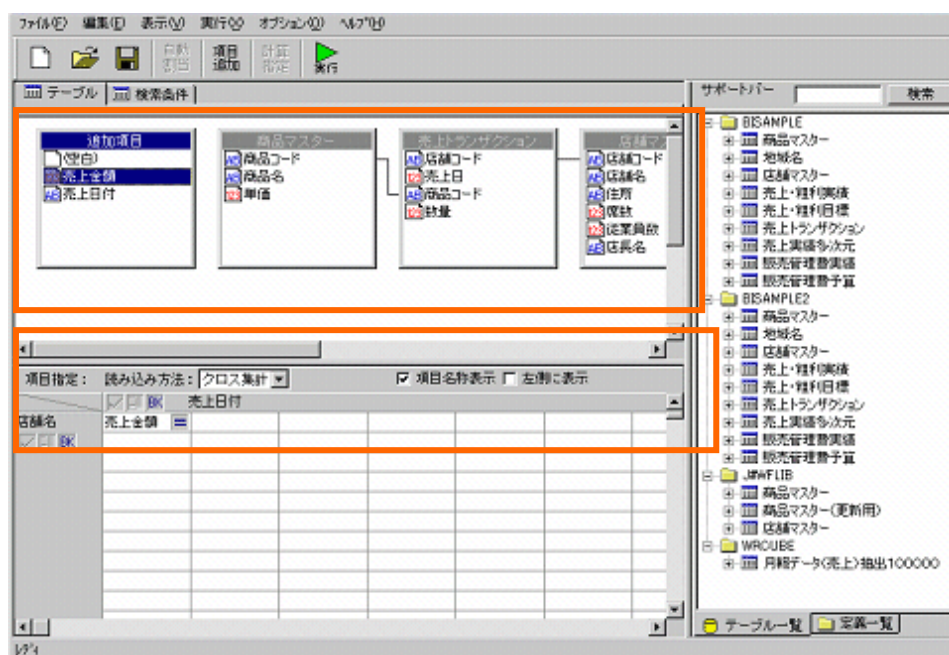
日付別・店舗ごとの売上金額を表示させた、「店舗別売上推移グラフ」用の定義「店舗別売上推移」を作成します。

1.1 設定内容

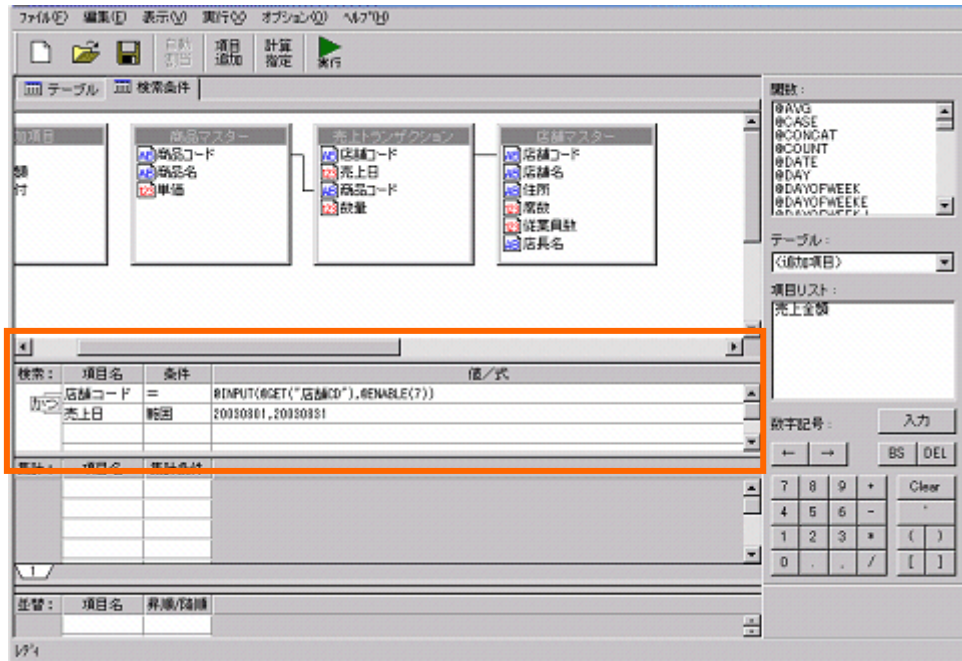
定義内容は以下の通りです。詳細な実施手順は、「1.2 設定手順」をご覧ください。

定義名「店舗別売上推移」

①使用テーブル	「商品マスター」「売上トランザクション」「店舗マスター」
テーブル結合条件	「商品マスター」と「売上トランザクション」を結合 「商品コード」キー 「店舗マスター」と「売上トランザクション」を結合 「店舗コード」キー
②追加項目	項目名:「売上金額」 項目型:「数値型」 計算式:「[単価,商品マスター^スキーマ名]*[数量,売上トランザクション^スキーマ名]」
	項目名:「売上日付」 項目型:「文字型」 計算式:「@SUBSTR(@TEXT([売上日,売上トランザクション^スキーマ名]),7,2)」
③項目設定	読み込み方法「クロス集計」 行キー「店舗名」、列キー「売上日付」、項目名「売上金額」



④検索条件	「店舗コード」 = 「@INPUT(@GET("店舗 CD"),@ENABLE(7))」
	「売上日」 範囲 「20140801,20140831」
	(画面では「20030801,20030831」となっていますが、読み替えて実行してください。)



1.2 設定手順

定義設定ボタンをクリックします。



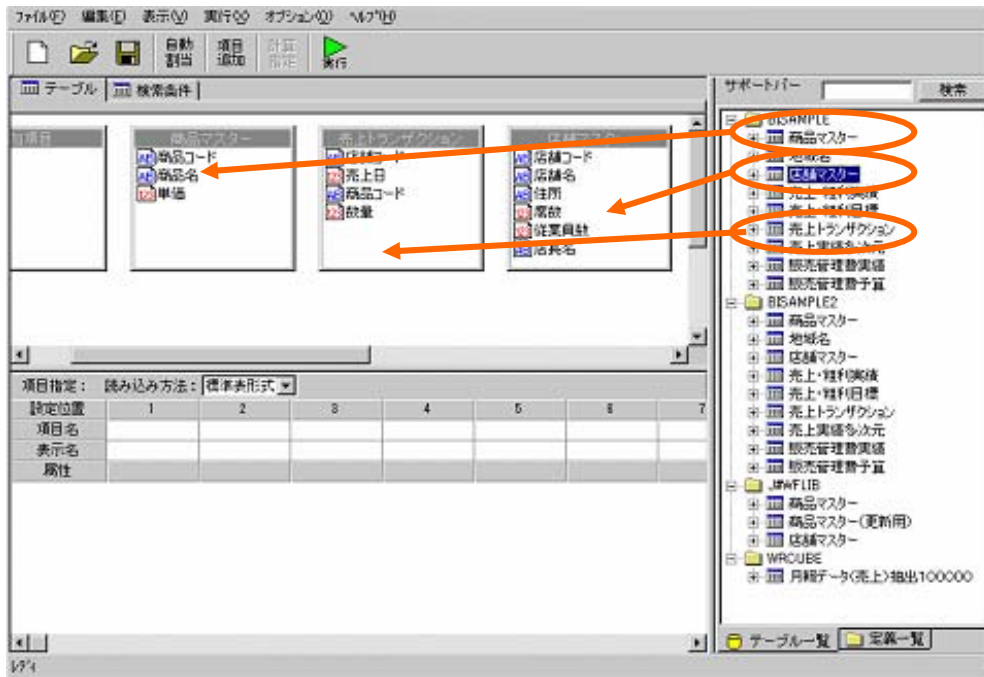
定義設定ウィザードが起動されます。「新しく照会定義を作成」を選択し、[次]ボタンをクリックし、第 2 章でサンプルテーブルを作成したデータベース名を指定します。



指定後は、再度[次]ボタンをクリックし、ウィザードを終了させます。

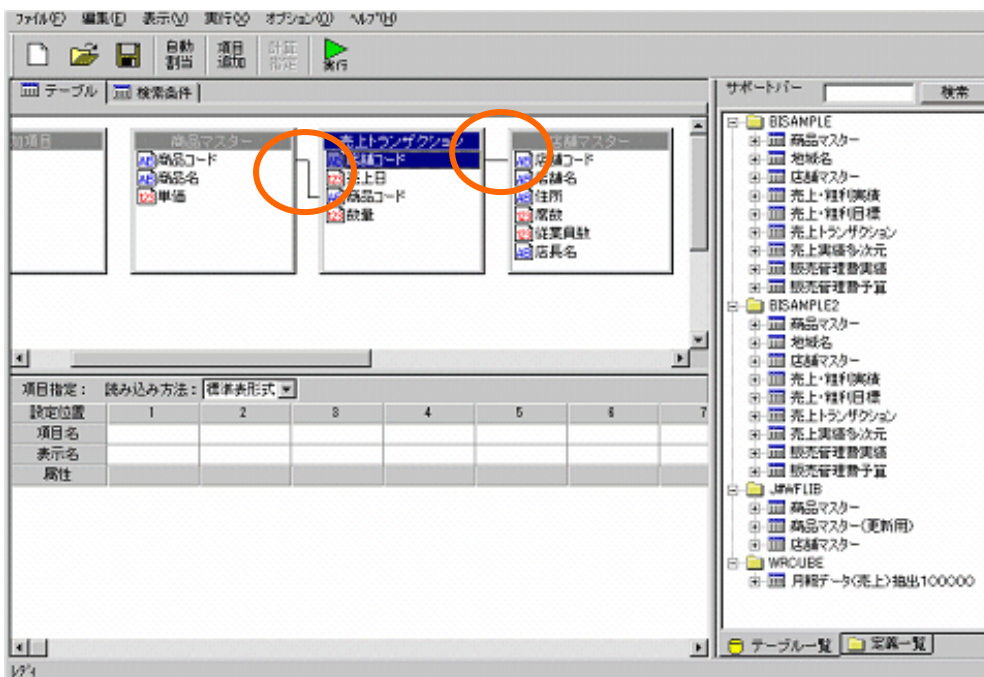
定義設計画面が表示されます。

サポートバーから、「商品マスター」「売上トランザクション」「店舗マスター」テーブルをドラッグし、テーブル指定域にドロップします。



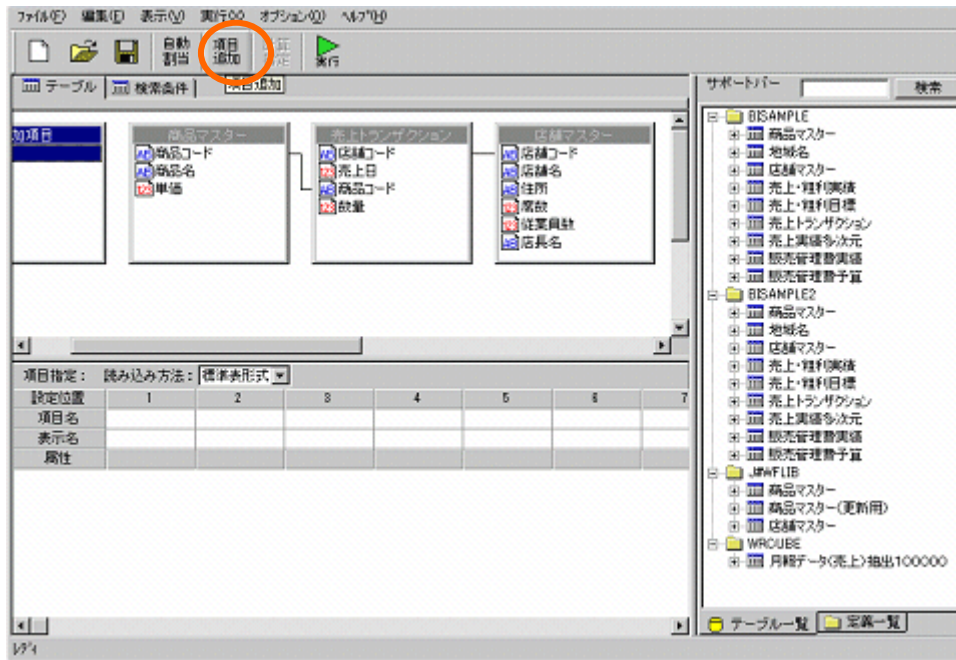
「商品マスター」と「売上トランザクション」を「商品コード」で結合します。

「店舗マスター」と「売上トランザクション」を「店舗コード」で結合します。



追加項目を二つ設定します。

[項目追加]ボタンをクリックします。



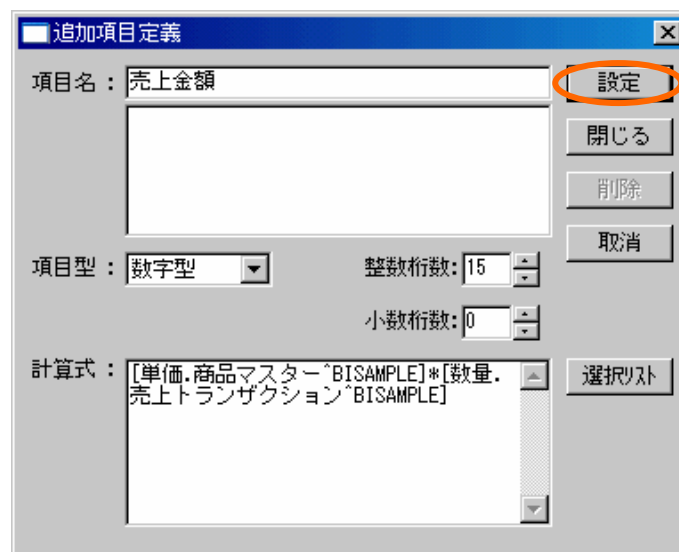
追加項目「売上金額」を以下のように設定します。

項目名：「売上金額」

項目型：「数字型」

計算式：「[単価.商品マスター<スキーマ名>]*[数量.売上トランザクション<スキーマ名>]」

[設定]ボタンをクリックします。

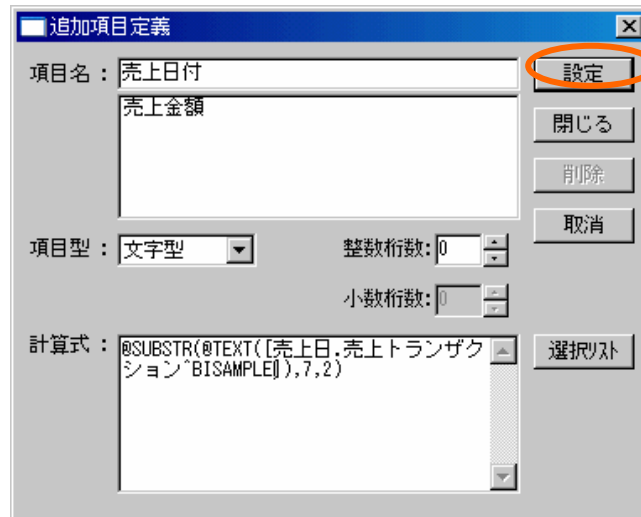


追加項目「売上日付」を以下のように設定し、[設定]ボタンをクリックします。

項目名：「売上日付」

項目型：「文字型」

計算式：「@SUBSTR(@TEXT([売上日,売上トランザクションハスキーマ]),7,2)」



追加項目設定を終了します。[閉じる]ボタンをクリックします。

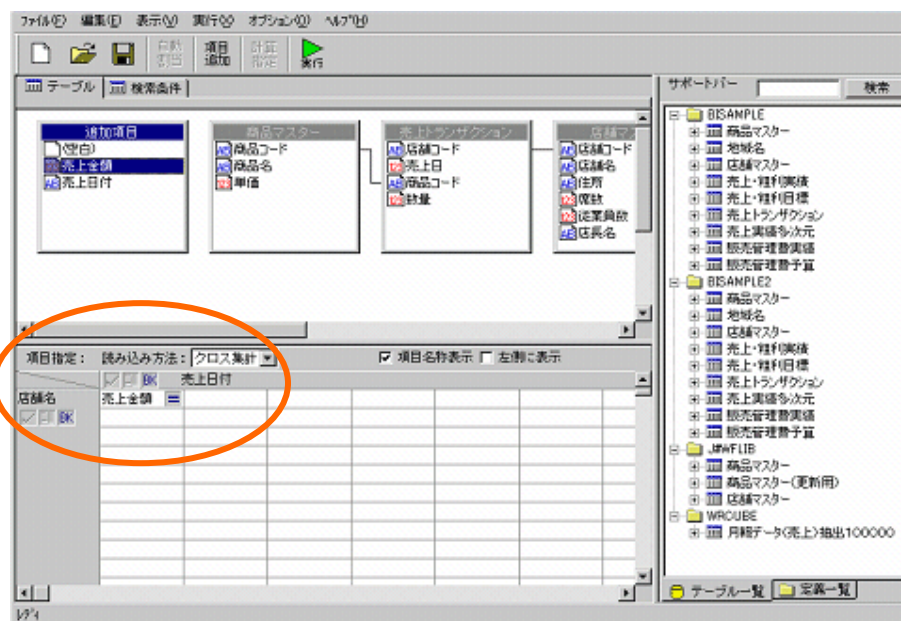
項目を選択します。

読み込み方法を「クロス集計」に設定します。

「列キー」に「店舗マスター」から「店舗名」を設定します。

「行キー」に「追加項目」から「売上日付」を設定します。

「項目名」に「追加項目」から「売上金額」を設定します。



「検索条件」を設定します。

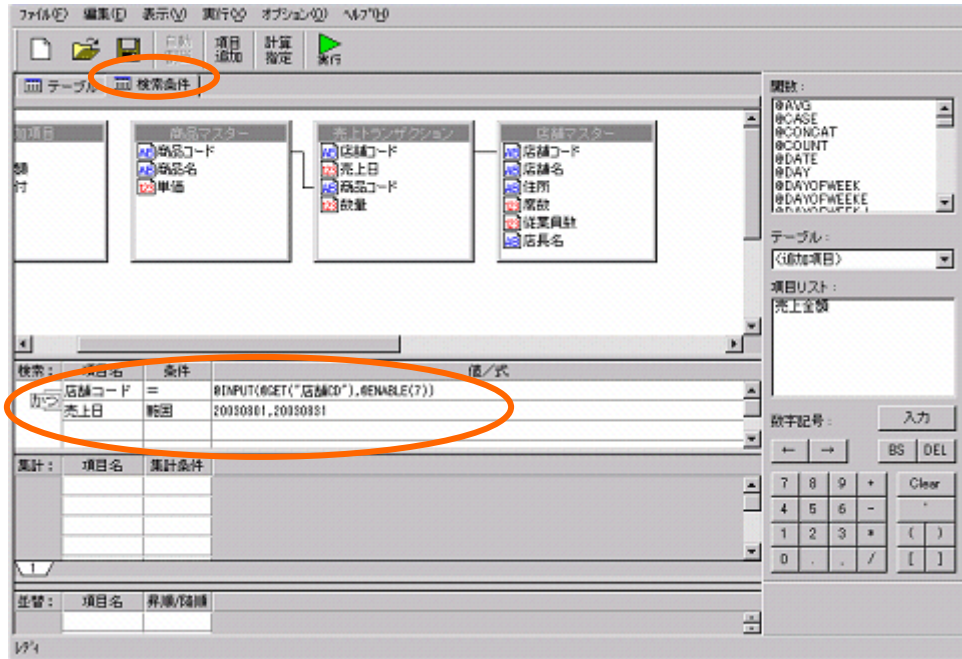
「ページ切り替えタブ」の「検索条件」をクリックします。

以下のように検索条件を作成します。

「店舗コード」=「@INPUT(@GET("店舗 CD"),@ENABLE(7))」

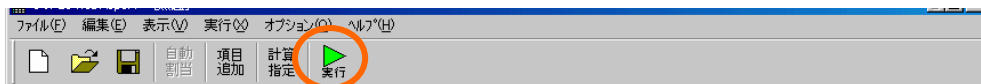
「売上日」範囲「20140801,20140831」

(画面では「20030801,20030831」となっていますが、読み替えて実行してください。)



作成した定義のレポート結果を確認します。

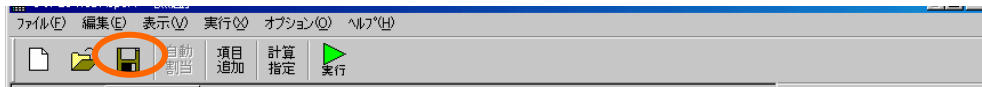
[実行]ボタンをクリックします。



以下のレポートを、ダッシュボードに使用します。確認後は、[閉じる]ボタンをクリックします。

売上日	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14
店舗名	高上全盛	高上全盛	高上全盛	高上全盛	高上全盛	高上全盛	高上全盛	高上全盛	高上全盛	高上全盛	高上全盛	高上全盛	高上全盛	高上全盛
外米本店	198780	314230	324620	297298	192918	251870	218080	209383	299118	282358	189186	198620	198230	282080
大倉山店	204680	169180	291620	287798	285168	268820	221190	207793	248378	287418	216836	248620	178940	222710
川崎店	204970	305970	378520	248318	185828	228850	247730	207783	290998	221308	235816	248620	207480	265980
海老名店	152470	204260	188660	188828	182728	254110	158170	252793	191978	187958	211328	158780	207480	152650
新横浜	206570	208280	258520	282818	287998	268210	199840	208943	314408	221878	209096	221680	206580	158330
横浜町店	202020	208440	313910	291348	289998	293740	202520	202683	280698	212828	187758	228980	204580	225670
津島駅前	206680	258680	254980	287798	242048	229730	203180	218433	312968	285998	295828	244680	208480	238080
藤原店	207070	273130	437820	216958	220718	267860	208280	208193	297978	180708	232348	208970	254230	248200

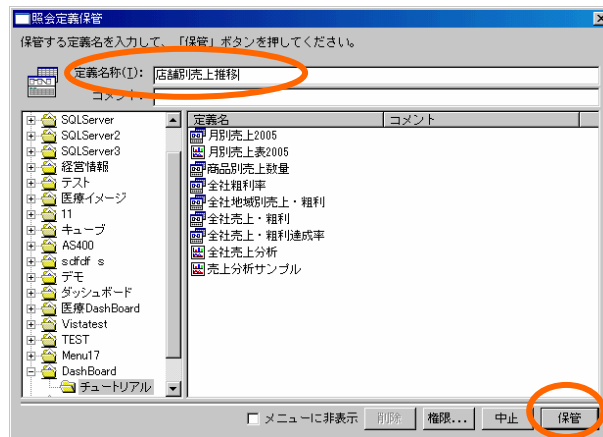
定義を保管します。「保管」ボタンをクリックします。



「照会定義保管」ダイアログが表示されます。

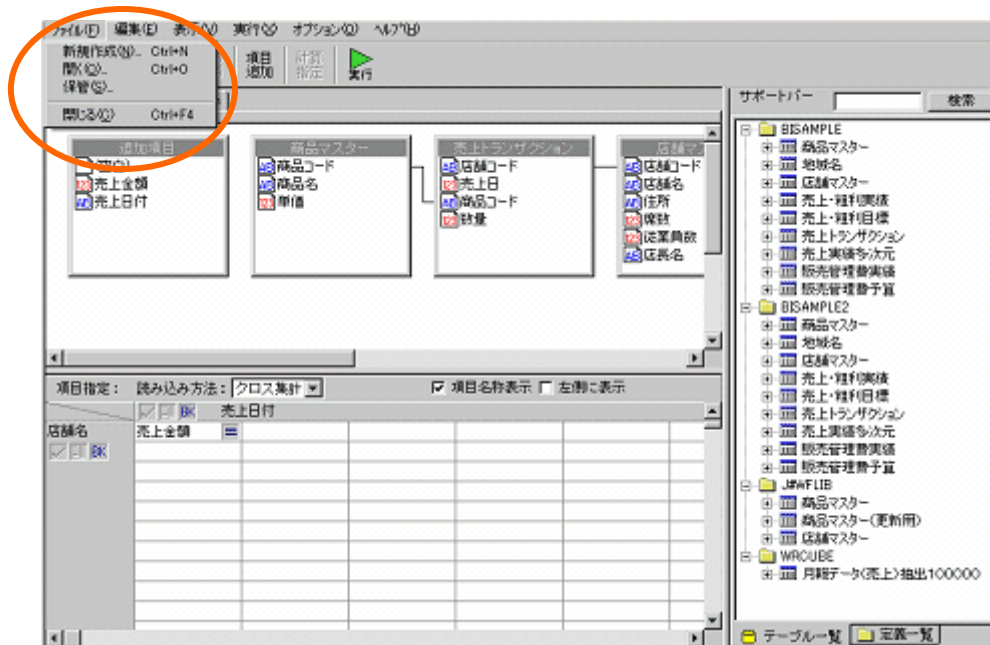
定義を保管するメニュー、フォルダを選択し、

「店舗別売上推移」という名前を入力し、[保管]ボタンをクリックします。



以上で、「店舗別売上推移」用の定義「店舗別売上推移」の作成は終了です。

メニューバーの[ファイル] - [閉じる]をクリックし、定義設定ダイアログを終了させます。



2 グラフの作成

2.1 設定内容

グラフ、コンポーネントの設定内容は以下の通りです。

詳細な手順は以下をご覧ください。

【店舗別売上推移グラフ】

バインド定義

データに使用する定義	店舗別売上推移
値	売上金額

プロパティ

X座標	580
Y座標	60
幅	220
高さ	220
名前	店舗別売上推移
背景色	D1FAFA(6列4行)
値表示	なし

【コンボボックス】

機能設定：データ更新

表示名・値

表示名	値
ブランク	ブランク
御茶ノ水店	101
銀座店	102
六本木店	103
新宿店	104
桜木町店	201
大倉山店	202

川崎店	203
津田沼店	301

プロパティ

X 座標	580
Y 座標	40
幅	100
高さ	20
プロパティ名	店舗 CD

【ボタン】

機能設定

機能	データ更新
グラフ	店舗別売上推移

プロパティ

X 座標	700
Y 座標	40
幅	100
高さ	18
ラベル	店舗絞込み

【ラベル】

プロパティ

X 座標	580
Y 座標	20
幅	120
高さ	20
テキスト	店舗別売上推移
フォント色	33FFFF(2行5列)
フォントサイズ	14



2.2 設定手順

「ダッシュボードエディタボタン」をクリックします。

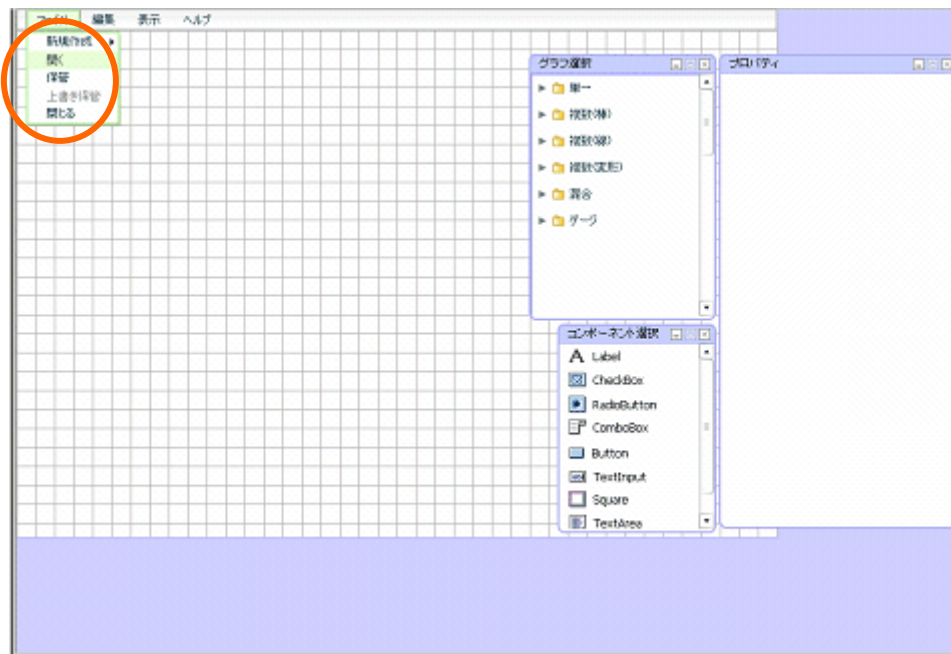
「ダッシュボードエディタ」が起動されます。



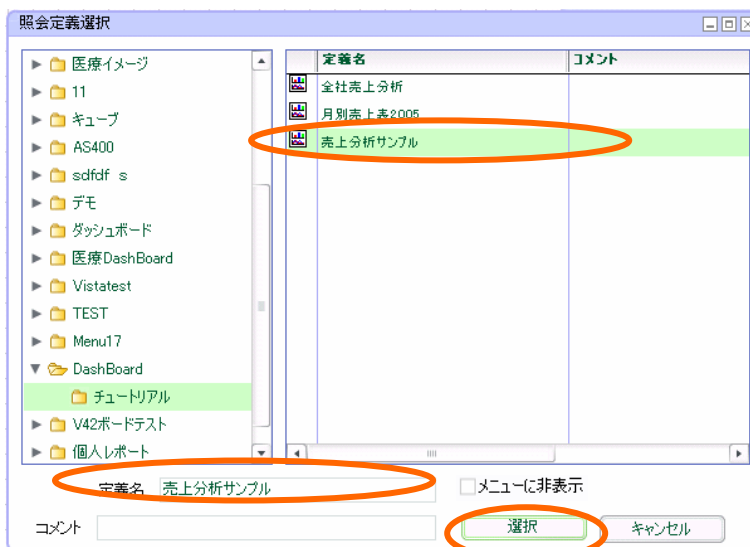
前章の続きからグラフを配置します。この章のみ実施する場合には、**グラフ配置**へお進み下さい。

定義作成開始

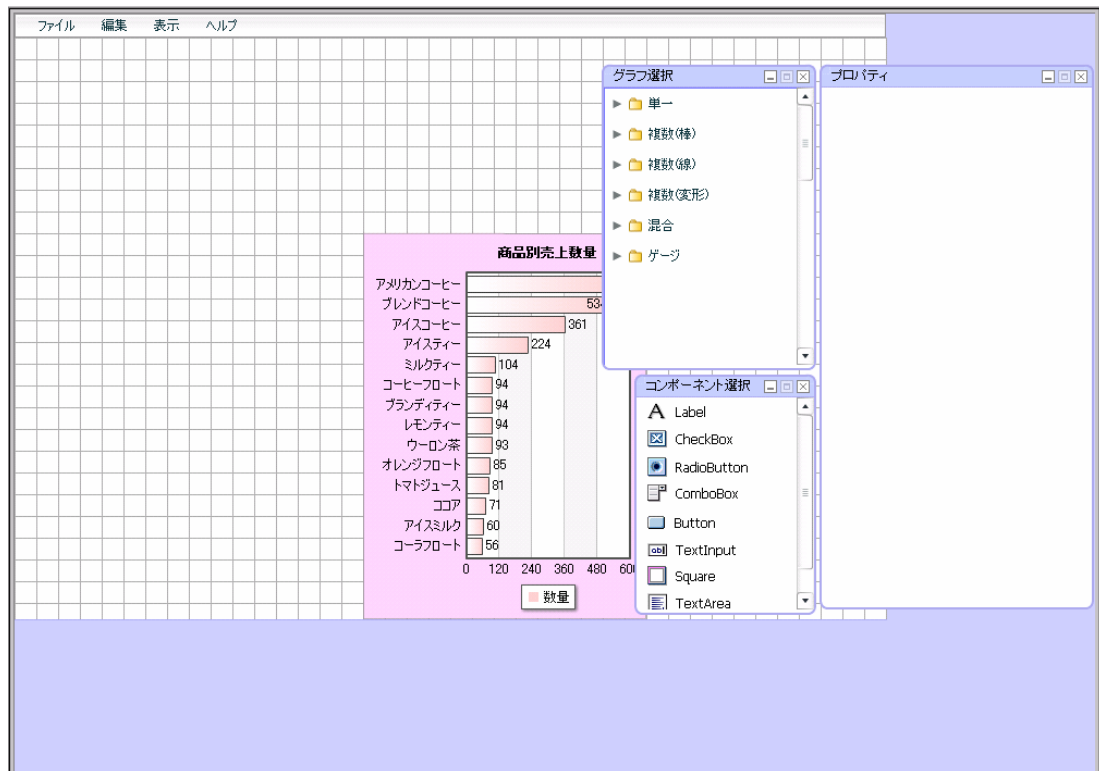
「ファイル」 - 「開く」をクリックします。



第3章で保管した定義「売上分析サンプル」を選択し、[選択]ボタンをクリックします。



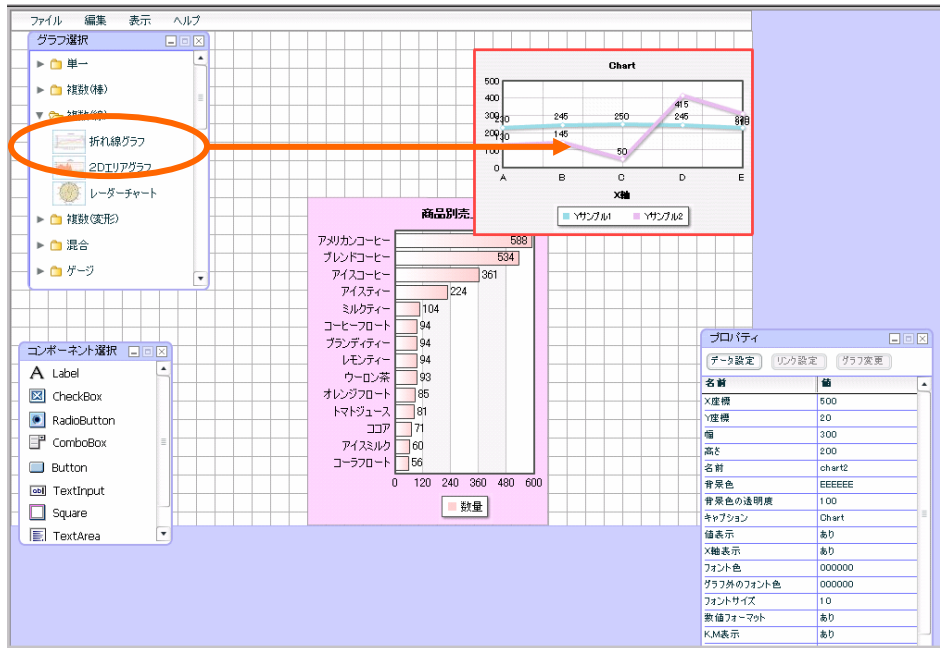
前章で保管した定義が表示されます。



次ページにお進み下さい。

グラフ配置

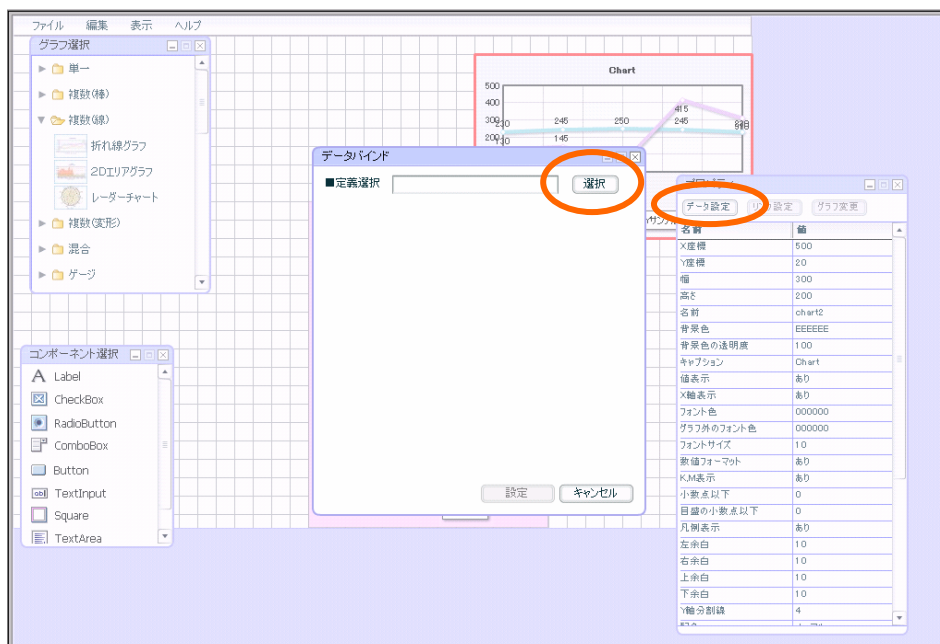
グラフを配置します。「グラフ選択ウィンドウ」で、「複数（線）」をクリックして展開し、「折れ線グラフ」を選択し、キャンバス上にドロップします。



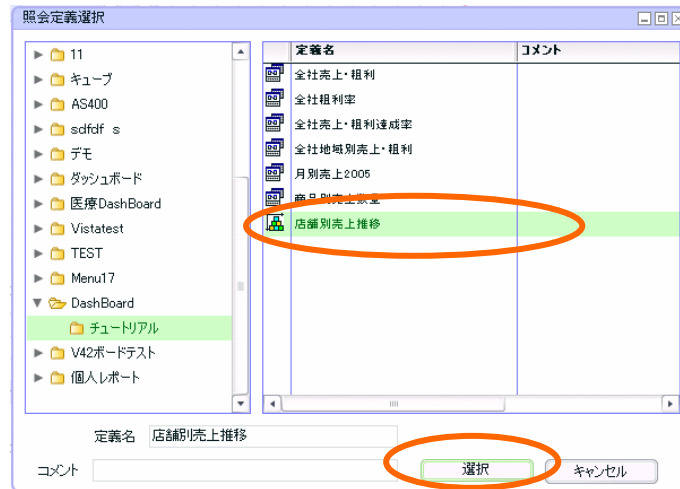
データ設定

[データ設定]ボタンをクリックします。

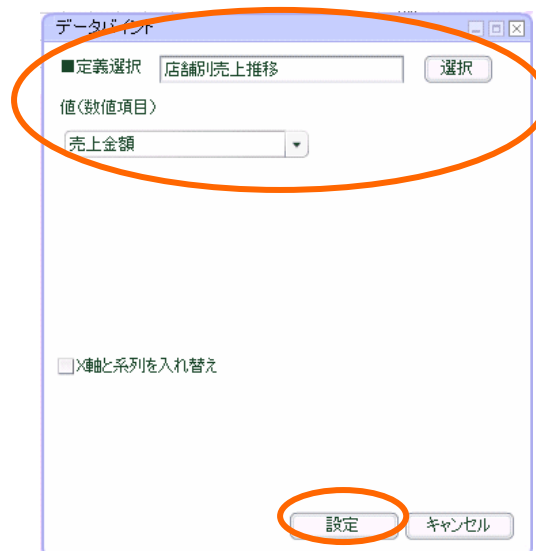
表示されたダイアログで[選択]ボタンをクリックします。



「定義選択ダイアログ」から、「店舗別売上推移」を選択します。

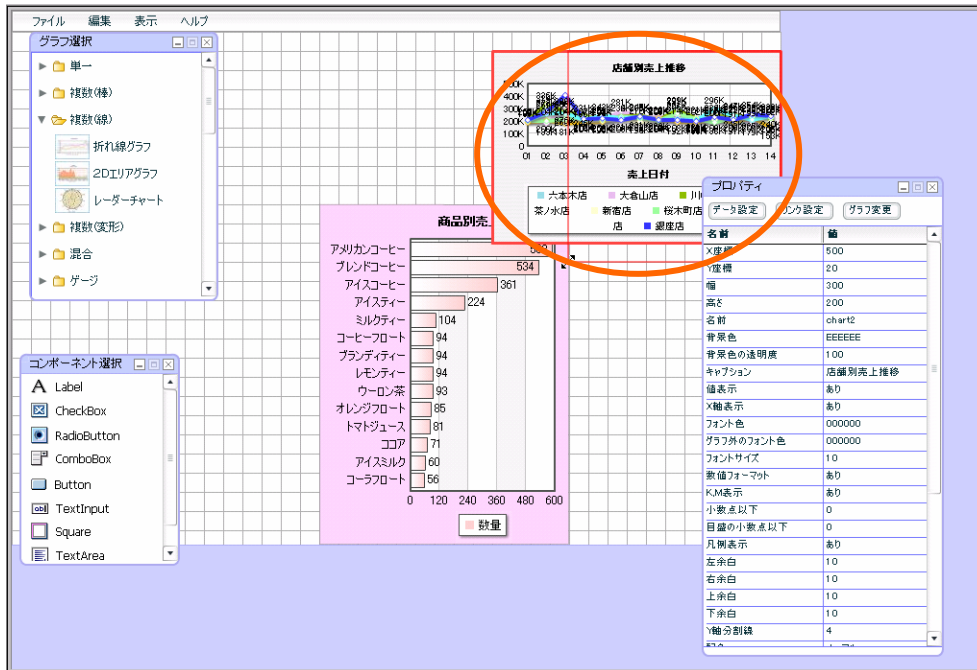


値には、「売上金額」を設定し、[設定]ボタンをクリックします。

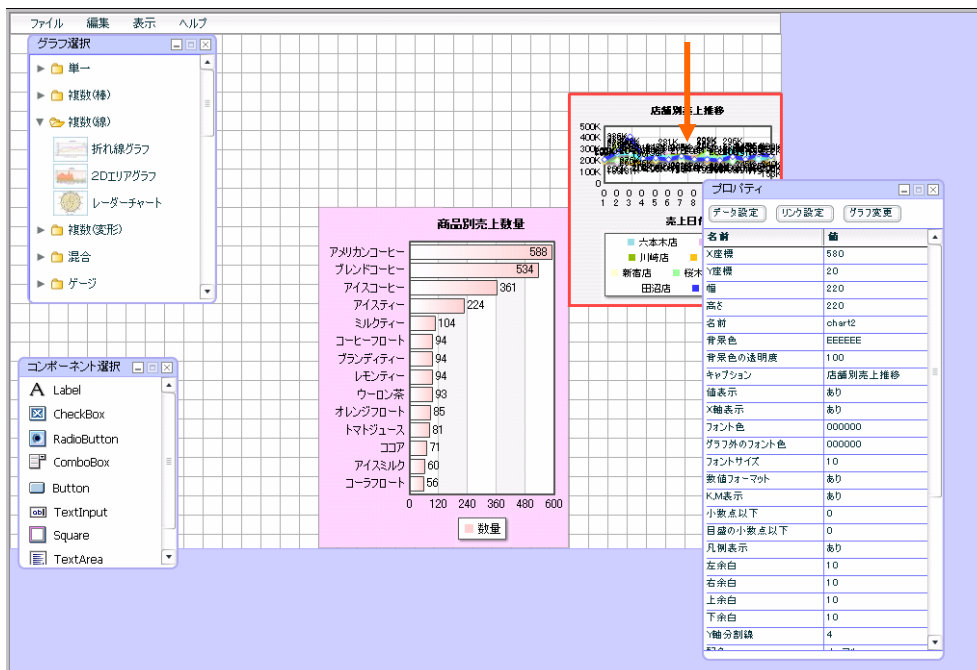


プロパティ設定

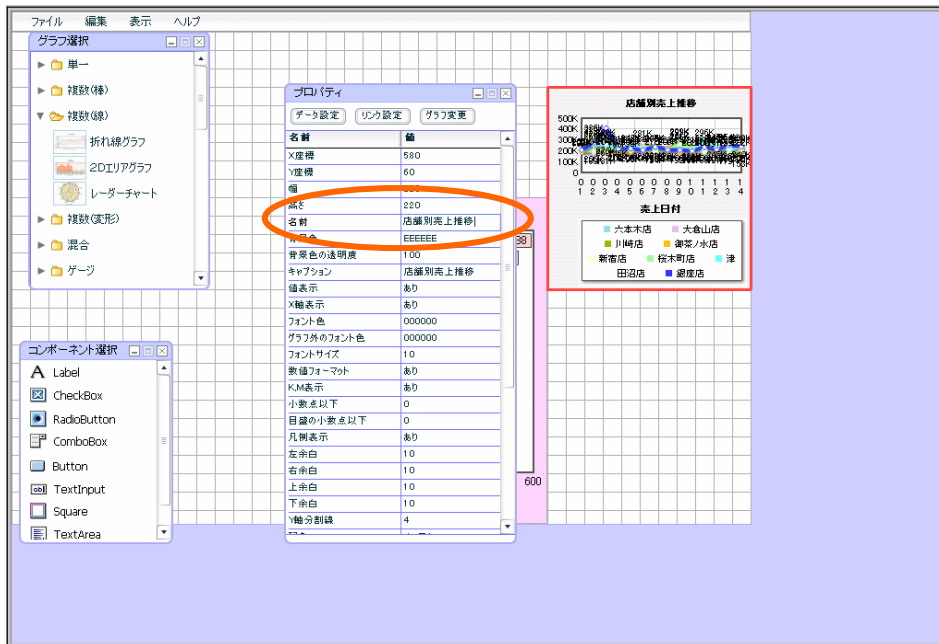
グラフの周囲の赤いボーダーをドラッグし、グラフの「幅」220、「高さ」220に変更します。



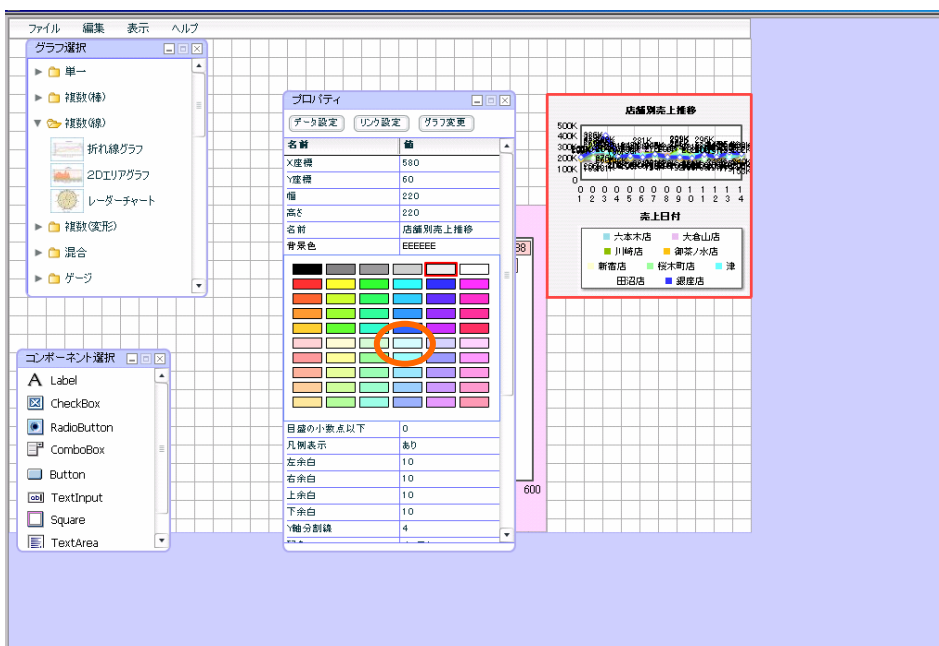
グラフをドラッグし、「X座標」580、「Y座標」60の位置に移動させます。



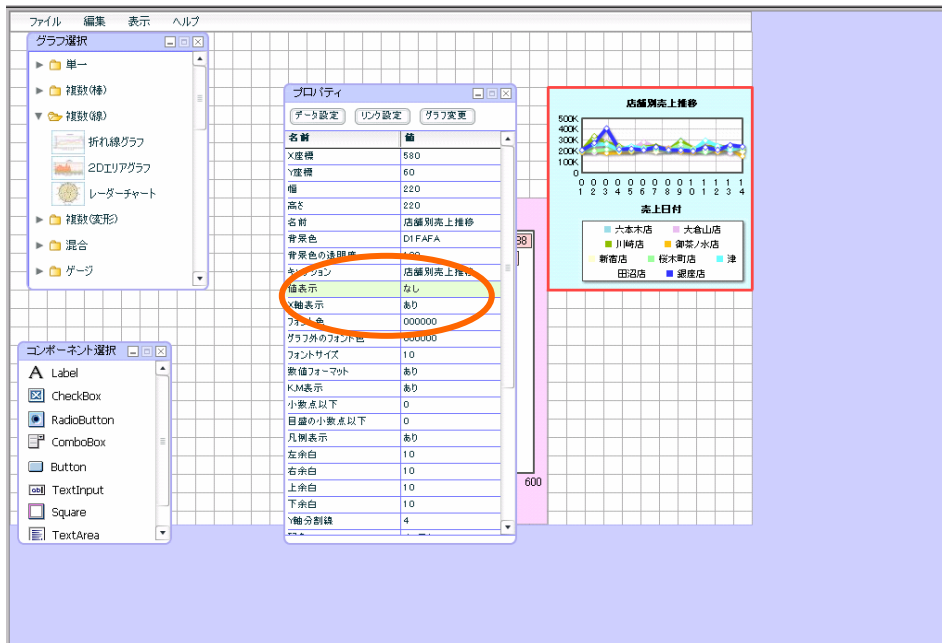
プロパティウィンドウで、「名前」を「店舗別売上推移」に設定します。



プロパティウィンドウで、「背景色」を「D1FAFA(6行4列)」に設定します。



プロパティウィンドウで、「値表示」を「なし」に設定します。

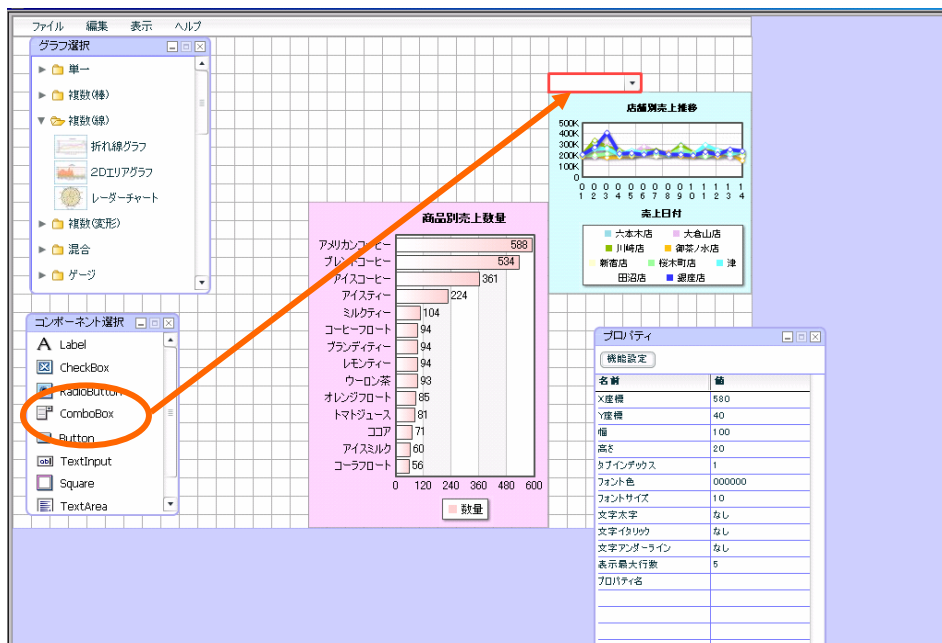


グラフの設定は以上です。

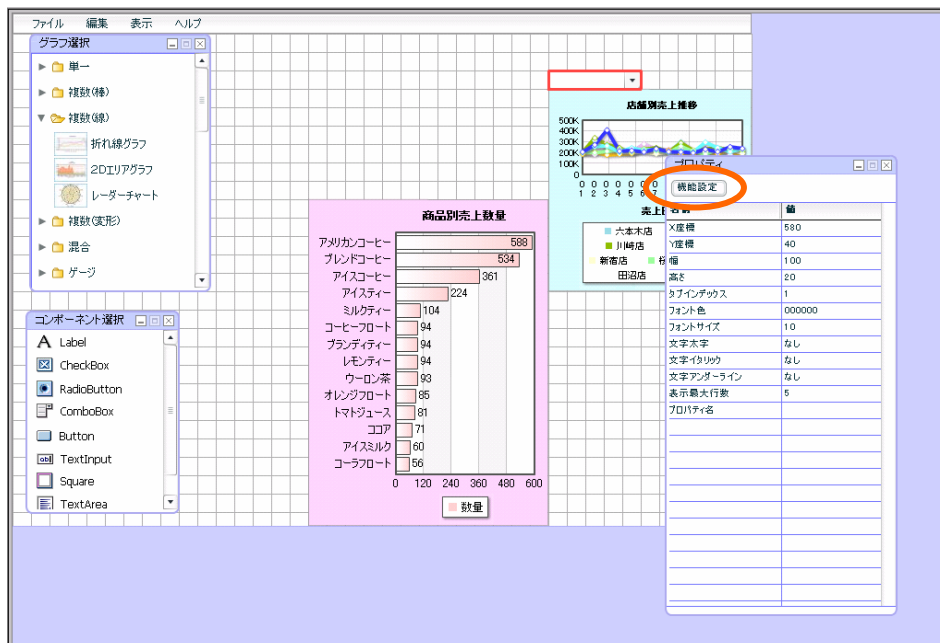
コンボボックス配置

コンボボックスを配置します。

「コンポーネント選択ウィンドウ」から、「コンボボックス」をドラッグし、作成したグラフの上部にドロップします。

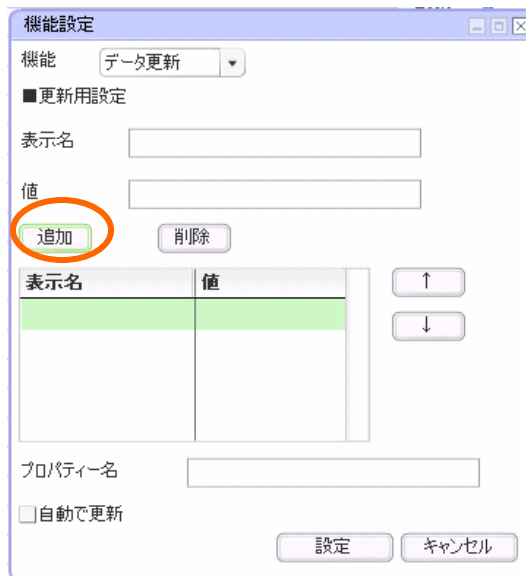


プロパティウィンドウの[機能設定]ボタンをクリックします。



ダイアログが表示されます。

表示名、データともに空白のまま、[追加]ボタンをクリックします。（初期表示用です。）



表示名、値とも空白の行が追加されます。

表示名「御茶ノ水店」データ「101」とそれぞれ入力し、[追加]ボタンをクリックします。

上記手順と同様に、以下のように設定します。

表示名	値
銀座店	102
六本木店	103
新宿店	104
桜木町店	201
大倉山店	202
川崎店	203
津田沼店	301

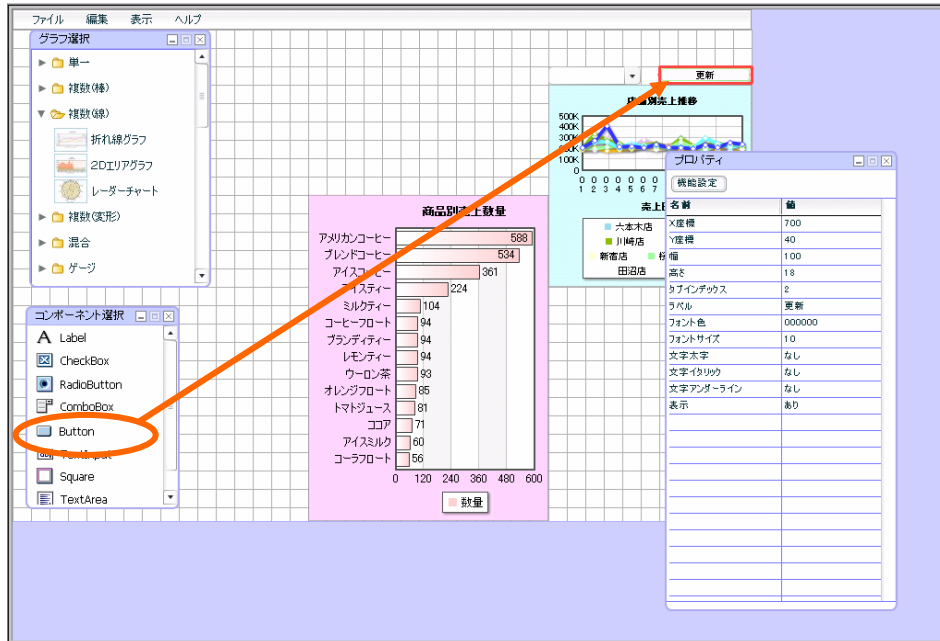
プロパティ名に「店舗CD」と入力し、「設定」ボタンをクリックします。

コンボボックスの設定は以上です。

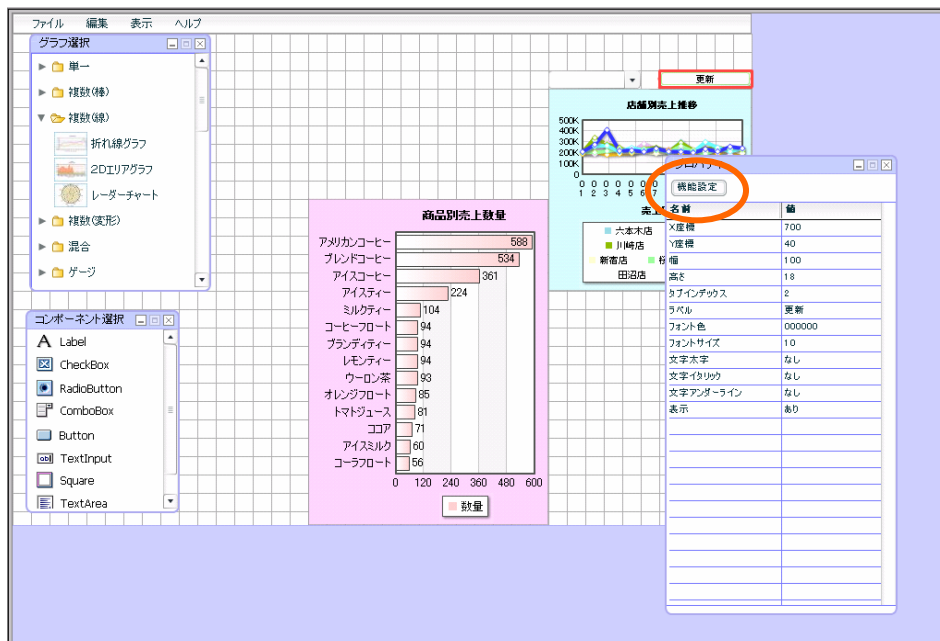
ボタン配置

ボタンの設定をします。

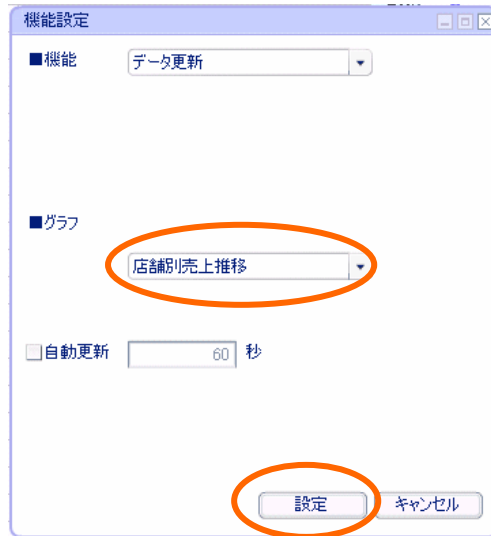
「コンポーネント選択ダイアログ」から、「ボタン」をドラッグし、コンボボックスの右横に配置します。



[機能設定]ボタンをクリックします。



[グラフ]設定は、「店舗別売上推移グラフ」を選択し、[設定]ボタンをクリックします。



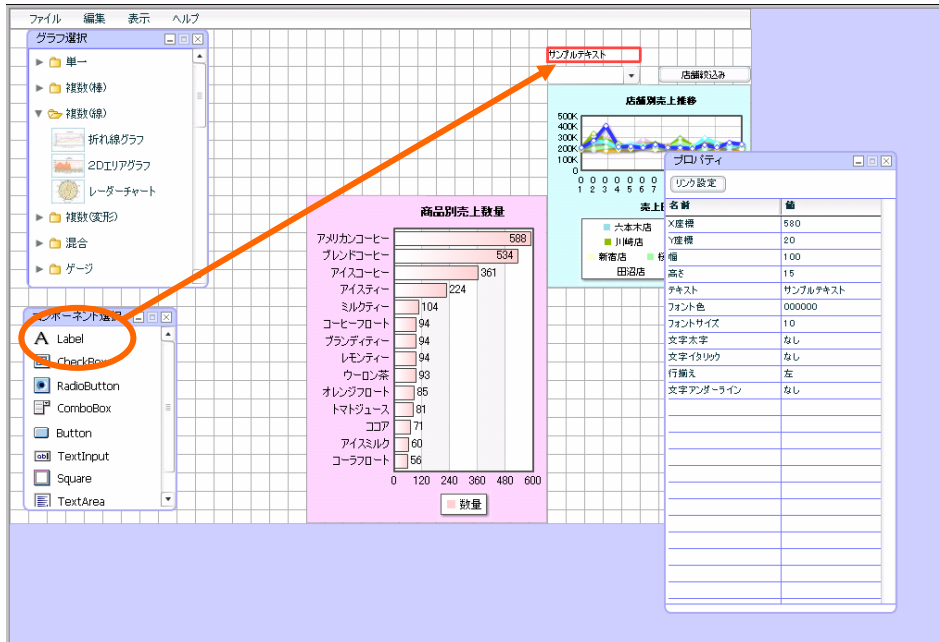
プロパティウィンドウから、「ラベル」を「店舗絞込み」と設定します。

商品名	数量
アマカンコーヒー	588
ブレンドコーヒー	534
アイスコーヒー	361
アイスティー	224
ミルクティー	104
コーヒーフロート	94
プランティティー	94
レモンティー	94
ウーロン茶	93
オレンジフロート	85
トマトジュース	81
ココア	71
アイスマルク	60
コーラフロート	56

売上名	値
六本木店	700
川崎店	40
新橋店	100
田沼店	1.8
オンラインアクセス	2
ラベル	店舗絞込み
文字色	000000
フォントサイズ	10
文字太字	なし
文字イタリック	なし
文字アンダーライン	なし
表示	あり

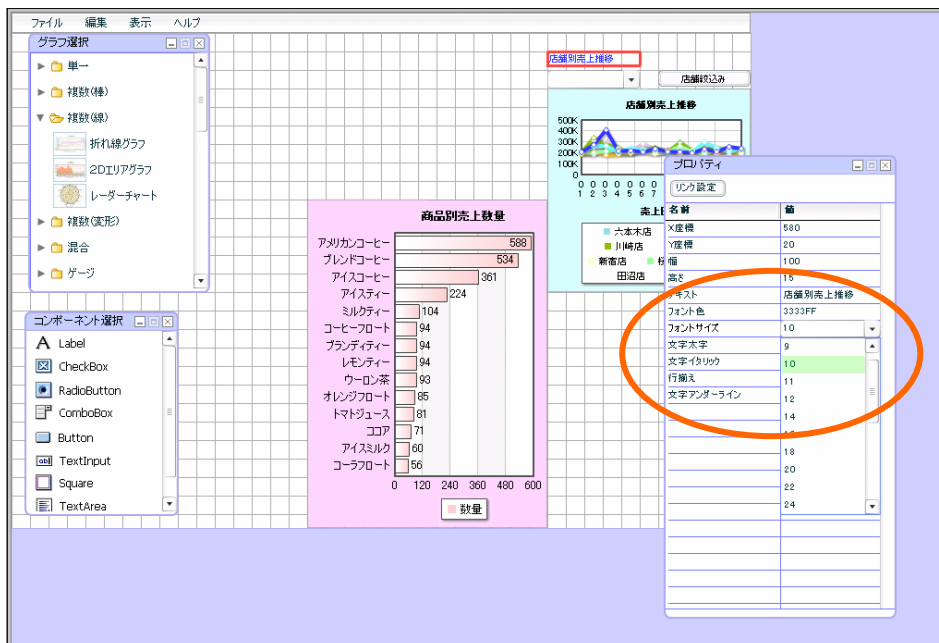
ラベル配置（任意）

説明書きのラベルを配置します。

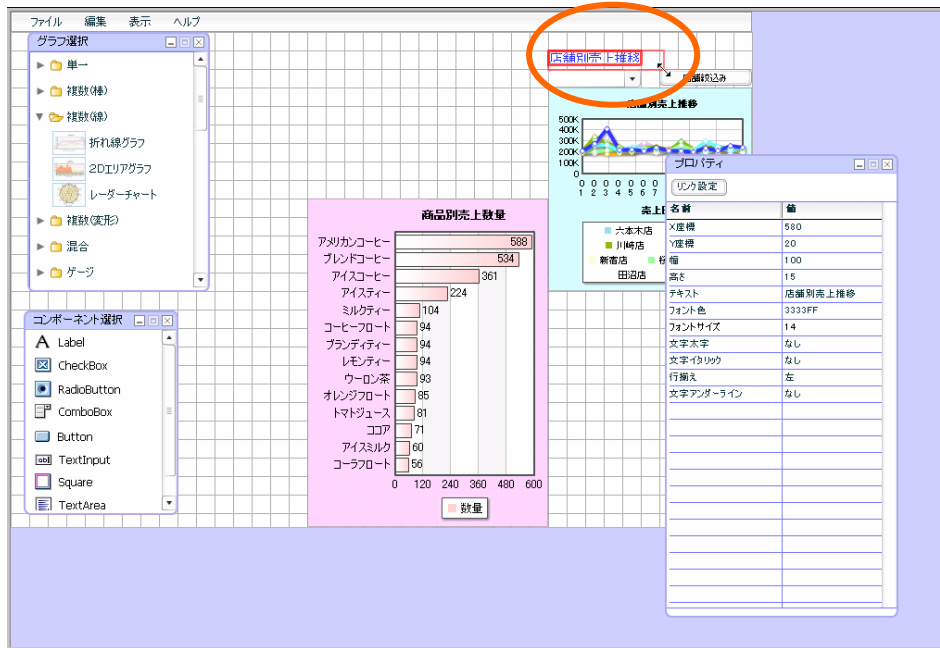


プロパティウィンドウで、以下のように設定します。

- 「テキスト」「店舗別売上推移」
- 「フォント色」「3333FF(2行5列)」
- 「フォントサイズ」「14」



周囲のボーダーをドラッグし、ラベルのテキストが見える大きさに設定します。

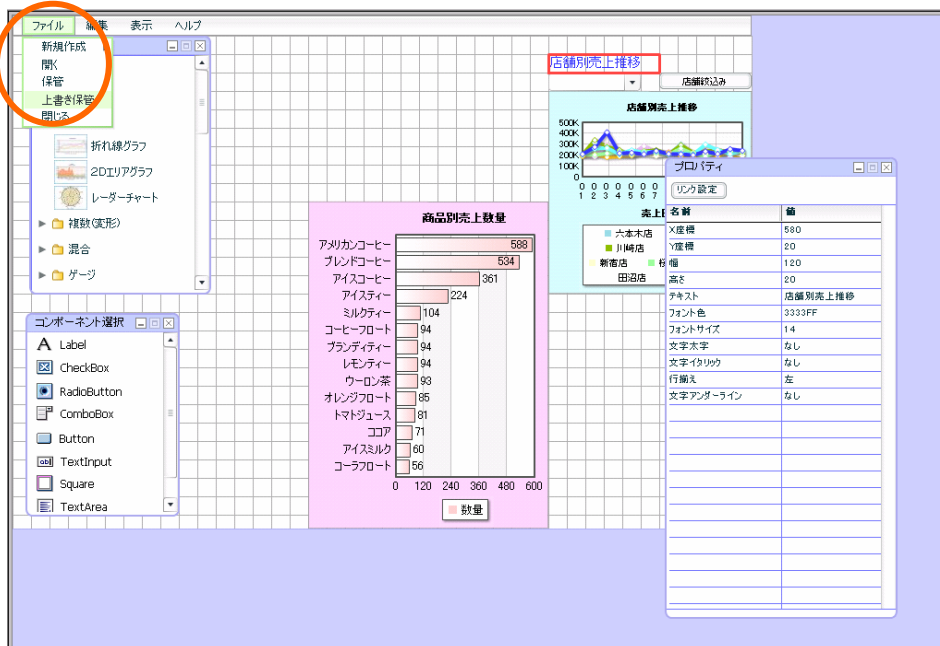


以上で、店舗別売上推移グラフの作成は終了です。

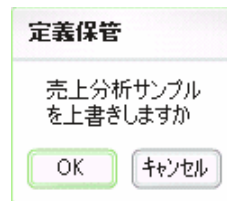
定義保管

定義を上書き保管します。この章のダッシュボードのみ作成した場合には、「第 3 章 2」の定義保管をご参照の上、定義を新規保管し、確認へお進み下さい。

「ファイル」 - 「上書き保管」をクリックします。



アラートが出現しますので、[OK]ボタンをクリックします。



「ファイル」 - 「閉じる」で、ダッシュボードエディタを終了させます。

終了時には確認ダイアログが表示されますが、[いいえ]をクリックして下さい。

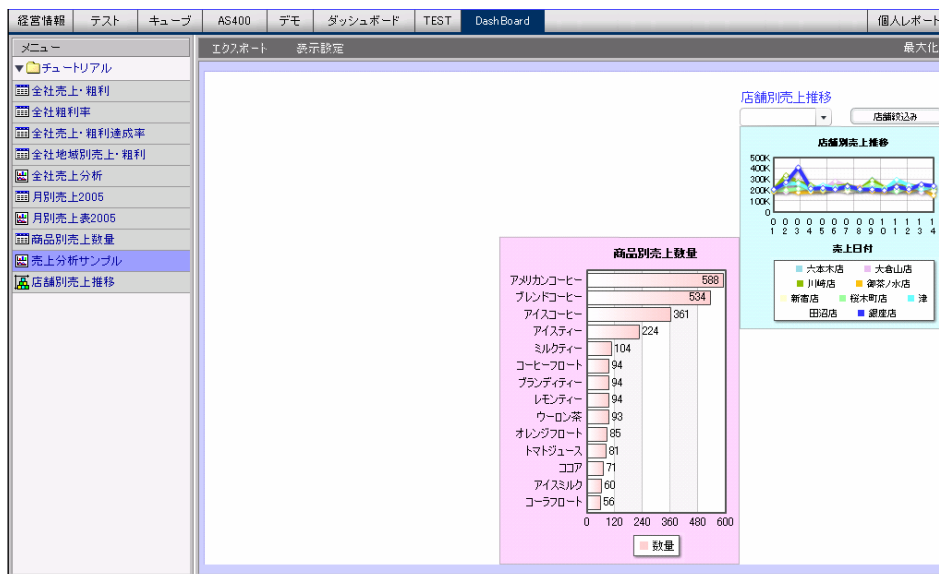
以上で設定は終了です。

確認

設定内容の確認をします。

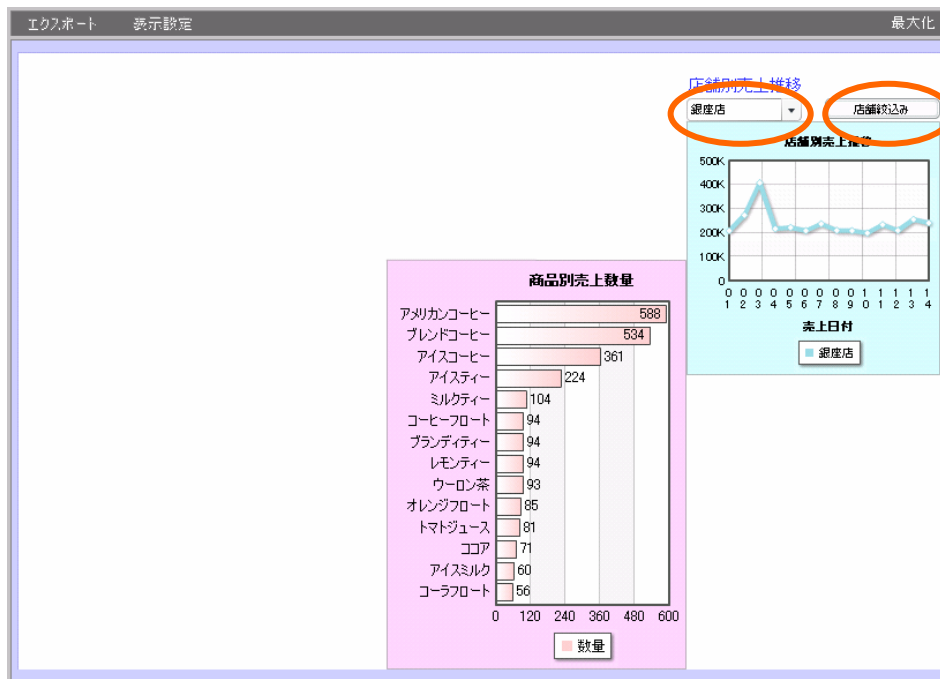
Web 実行画面から定義を保管したメニュー、フォルダを選択し、定義を選択します。

保管したグラフが表示されます。



コンボボックスで絞込みの確認をします。

コンボボックスで店舗を選択し、[店舗絞込み]ボタンをクリックすると、選択した店舗のデータのみが表示されます。

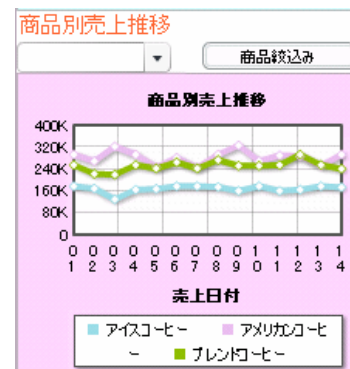


確認は以上です。

グラフを引き続き作成する場合には、第 5 章へお進み下さい。

第 5 章

商品別売上推移グラフ を作成する



1 データ用定義作成

日付別・商品（一部）ごとの売上金額を表示させた、「商品別売上推移グラフ」用の定義「商品別売上推移」を作成します。

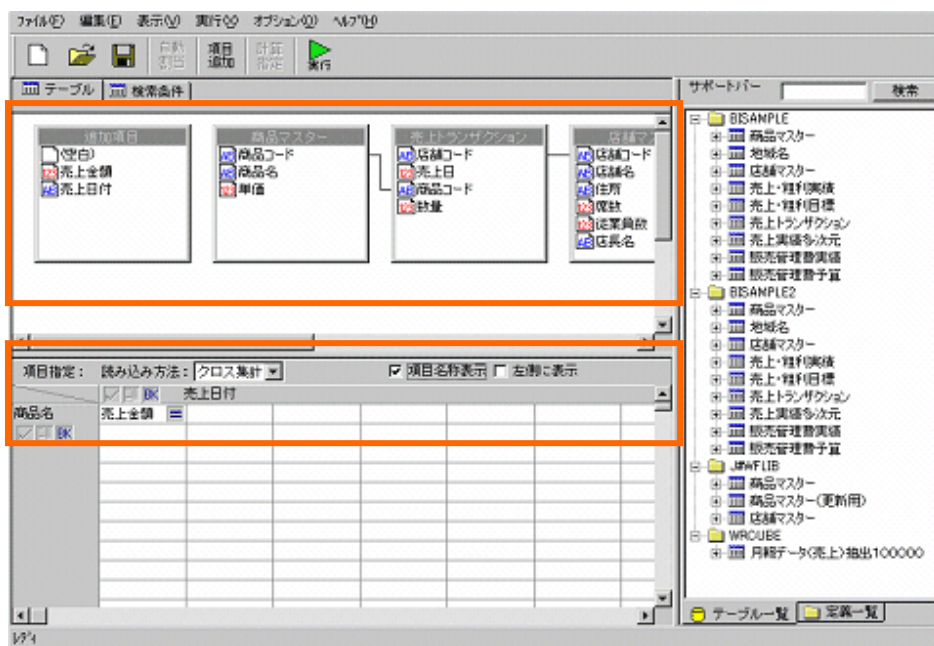
1.1 設定内容

定義内容は以下の通りです。

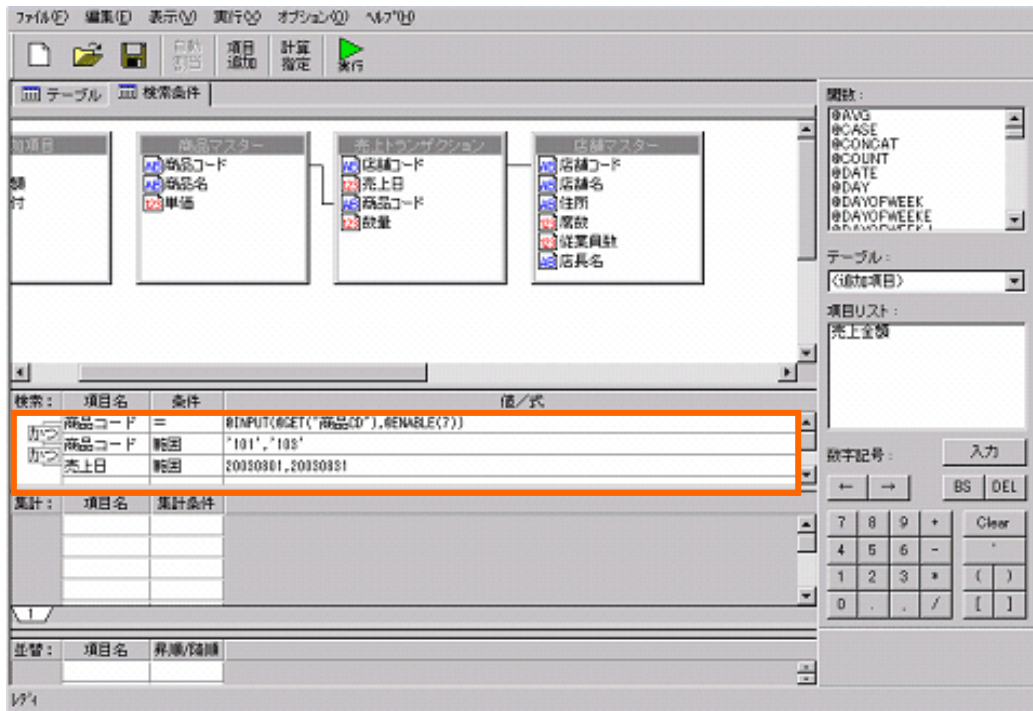
詳細な実施手順は、「1.2 設定手順」をご覧ください。

定義名：「商品別売上推移」

①使用テーブル	「商品マスター」「売上トランザクション」「店舗マスター」
テーブル結合条件	「商品マスター」と「売上トランザクション」を結合 「商品コード」キー 「店舗マスター」と「売上トランザクション」を結合 「店舗コード」キー
②追加項目	項目名：「売上金額」 項目型「数字型」 計算式：「[単価.商品マスター^スキーマ名]*[数量.売上トランザクション^スキーマ名]」 項目名：「売上日付」 項目型：「数字型」 計算式：「@SUBSTR(@TEXT([売上日.売上トランザクション^スキーマ名]),7,2)」
③項目設定	読み込み方法「クロス集計」 行キー「商品名」、列キー「売上日付」、項目名「売上金額」



検索条件	「商品コード」 = 「@INPUT(@GET("商品 CD"),@ENABLE(7))」
	「商品コード」 範囲 「'101','103」
	「売上日」 範囲 「20140801,20140831」
	(画面では「20030801,20030831」となっていますが、読み替えて実行してください。)



1.2 設定手順

商品別売上推移グラフ用の定義「商品別売上推移」を作成します。

定義設定ボタンをクリックします。

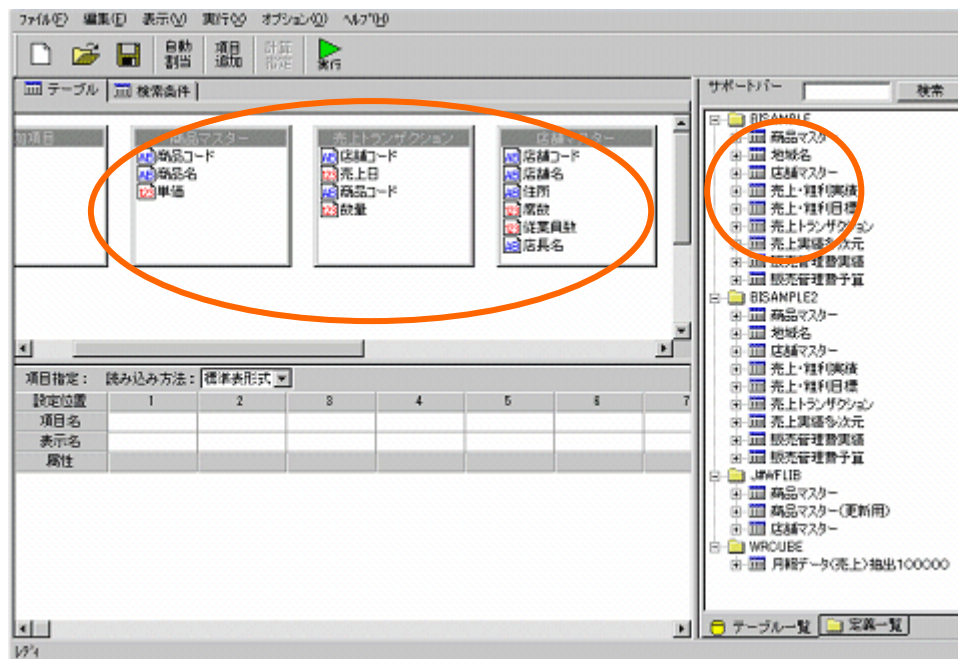


定義設定ウィザードが起動されます。「新しく照会定義を作成」を選択し、[次]ボタンをクリックし、ウィザードを終了させます。



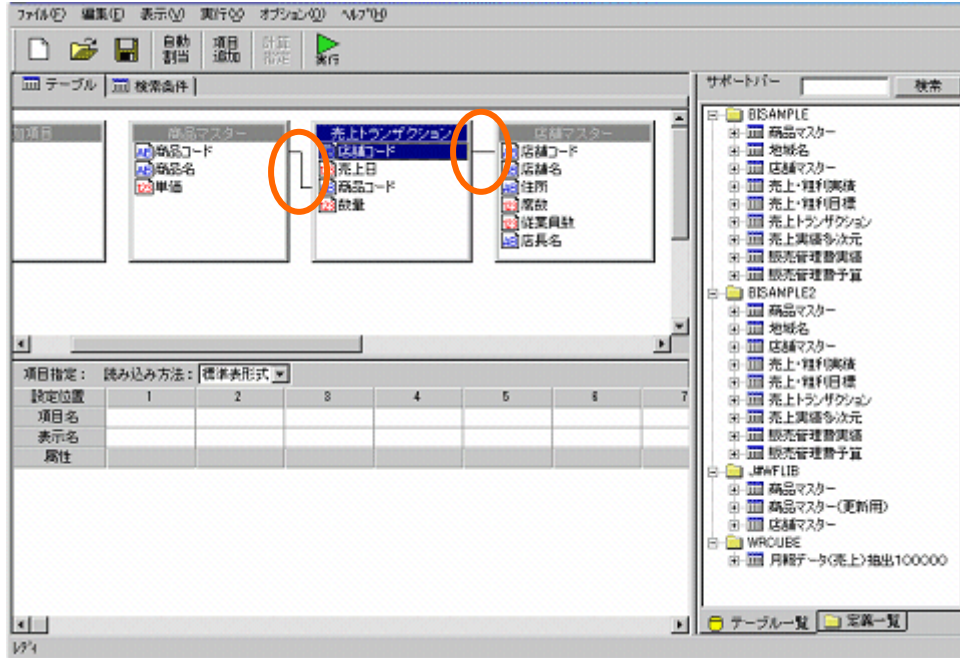
定義設定画面が表示されます。

サポートバーから、「商品マスター」、「売上トランザクション」、「店舗マスター」をドラッグし、テーブル指定域にドロップします。



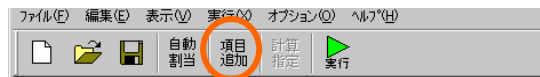
「商品マスター」と「売上トランザクション」を「商品コード」で結合します。

「店舗マスター」と「売上トランザクション」を「店舗コード」で結合します。



追加項目を設定します。

[項目追加]ボタンをクリックします。

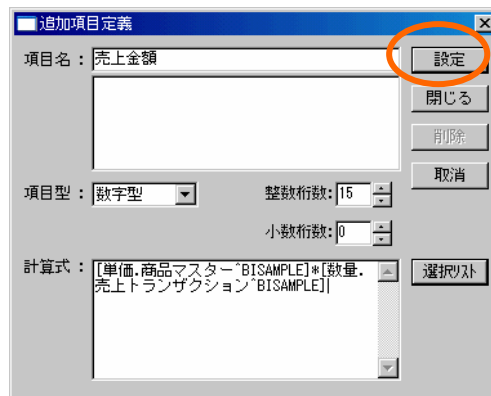


追加項目「売上金額」を以下のように設定し、[設定]ボタンをクリックします。

項目名：「売上金額」

項目型：「数字型」

計算式：「[単価.商品マスター<BISAMPLE>]*[数量.売上トランザクション<BISAMPLE>]」

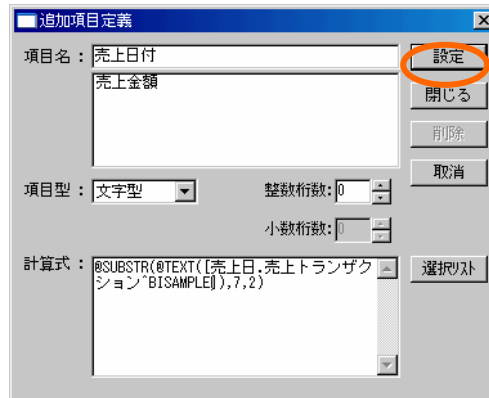


追加項目「売上日付」を以下のように設定し、[設定]ボタンをクリックします。

項目名：「売上日付」

項目型：「文字型」

計算式：「@SUBSTR(@TEXT([売上日.売上トランザクション\スキーマ名]),7,2)」



[閉じる]ボタンをクリックします。

項目を選択します。

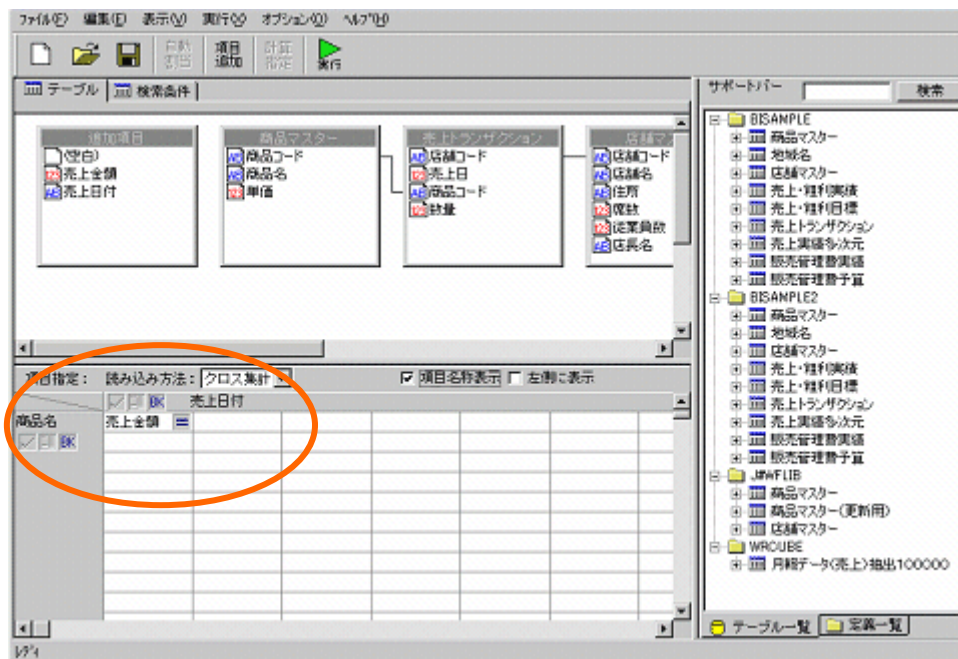
読み込み方法を「クロス集計」に変更します。

行キーに「商品マスター」から「商品名」

列キーに「追加項目」から「売上日付」

項目名に「追加項目」から「売上金額」

をそれぞれ設定します。



検索条件を設定します。

ページ切り替えタブの、検索条件タブをクリックします。

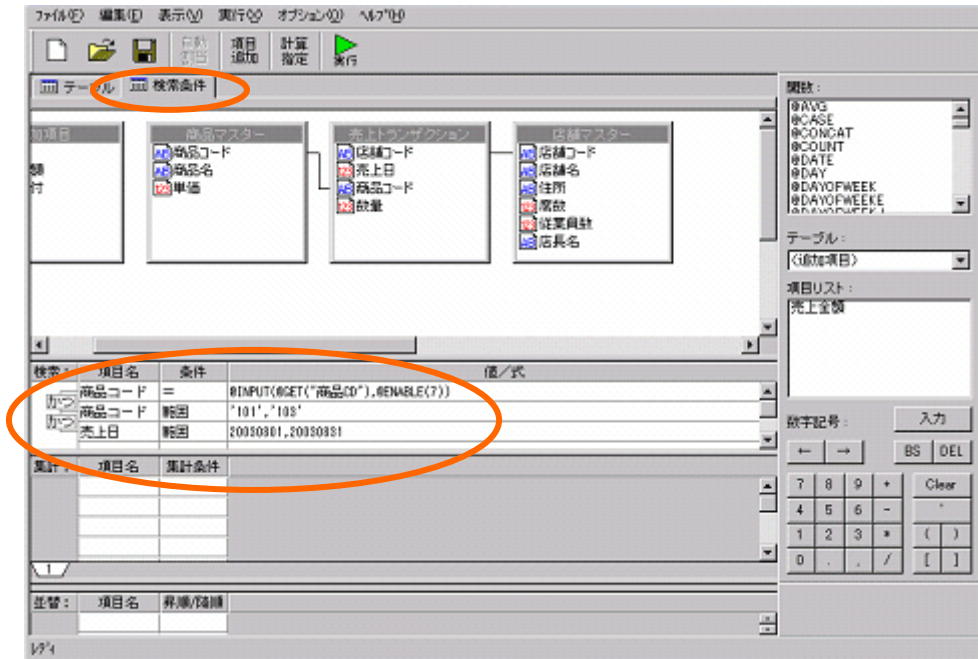
検索条件を以下のように設定します。

「商品コード」 = 「@INPUT(@GET("商品 CD"),@ENABLE(7))」

「商品コード」範囲 「'101','103」

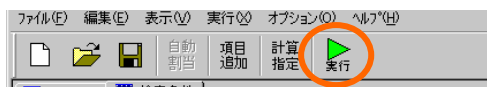
「売上日」範囲「20140801,20140831」

(画面では「20030801,20030831」となっていますが、読み替えて実行してください。)



作成した定義の実行結果を確認します。

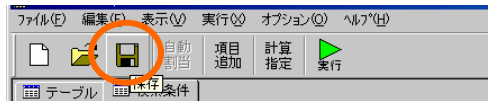
[実行]ボタンをクリックします。



以下のレポートを、ダッシュボードに使用します。確認後は、[閉じる]ボタンをクリックします。

売上日	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14
商品名	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額
アイスコーヒー	176640	148950	130080	164160	167820	176640	176640	174720	159840	176640	160320	164160	176640	173280
アメリカンコーヒー	293280	246880	322560	293280	246720	281760	244800	293280	326880	246880	289440	289560	251520	292800
ブレンドコーヒー	254250	222300	219960	254150	241650	245050	242100	273600	252450	252450	255150	292500	254250	240300

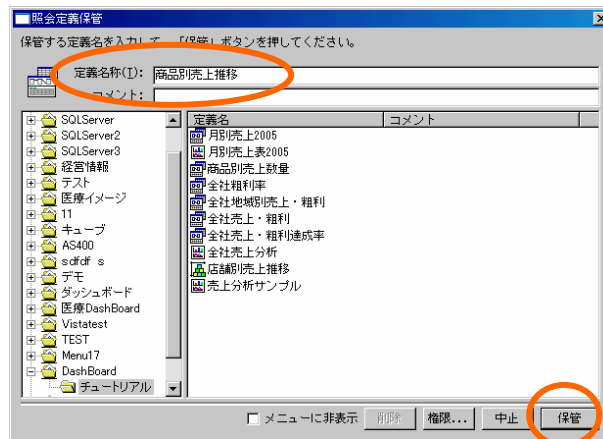
定義を保管します。[保管]ボタンをクリックします。



「照会定義保管」ダイアログが表示されます。

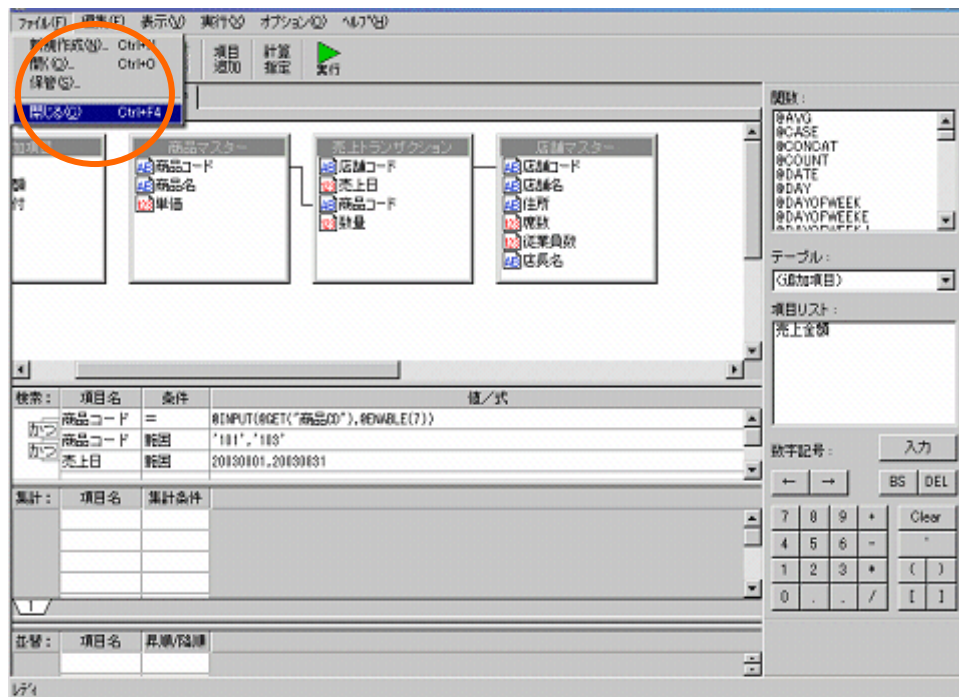
定義を保管するメニュー、フォルダを選択し、「商品別売上推移」という名前を入力します。

[保管]ボタンをクリックします。



定義設定ダイアログを終了させます。

「ファイル」 - 「閉じる」を選択します。



以上でデータ用定義の作成は終了です。

2 グラフの作成

2.1 設定内容

商品別売上推移グラフを作成します。

グラフ、コンポーネントの設定内容は以下の通りです。

詳細な手順は以下をご覧ください。

【商品別売上推移グラフ】

データバインド

データに使用する定義	商品別売上推移
値	売上金額

プロパティ

X座標	580
Y座標	320
幅	220
高さ	200
名前	商品別売上推移
背景色	FAD1FA(カラーチャート6行6列)
値表示	なし

【コンボボックス】

機能設定：データ更新

表示名	値
ブランク	ブランク
ブレンドコーヒー	101
アメリカンコーヒー	102
アイスコーヒー	103

プロパティ

X座標	580
Y座標	300
幅	100

高さ	20
プロパティ名	商品 CD

【ボタン】

機能設定

機能	データ更新
グラフ	商品別売上推移

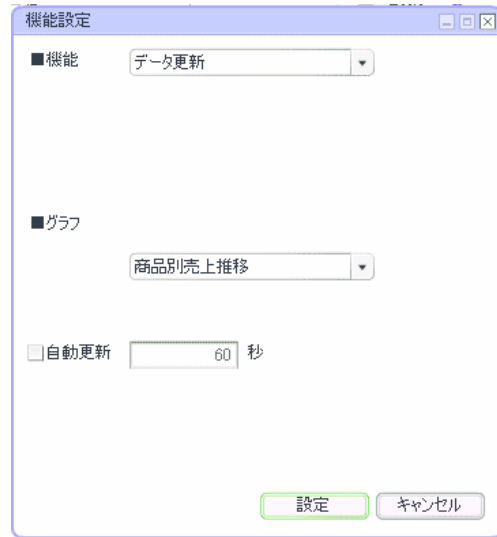
プロパティ

X 座標	700
Y 座標	300
幅	100
高さ	18
ラベル	商品絞込み

【ラベル】

プロパティ

X 座標	580
Y 座標	280
幅	120
高さ	20
テキスト	商品別売上推移
フォント色	FF6633(3 行 1 列)
フォントサイズ	14



2.2 設定手順

ダッシュボードエディタボタンをクリックします。

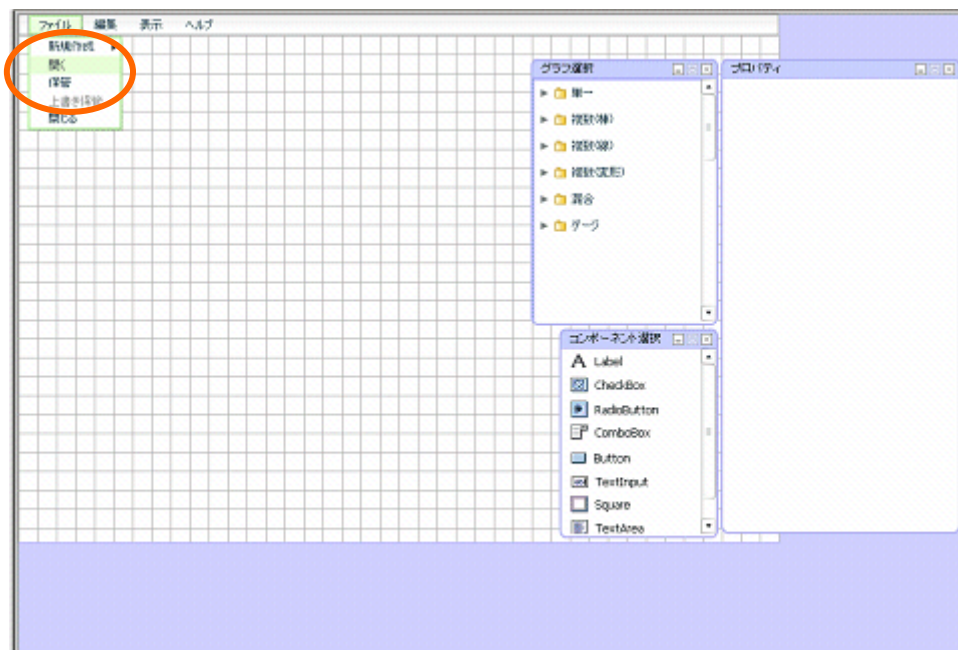


ダッシュボードエディタ画面が表示されます。

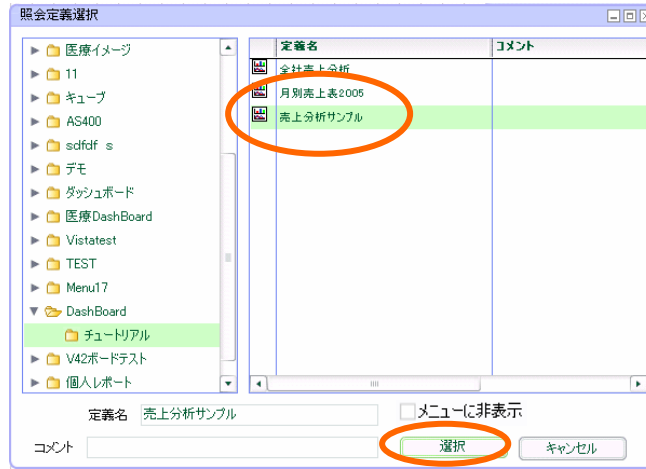
前章の続きからグラフを配置します。この章のみ実施する場合には、**グラフ配置**へお進み下さい。

定義作成開始

メニューバーから、「ファイル」 - 「開く」を選択します。



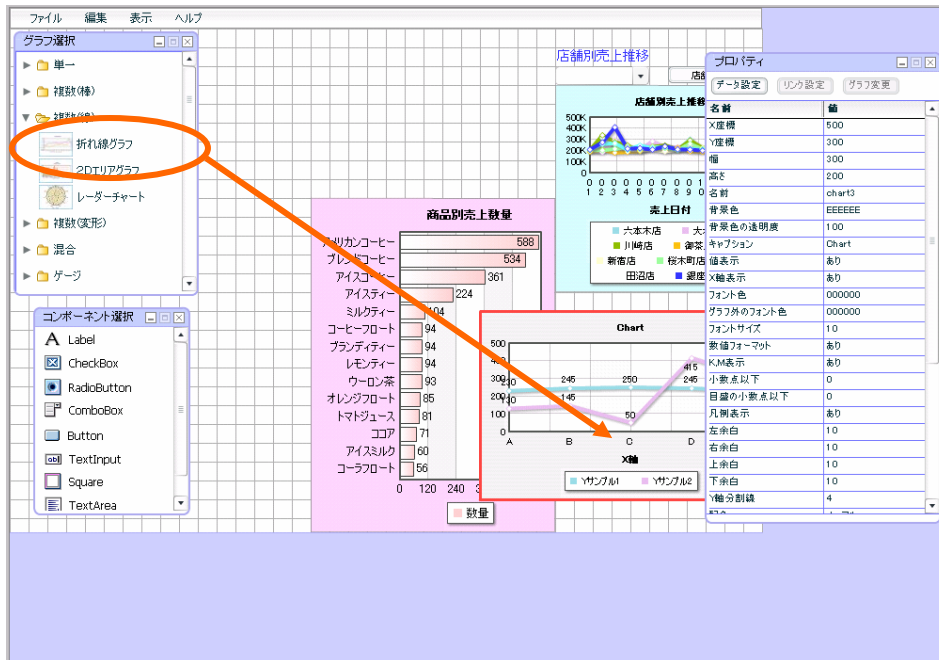
「売上分析サンプル」を選択し、[選択]ボタンをクリックします。



選択した定義が表示されます。

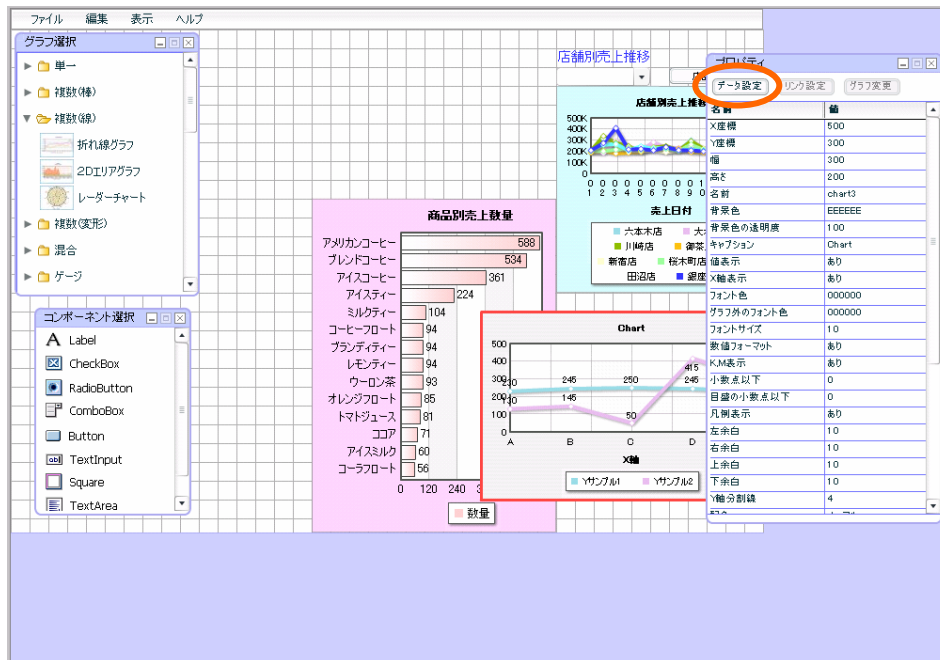
グラフ配置

グラフ選択ウィンドウから、「複数（線）」 - 「折れ線グラフ」を選択し、キャンバスにドラッグアンドドロップします。



データ設定

プロパティウィンドウの[データ設定]ボタンをクリックします。

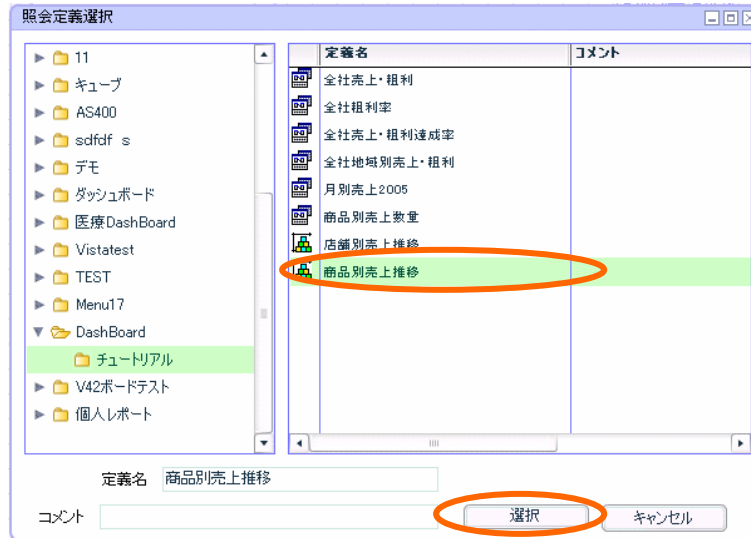


ダイアログが表示されます。

[選択]ボタンをクリックします。

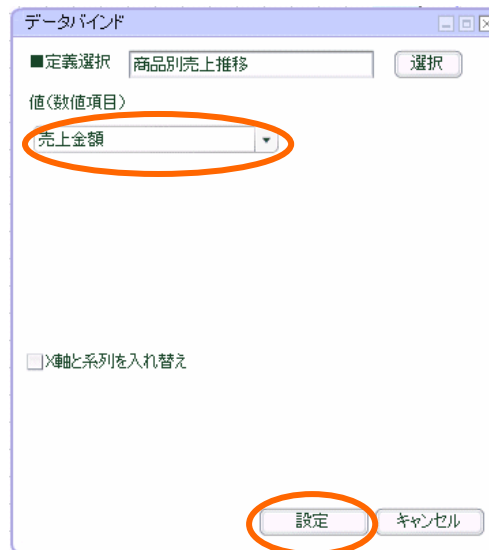


「1 データ用定義作成」で作成した「商品別売上推移」を選択し、[設定]ボタンをクリックします。



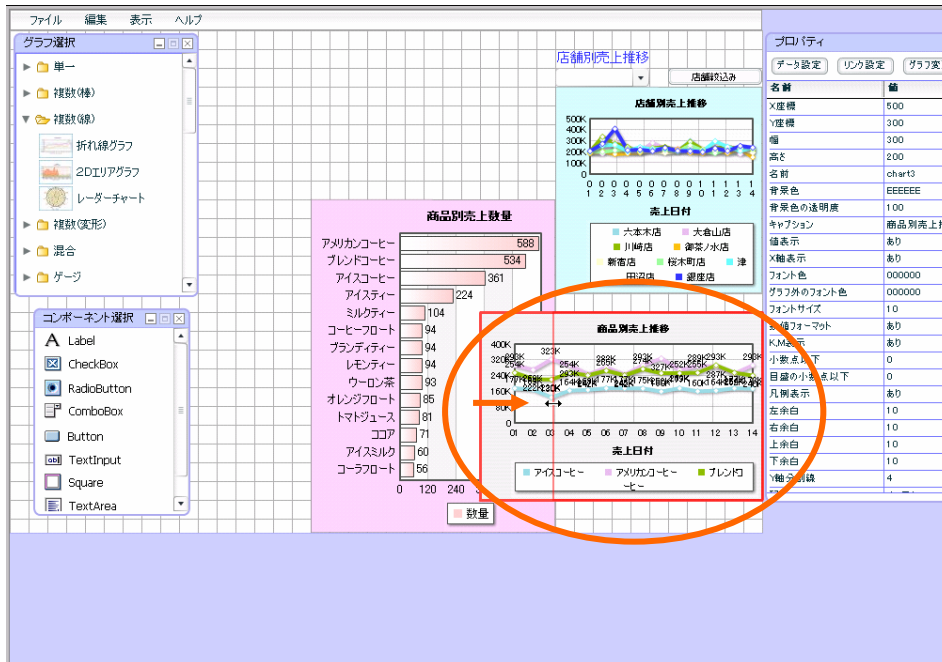
値は、「売上金額」を選択します。

[設定]ボタンをクリックします。

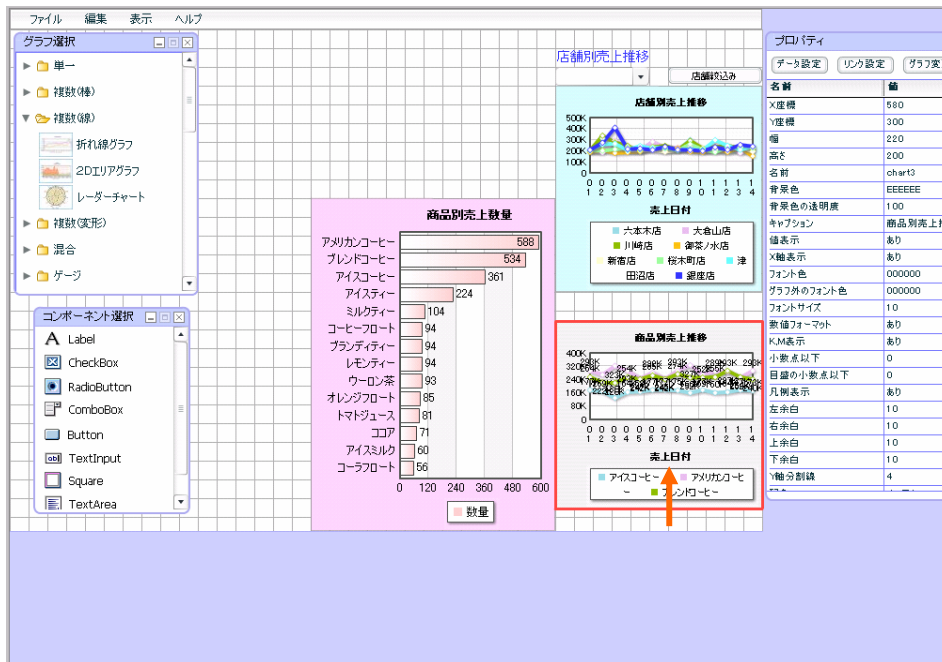


プロパティ設定

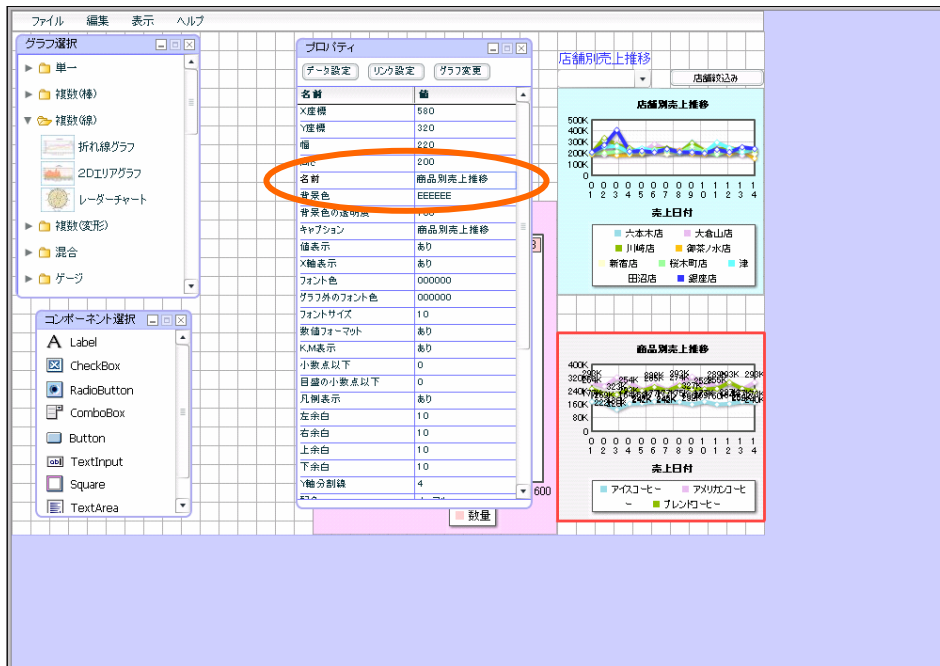
グラフ周囲の赤いボーダーラインをドラッグし、サイズを「幅」220、「高さ」200 に設定します。



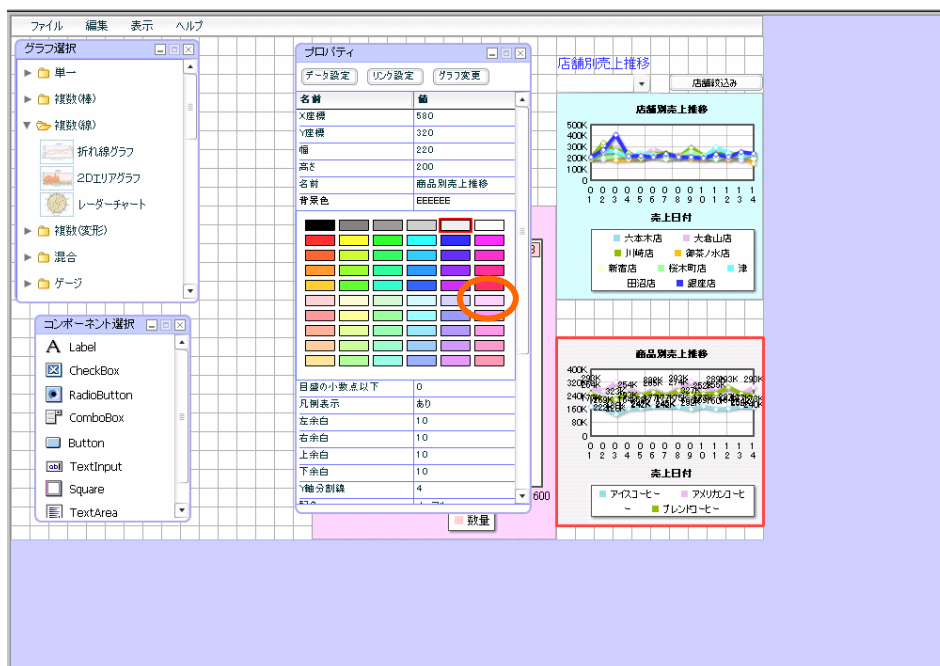
グラフの位置は、マウスでドラッグし、「X 座標」580、「Y 座標」320 に設定します。



プロパティウィンドウで、「名前」を「商品別売上推移」に設定します。



プロパティウィンドウで、「背景色」をカラーチャートから「FAD1FA(カラーチャート 6 行 6 列)」に設定します。



プロパティウィンドウで、「値表示」を「なし」に設定します。

The screenshot shows a software interface with a 'Properties' window. The 'Value Display' (値表示) property is highlighted with a red circle and set to 'None' (なし). The chart displays 'Store Sales Trend' (店舗別売上推移) and 'Product Sales Trend' (商品別売上推移).

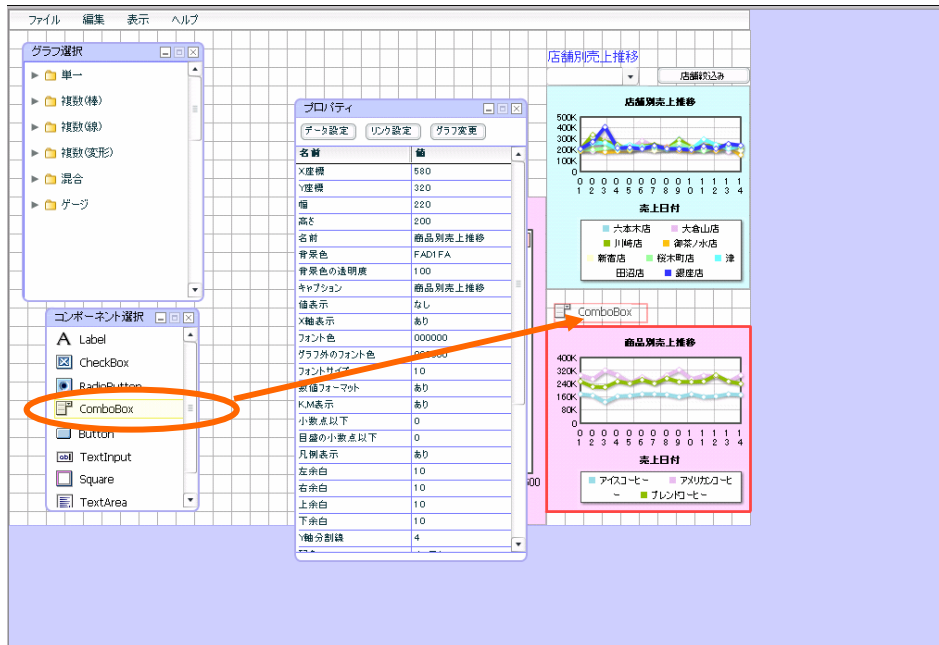
名前	値
X座標	580
Y座標	320
幅	220
高さ	200
名前	商品別売上推移
背景色	FAD1FA
背景色の透明度	100
キャプション	商品別売上推移
値表示	あり
X軸表示	あり
フォント色	なし
グラフのフォント色	000000
フォントサイズ	10
数値フォーマット	数D
K/M表示	あり
小数点以下	0
目盛りの小数点以下	0
凡例表示	あり
左余白	10
右余白	10
上余白	10
下余白	10
Y軸分割線	4

グラフの設定は以上です。

コンボボックス配置

コンボボックスの設定をします。

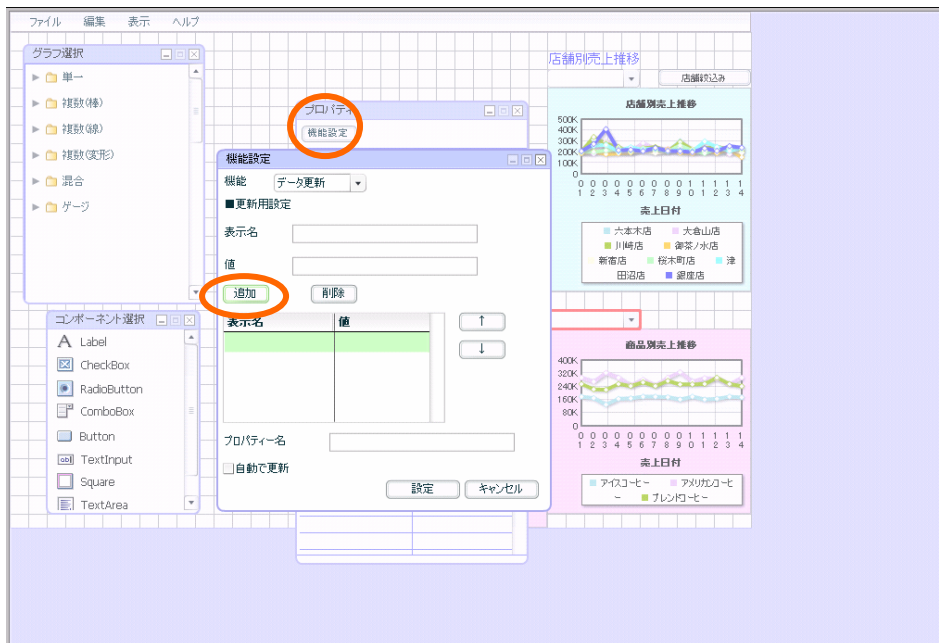
「コンポーネント選択ウィンドウ」から、「コンボボックス」をドラッグし、作成したグラフの上部にドロップします。



プロパティウィンドウの[機能設定]ボタンをクリックします。

ダイアログが表示されます。

表示名、データともに空白のまま、[追加]ボタンをクリックします。（初期表示用です。）



空白行が追加されます。

表示名「ブレンドコーヒー」データ「101」とそれぞれ入力し、[追加]ボタンをクリックします。

同様に、以下のように設定します。

表示名	値
アメリカンコーヒー	102
アイスコーヒー	103

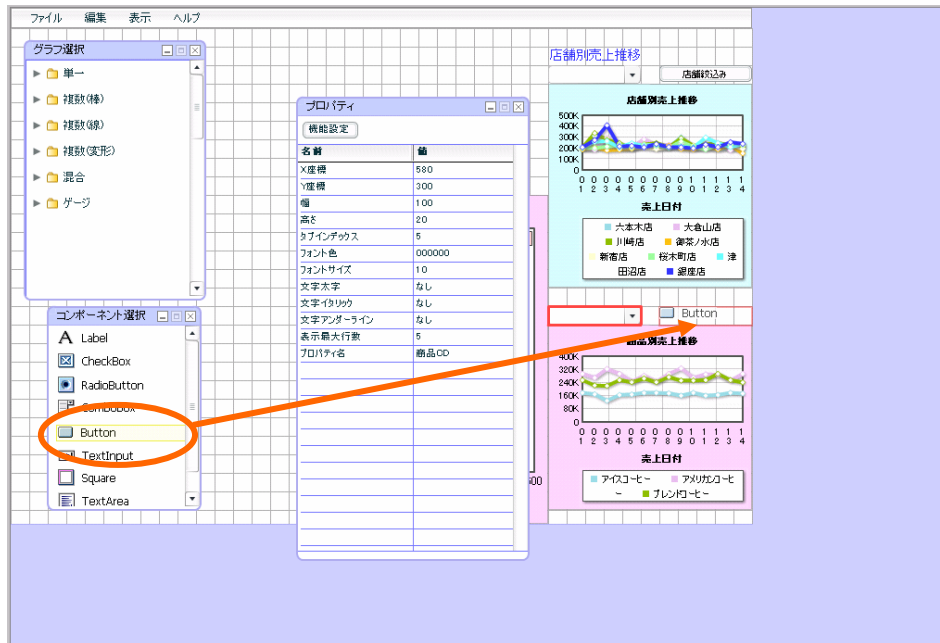
プロパティ名に「商品 CD」と入力し、「設定」ボタンをクリックします。

コンボボックスの設定は以上です。

ボタン配置

ボタンの設定をします。

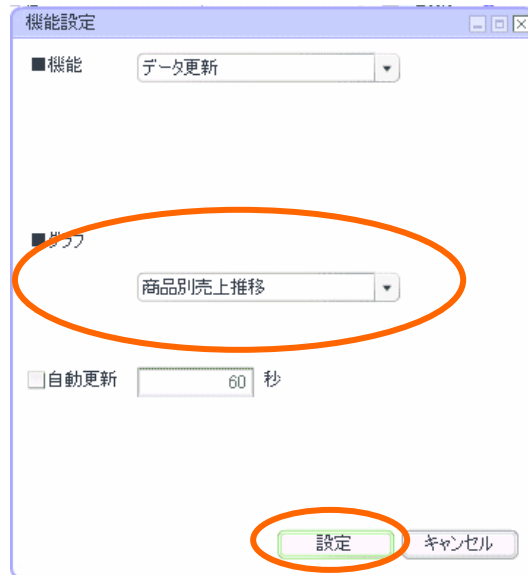
「コンポーネント選択ダイアログ」から、「ボタン」をドラッグし、コンボボックスの右横に配置します。



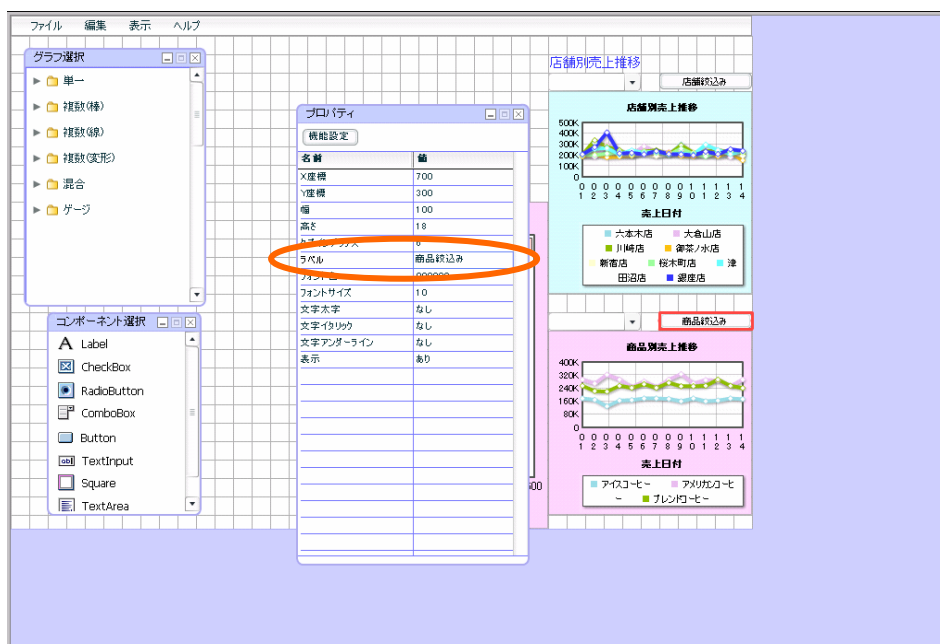
[機能設定]ボタンをクリックします。



[グラフ]設定は、「商品別売上推移」を選択し、[設定]ボタンをクリックします。



プロパティウィンドウで、「ラベル」を「商品絞込み」と設定します。

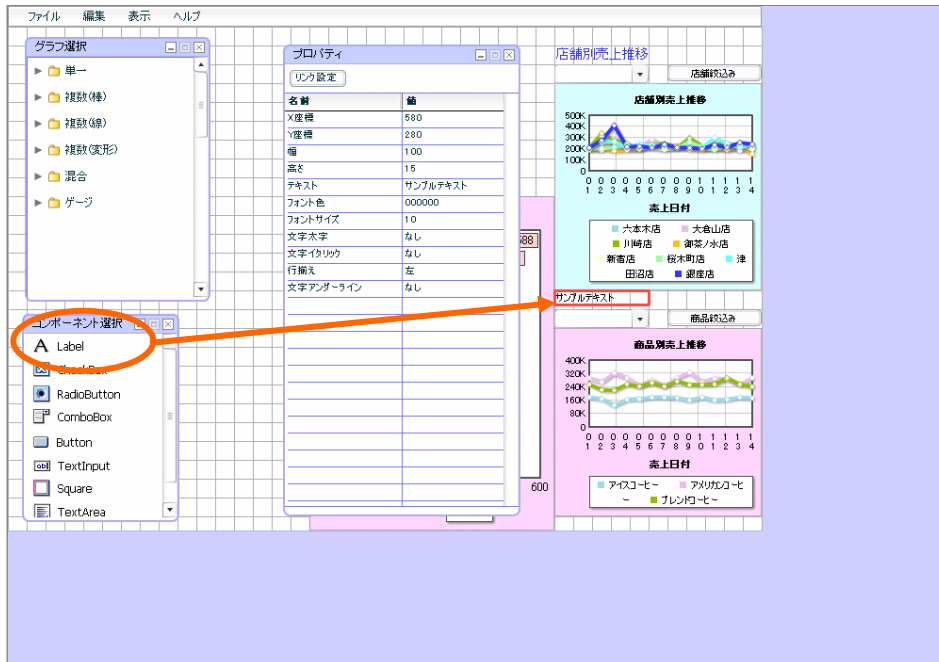


ボタンの設定は以上です。

(任意)ラベル配置

説明用のラベルを設定します。

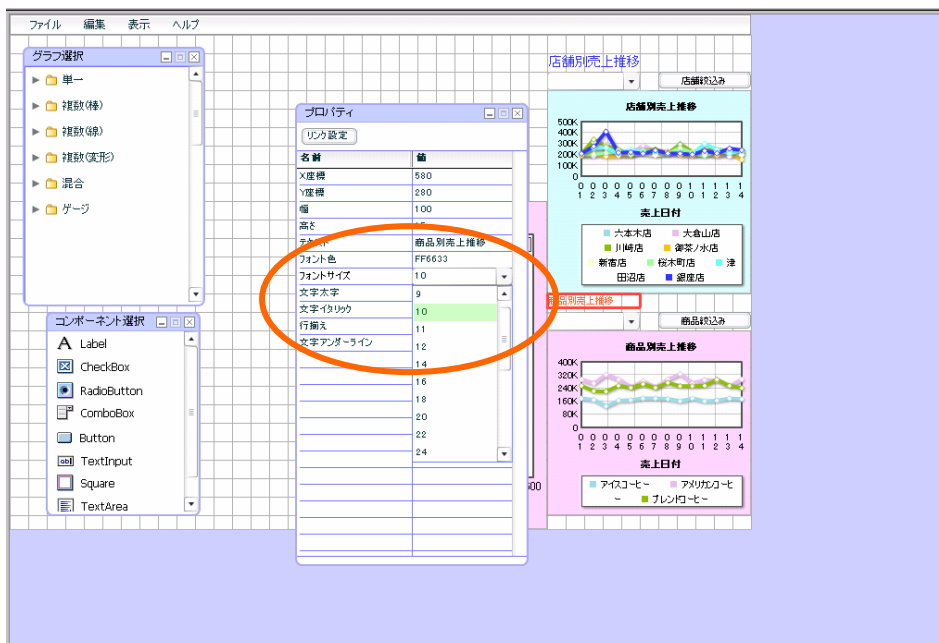
コンポーネント選択ウィンドウから、ラベルを選択し、コンボボックスの上部に配置します。



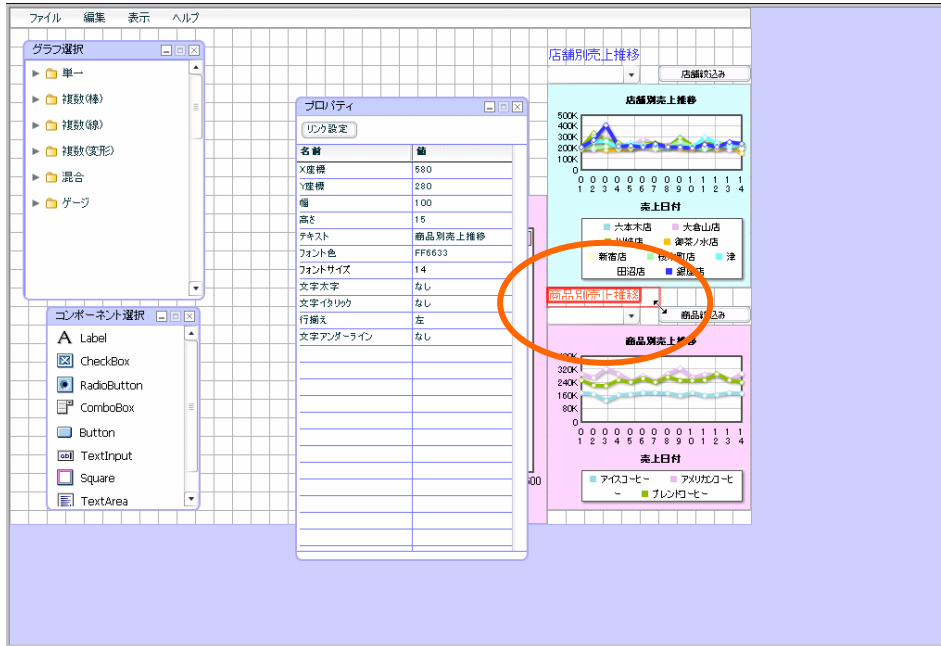
プロパティウィンドウで、「テキスト」を「商品別売上推移」と設定します。

プロパティウィンドウで、「フォント色」を「FF6633(3行1列)」に設定します。

プロパティウィンドウで、「フォントサイズ」を「14」に設定します。



赤いボーダーラインをドラッグし、テキストが表示される大きさに変更します。



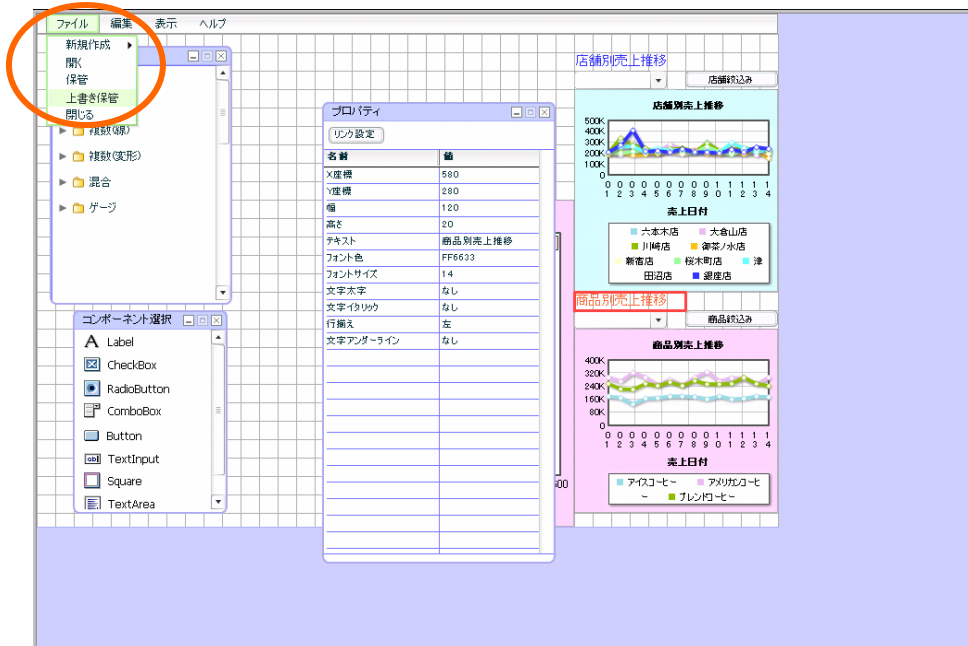
ラベルの設定は以上です。

以上で、商品別売上推移グラフの作成は終了です。

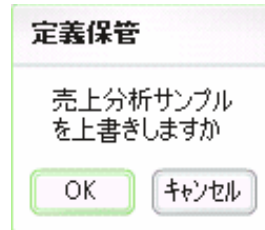
定義保管

定義を上書き保管します。この章のダッシュボードのみ作成した場合には、「第 3 章 2」の**定義保管**をご参照の上、定義を新規保管し、**確認**へお進み下さい。

「ファイル」 - 「上書き保管」をクリックします。



確認ダイアログが出現しますので、[OK]ボタンをクリックします。



「ファイル」 - 「閉じる」で、ダッシュボードエディタを終了させます。

終了時には確認ダイアログが表示されますが、[いいえ]をクリックして下さい。

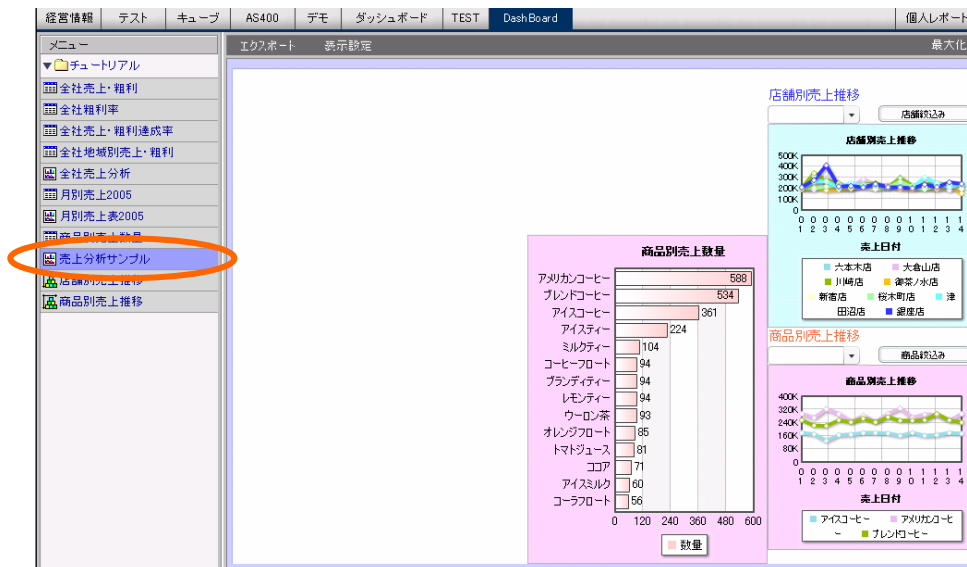
以上で設定は終了です。

確認

定義の確認をします。

Web 実行画面から定義を保管したメニュー、フォルダを選択し、定義を選択します。

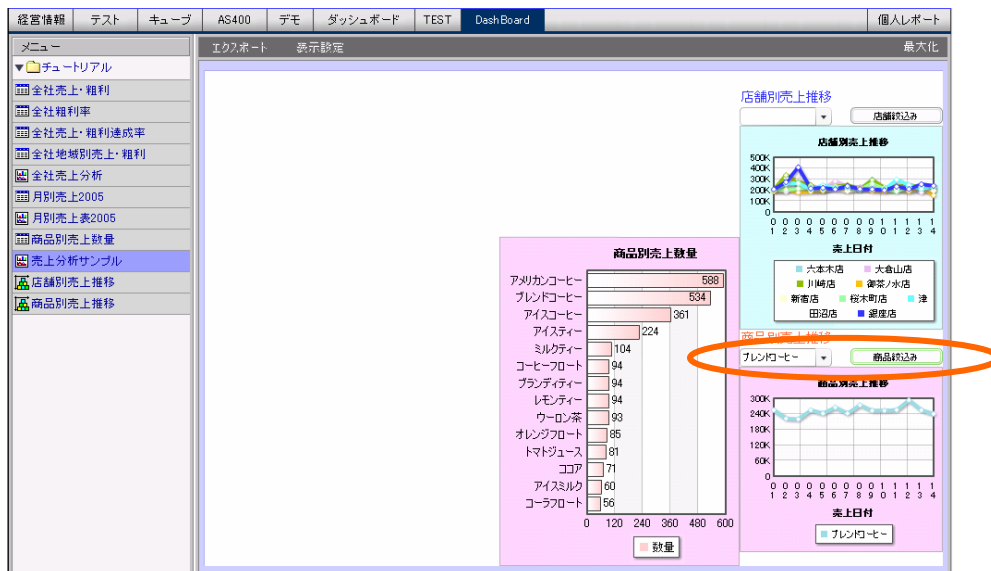
保管したグラフが表示されます。



コンボボックスで絞込みの確認をします。

コンボボックスで商品を選択し、[商品絞込み]ボタンをクリックします。

グラフのデータが選択した商品のみ表示されます。



確認は以上です。

グラフを引き続き作成する場合には、第6章へお進み下さい。

第 6 章

全体売上金額グラフ を作成する



1 データ用定義作成

ある日の売上金額を集計した結果をゲージで表示した、全体売上金額グラフ用の定義「全体売上金額」と、全体売上金額グラフをクリック時に表示させる「売上明細表」を作成します。

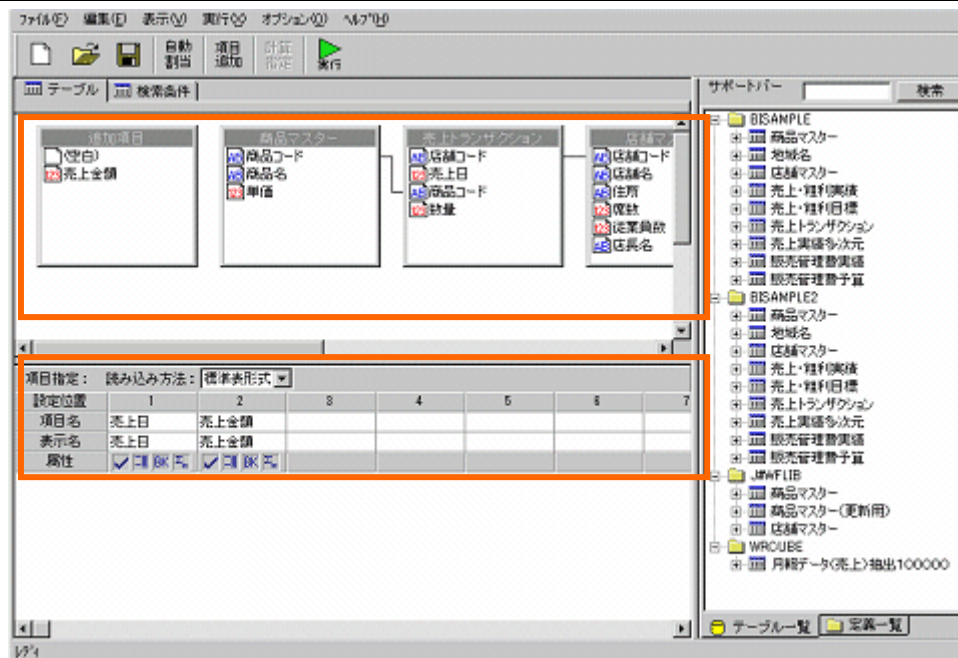
1.1 設定内容

設定内容は以下の通りです。

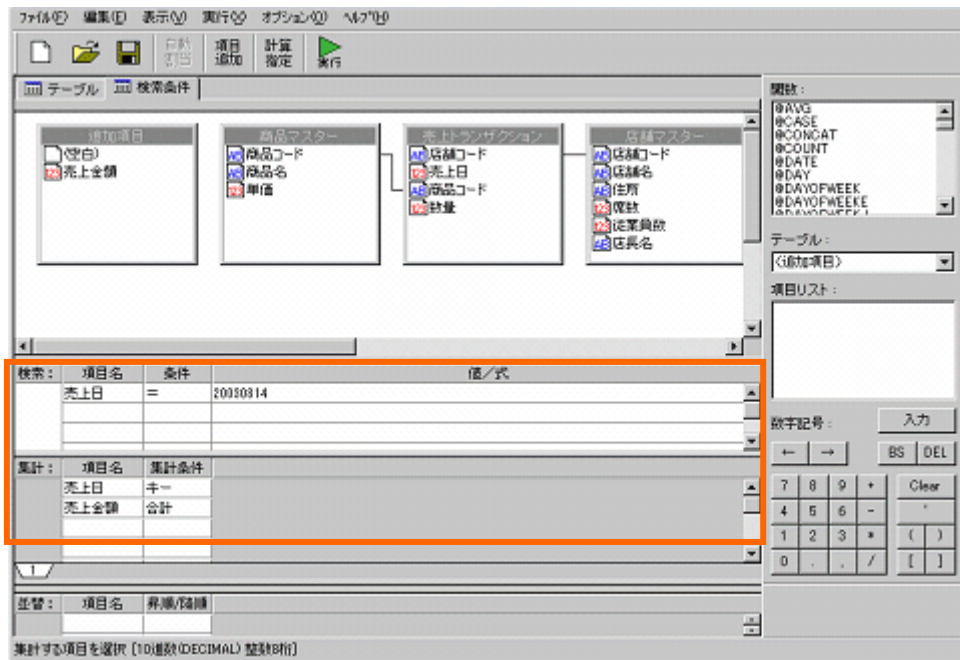
詳細な設定手順は、「設定手順」をご覧ください。

定義名：全体売上金額

①使用テーブル	「商品マスター」「売上トランザクション」「店舗マスター」
テーブル結合条件	「商品マスター」と「売上トランザクション」を結合 「商品コード」キー
	「店舗マスター」と「売上トランザクション」を結合 「店舗コード」キー
②追加項目	項目名:「売上金額」 項目型:「数値型」 計算式:「[単価.商品マスター^スキーマ名]*[数量.売上トランザクション^スキーマ名]」
③項目設定	読み込み方法「標準表形式」 「売上日」「売上金額」



④検索条件	「売上日」=「20140814」 (画面では「20030814」となっていますが、読み替えて実行してください。)
⑤集計条件	「売上日」キー
	「売上金額」合計



1.2 設定方法

定義設定ボタンをクリックします。

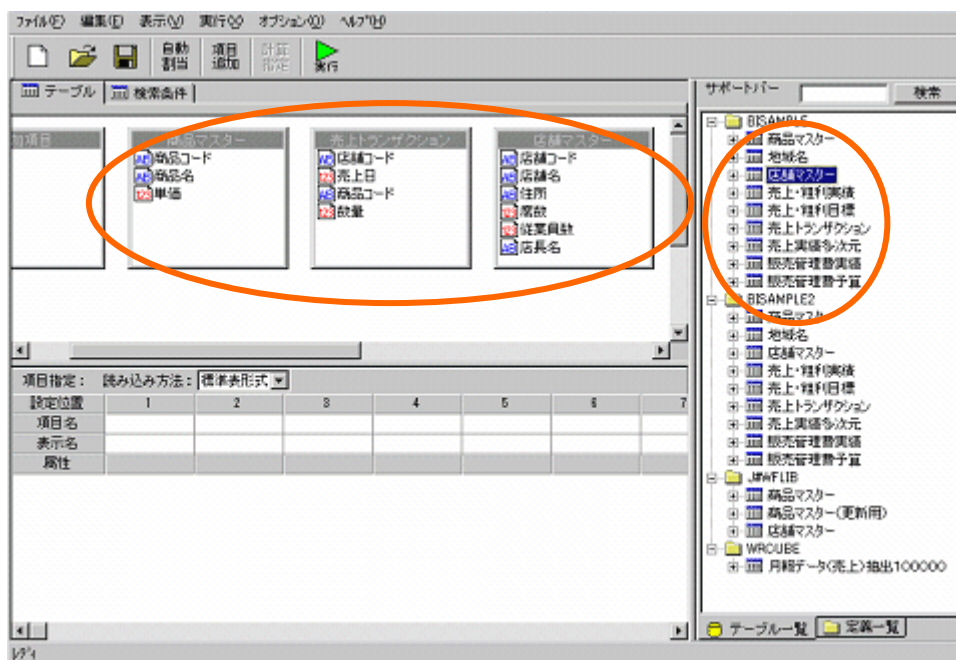


定義設定ウィザードが起動されます。「新しく照会定義を作成」を選択し、[次]ボタンをクリックし、ウィザードを終了させます。



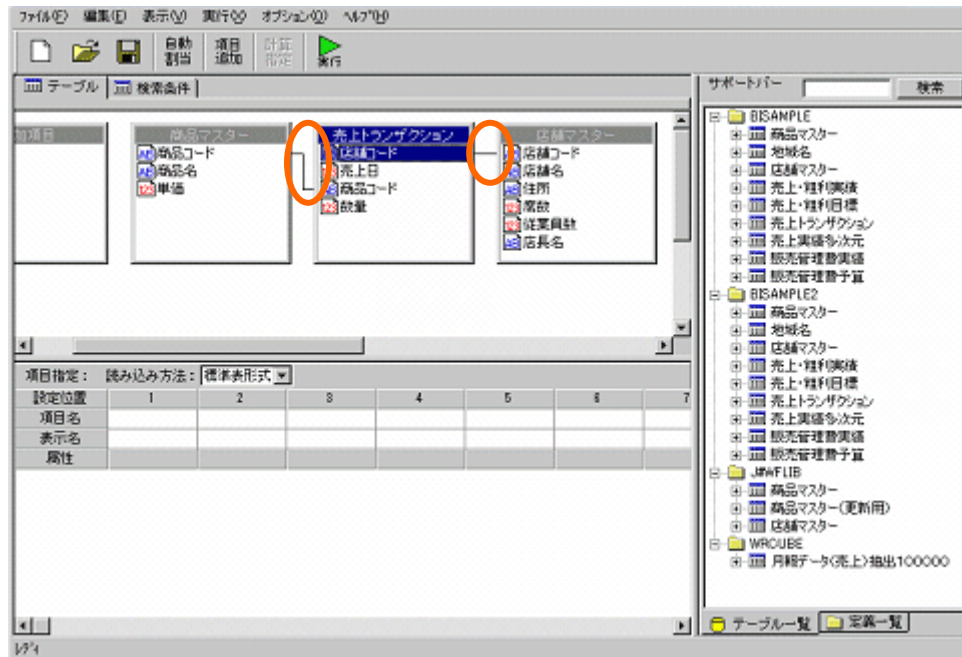
定義設定画面が表示されます。

サポートバーから、「商品マスター」、「売上トランザクション」、「店舗マスター」をドラッグし、テーブル指定域にドロップします。



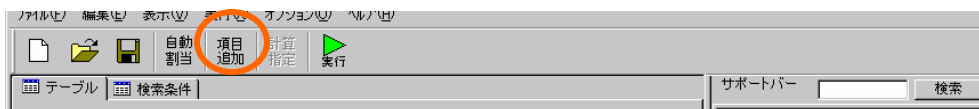
「商品マスター」と「売上トランザクション」を「商品コード」で結合します。

「店舗マスター」と「売上トランザクション」を「店舗コード」で結合します。



追加項目を設定します。

[項目追加]ボタンをクリックします。

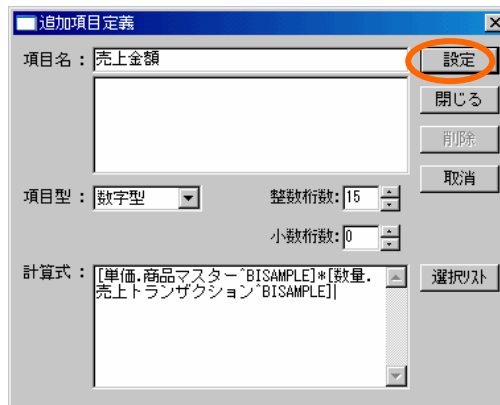


追加項目「売上金額」を以下のように設定し、[設定]ボタンをクリックします。

項目名：「売上金額」

項目型：「数字型」

計算式：「[単価.商品マスター^スキーマ名]*[数量.売上トランザクション^スキーマ名]」

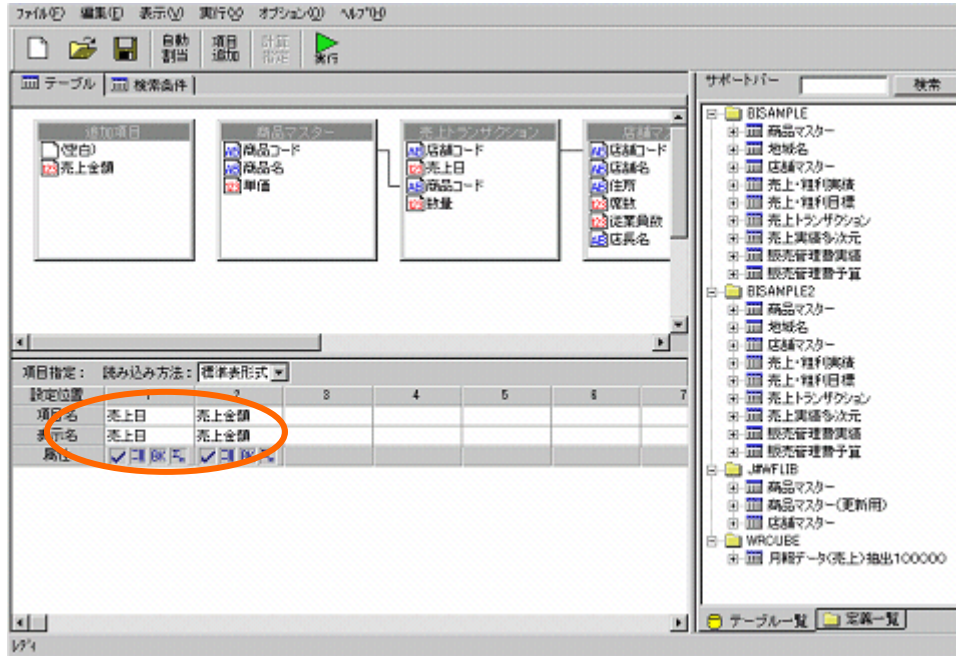


[閉じる]ボタンをクリックします。

項目を選択します。

「売上トランザクション」から、「売上日」

「追加項目」から、「売上金額」を項目指定域に設定します。

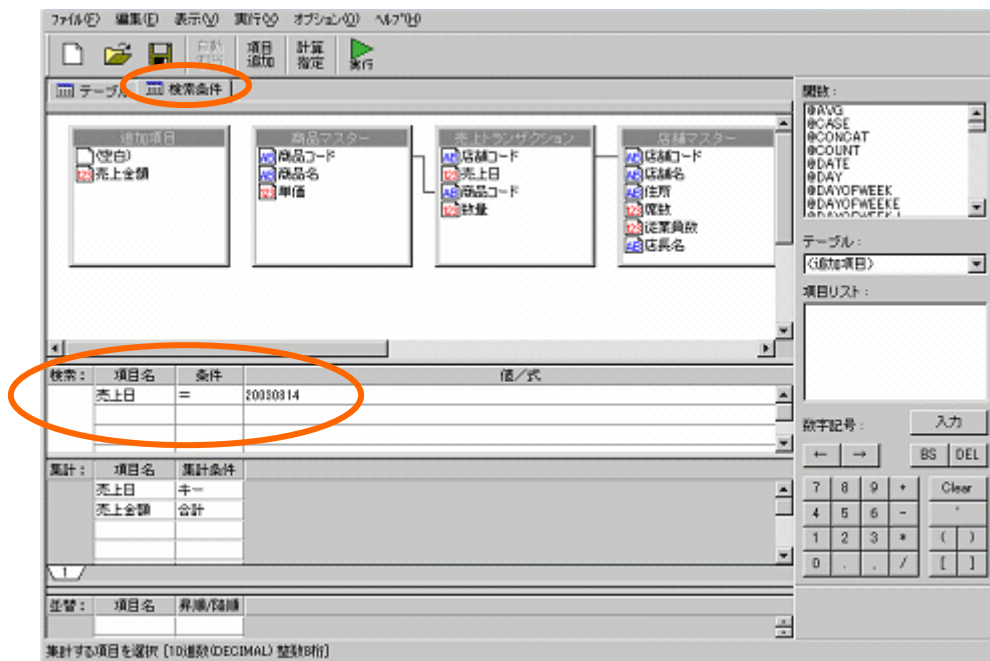


検索条件を設定します。検索条件タブをクリックします。

検索条件を以下のように設定します。

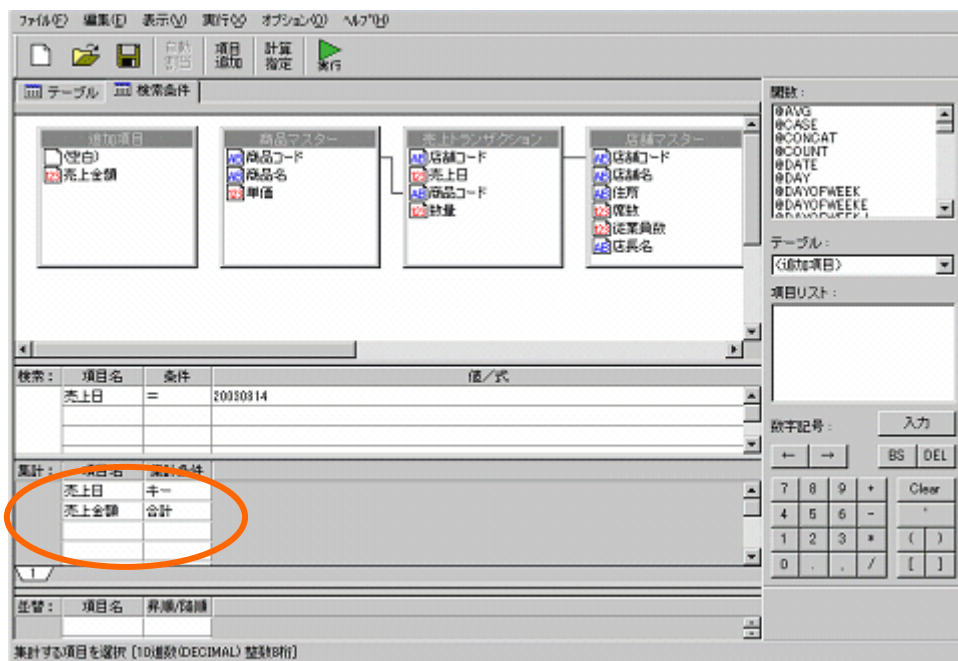
「売上日」 = 「20140814」

(画面では「20030814」となっていますが、読み替えて実行してください。)



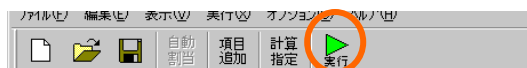
集計を設定します。

「売上日」をキー、「売上金額」を合計に設定します。



作成した定義の実行結果を確認します。

[実行]ボタンをクリックします。



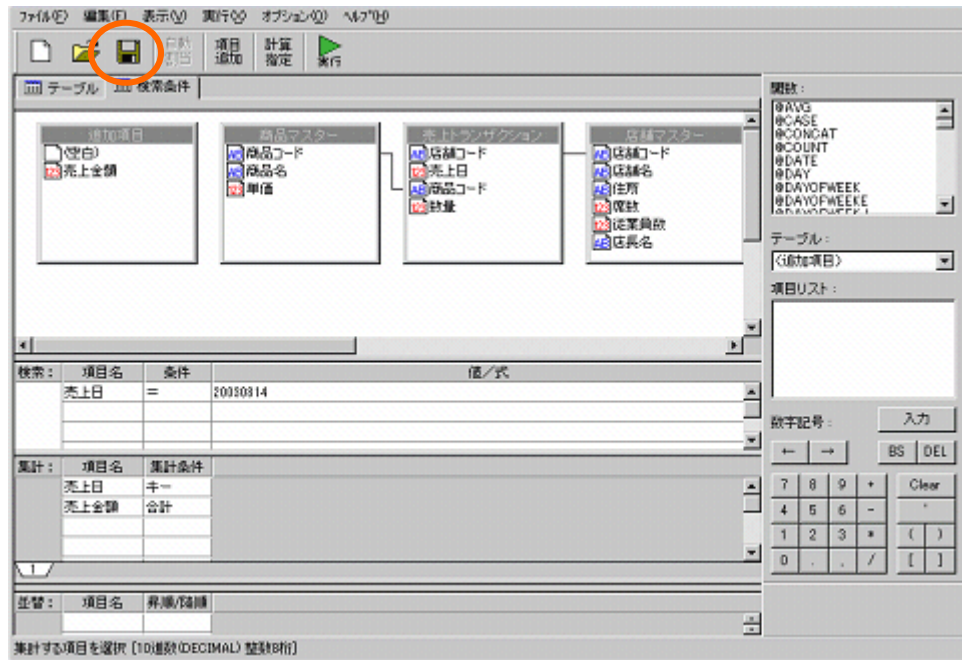
以下のレポートを、ダッシュボードに使用します。

確認後は、[閉じる]ボタンをクリックします。



定義を保管します。

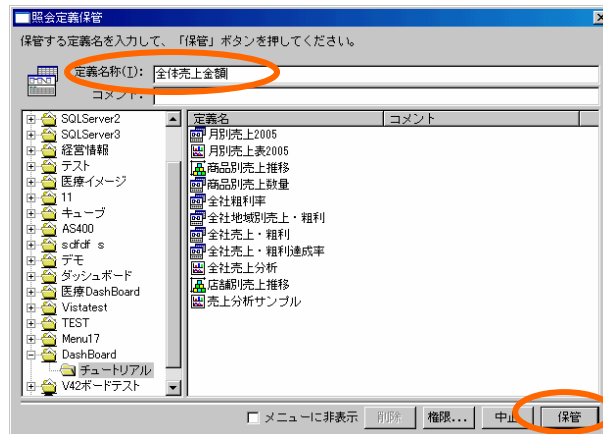
[保管]ボタンをクリックします。



「照会定義保管」ダイアログが表示されます。

定義を保管するメニュー・フォルダを選択し、

「全体売上金額」という名前を入力し、[保管]ボタンをクリックします。



以上で、データ用定義作成は終了です。

「2 リンク用定義作成」に進まれる場合には、定義設計画面を開いたままにしてください。

2 リンク用定義作成

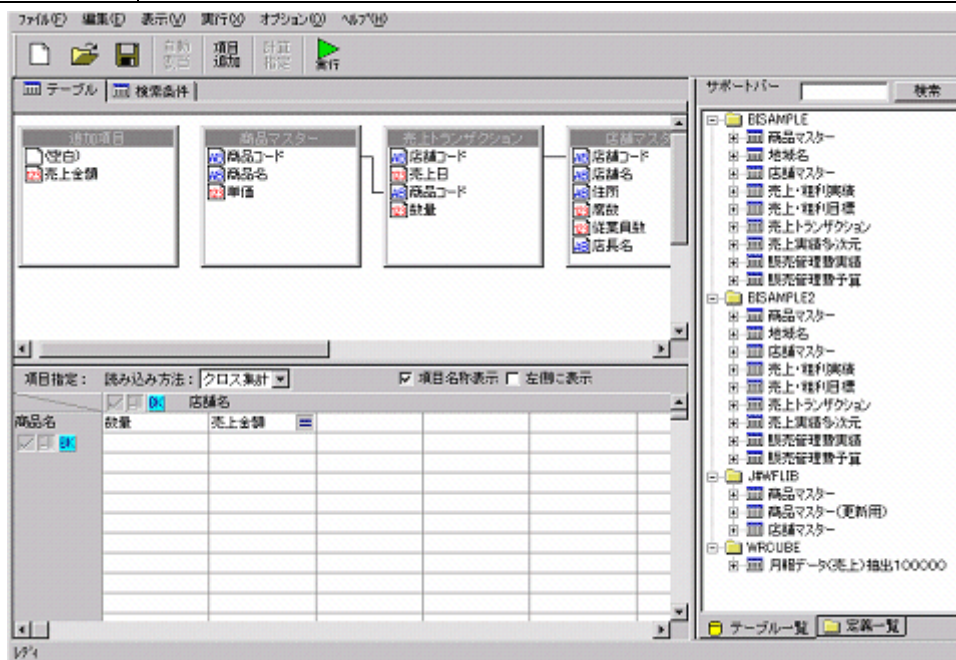
引き続き、全体売上金額グラフをクリックした際に表示させるリンク先の定義を作成します。
売上日における、商品・店舗別の売上集計表を作成します。

2.1 設定内容

設定内容は以下の通りです。詳細な設定手順は、「2.2 設定手順」の記述をご覧ください。

定義名：全体売上金額リンク先

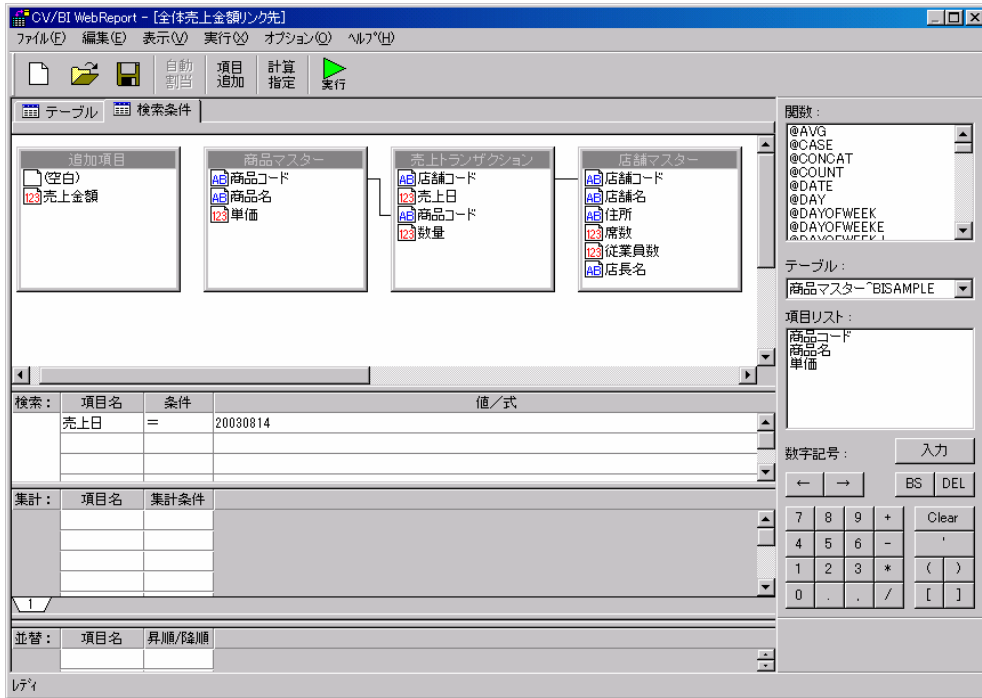
①使用テーブル	「商品マスター」「売上トランザクション」「店舗マスター」
テーブル結合条件	「商品マスター」-「売上トランザクション」「商品コード」キー
	「店舗マスター」-「売上トランザクション」「店舗コード」キー
②追加項目	項目名:「売上金額」 項目型:「数字型」 計算式:「[単価.商品マスター^スキーマ名]*[数量.売上トランザクション^スキーマ名]」
③項目設定	読み込み方法「クロス集計」 行キー「商品名」(総計表示あり)、列キー「店舗名」(総計表示あり) 項目名「数量」「売上金額」



④検索条件

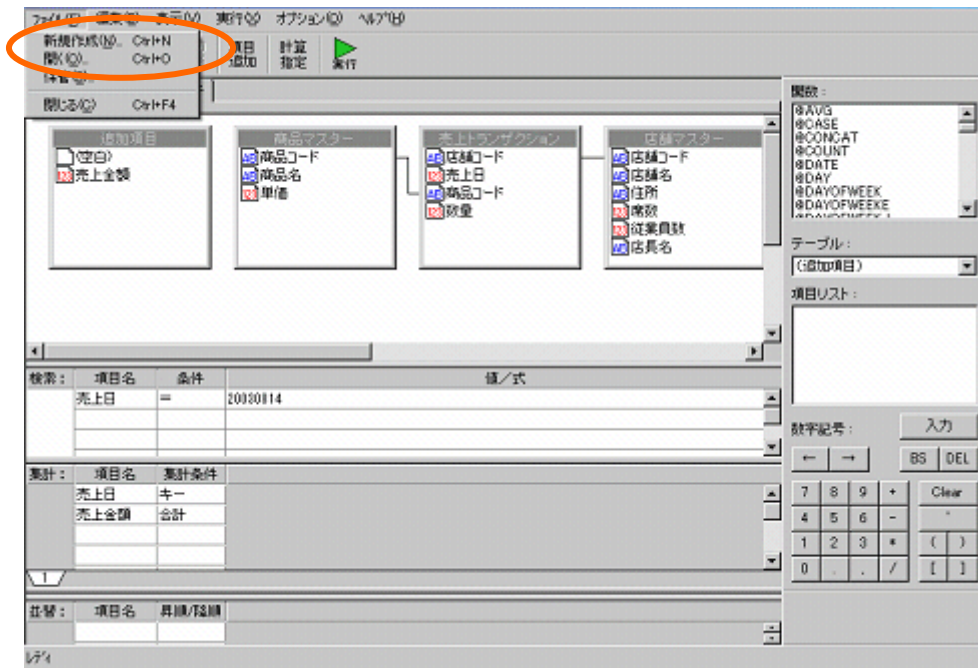
「売上日」=「20140814」

(画面では「20030814」となっていますが、読み替えて実行してください。)



2.2 設定手順

(定義設計画面にて)メニューバーから、「ファイル」 - 「新規作成」をクリックします。

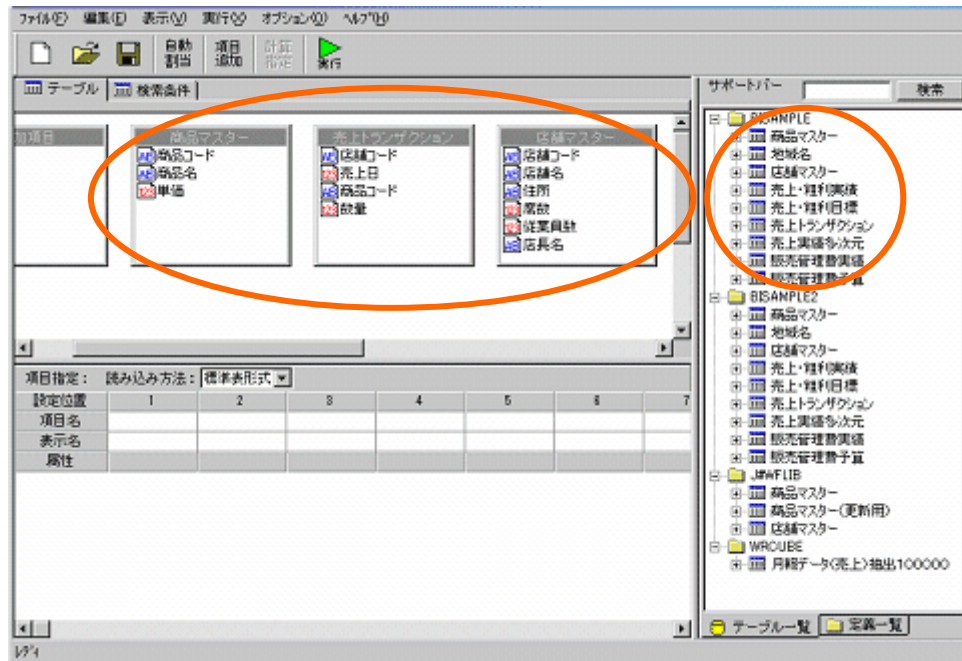


定義設定ウィザードが起動されます。「新しく照会定義を作成」を選択し、[次]ボタンをクリックし、ウィザードを終了させます。



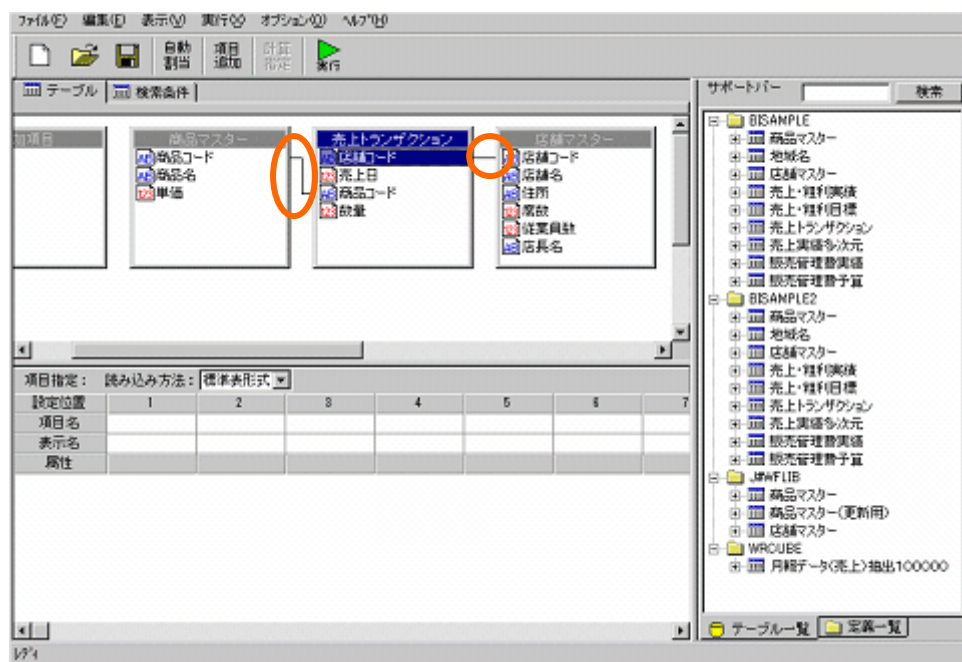
定義設定画面が新規に表示されます。

サポートバーから、「商品マスター」、「売上トランザクション」、「店舗マスター」をドラッグし、テーブル指定域にドロップします。



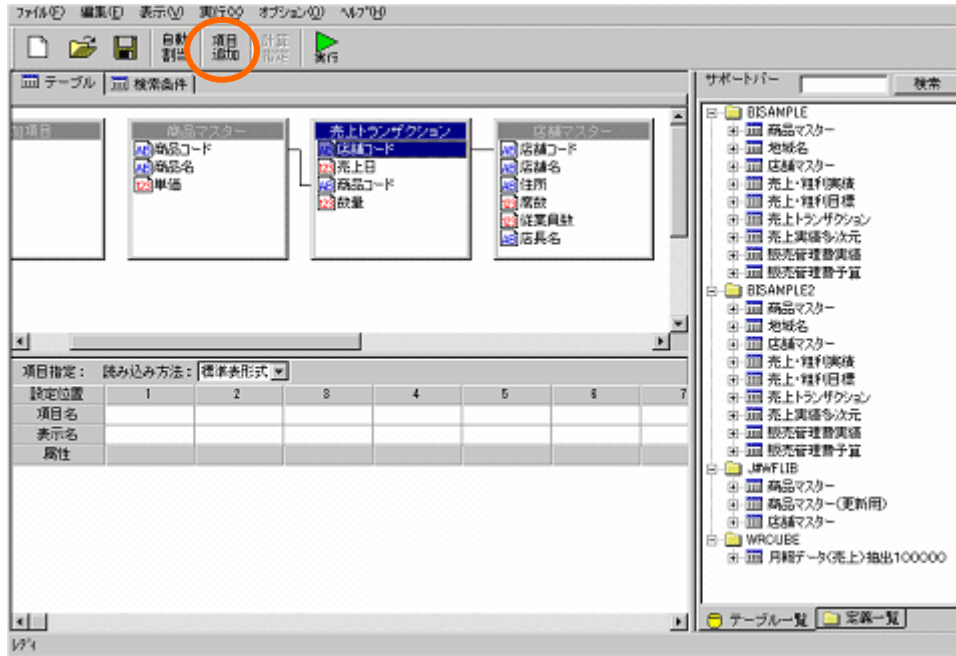
「商品マスター」と「売上トランザクション」を「商品コード」で結合します。

「店舗マスター」と「売上トランザクション」を「店舗コード」で結合します。



追加項目を設定します。

[項目追加]ボタンをクリックします。

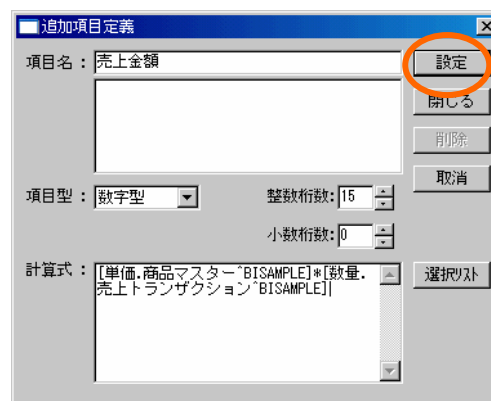


追加項目「売上金額」を以下のように設定します。

項目名：「売上金額」

計算式：「[単価.商品マスターハスキーマ名]*[数量.売上トランザクションハスキーマ名]」

[設定]ボタンをクリックします。



[閉じる]ボタンをクリックします。

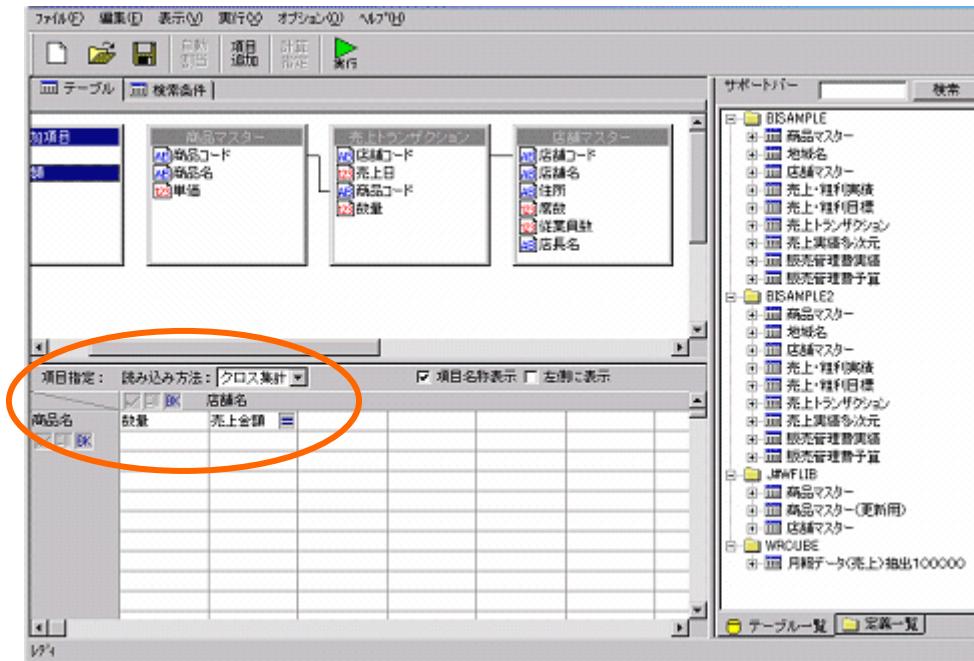
項目を選択します。

読み込み方法を、「クロス集計」に設定します。

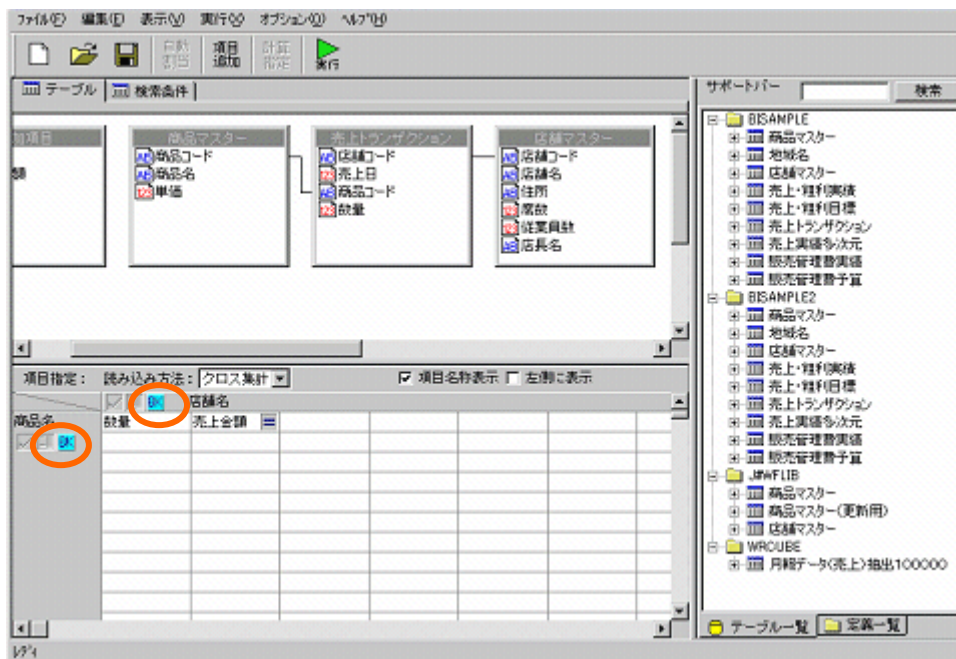
行キーに「商品マスター」から「商品名」

列キーに「店舗マスター」から「店舗名」

項目名に「売上トランザクション」から「数量」、「追加項目」から「売上金額」をそれぞれ設定します。



行キー、列キーの[BK]をクリックし、総計表示をさせます。



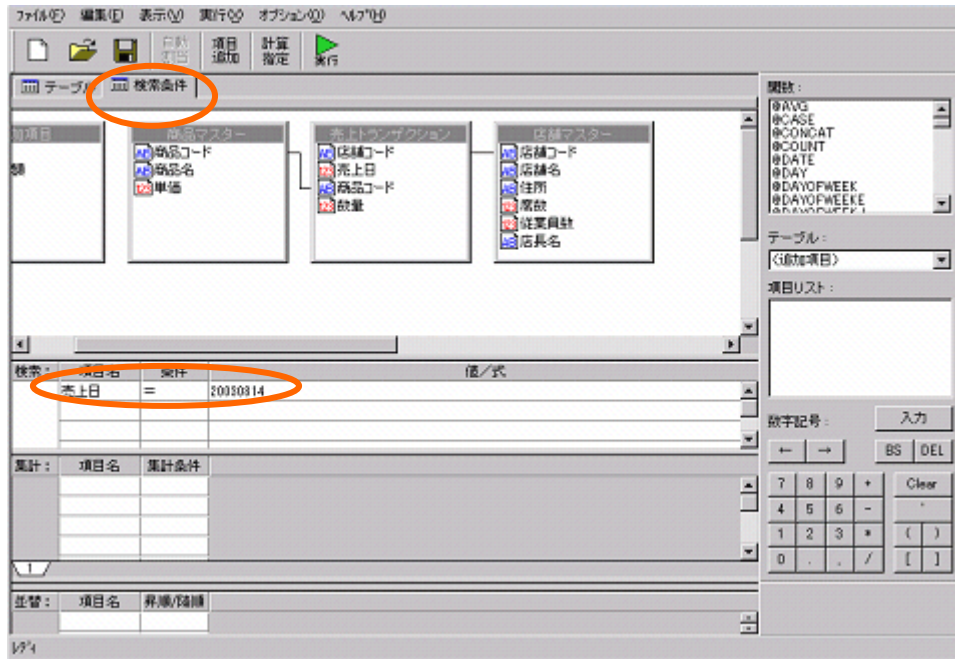
検索条件を設定します。

ページ切り替えタブの、検索条件タブをクリックします。

検索条件を以下のように設定します。

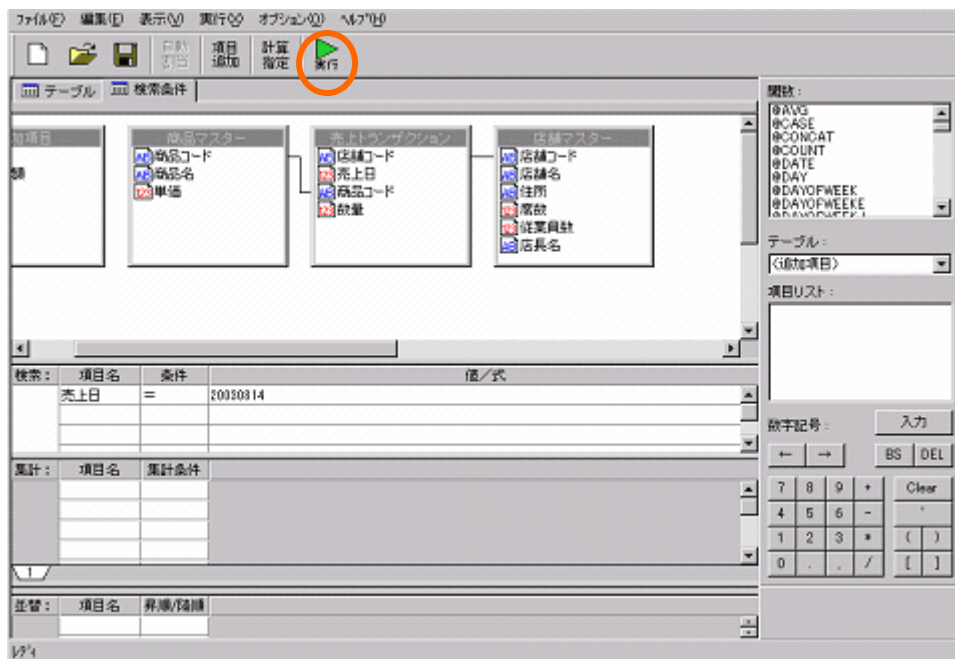
「売上日」 = 「20140814」

(画面では「20030814」となっていますが、読み替えて実行してください。)



作成した定義の実行結果を確認します。

[実行]ボタンをクリックします。



以下のレポートを、ダッシュボードに使用します。確認後は、[閉じる]ボタンをクリックします。

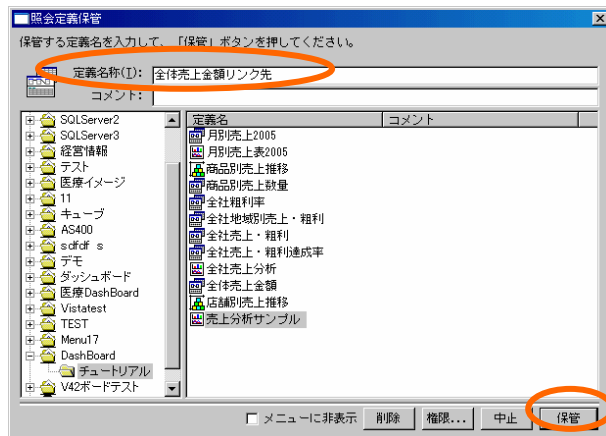
商品名	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	売上金額	
アイリス	1	2000	6	2000	6	2000	23	10000	48	20000
アイリス2	1	1000	6	1000	6	1000	60	20000	36	10000
アイリス3	1	1000	6	1000	6	1000	20	10000	30	10000
アイリス4	1	1000	6	1000	6	1000	20	10000	30	10000
アイリス5	1	1000	6	1000	6	1000	20	10000	30	10000
アイリス6	1	1000	6	1000	6	1000	20	10000	30	10000
アイリス7	1	1000	6	1000	6	1000	20	10000	30	10000
アイリス8	1	1000	6	1000	6	1000	20	10000	30	10000
アイリス9	1	1000	6	1000	6	1000	20	10000	30	10000
アイリス10	1	1000	6	1000	6	1000	20	10000	30	10000

定義を保管します。[保管]ボタンをクリックします。

この画面は、レポートの定義を保存するためのインターフェースを示しています。上部にはメニューバーがあり、「ファイル(F)」、「編集(E)」、「表示(V)」、「実行(X)」、「オプション(O)」、「ヘルプ(H)」があります。中央には「テーブル」の定義が示されており、検索条件として「商品名」と「売上金額」が指定されています。右側の「サポートバー」には、データベースやファイルからのデータソースがリストアップされています。下部には、定義されたレポートのプレビューが表示されています。

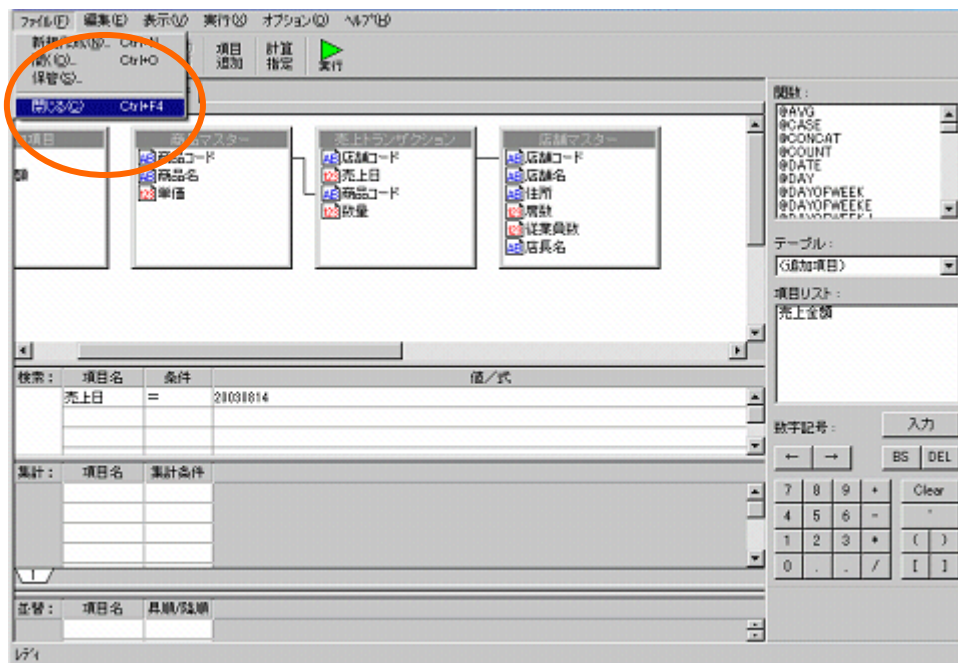
「照会定義保管」ダイアログが表示されます。

「全体売上金額リンク先」という名前を入力し、[保管]ボタンをクリックします。



定義設定ダイアログを終了させます。

「ファイル」 - 「閉じる」を選択します。



以上で、リンク先定義設定は終了です。

3 グラフの作成

全体売上グラフを作成します。

3.1 設定内容

グラフの設定内容は以下の通りです。詳細な手順は、「3.2 設定手順」をご参照下さい。

【売上全体金額グラフ】

データバインド

データに使用する定義	全体売上金額
値	売上金額

プロパティ

X 座標	320
Y 座標	20
幅	260
高さ	160
フォントサイズ	12
境界 1 の値	1000000
境界 2 の値	2000000
最大限界値	3000000

リンク設定

機能	リンク
別ウィンドウ表示	あり
リンク先	全体売上金額リンク先

データバインド

■定義選択 全体売上金額 選択

値(数値項目)

売上金額

設定 キャンセル

リンク設定

機能 リンク

別ウィンドウ表示

■リンク先設定

リンク先 全体売上金額リンク先 選択

設定 キャンセル

3.2 設定手順

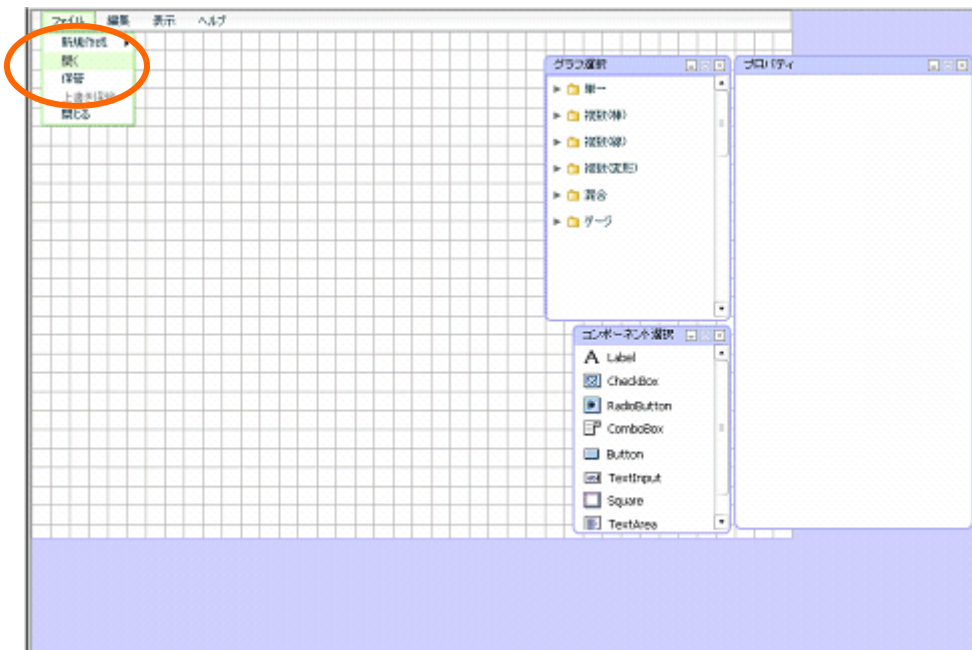
ダッシュボードエディタボタンをクリックします。



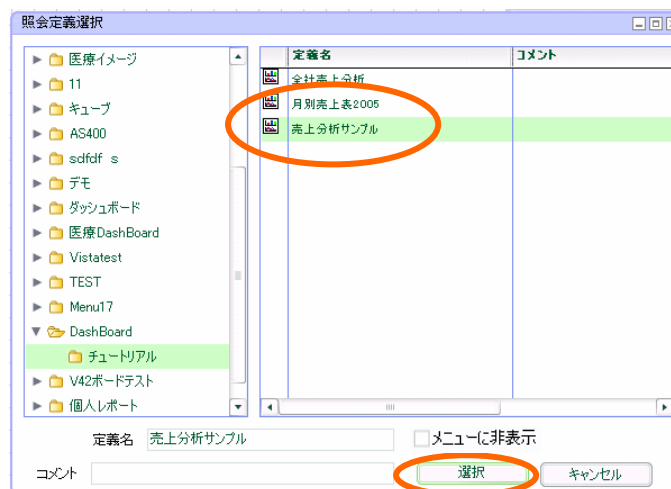
前章の続きからグラフを配置します。この章のみ実施する場合には、[グラフ配置](#)へお進み下さい。

定義作成開始

メニューバーから、「ファイル」 - 「開く」を選択します。



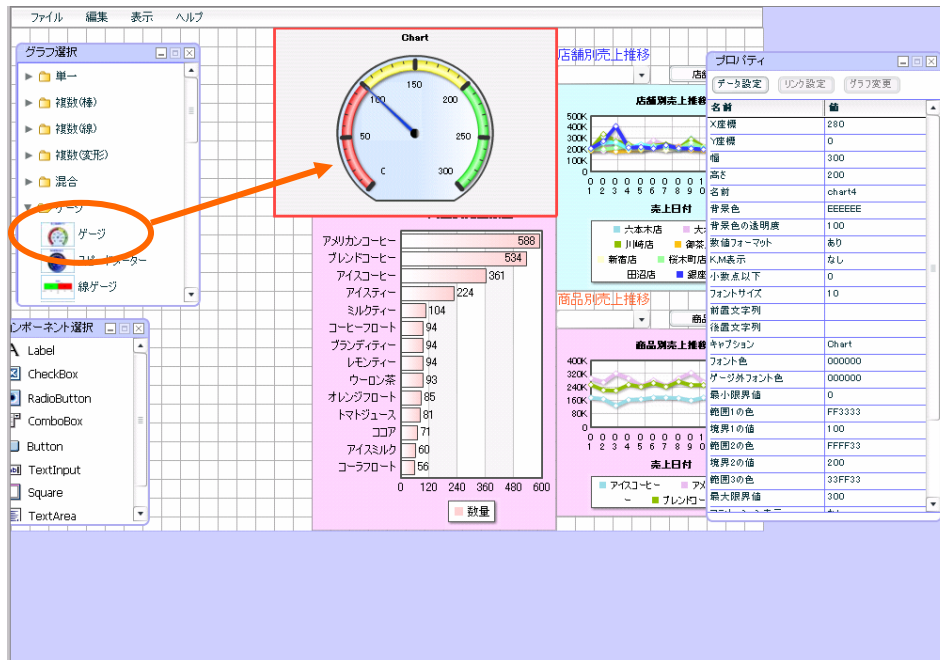
「売上分析サンプル」を選択し、[選択]ボタンをクリックします。



前章までに保管されたダッシュボード定義が表示されます。

グラフ配置

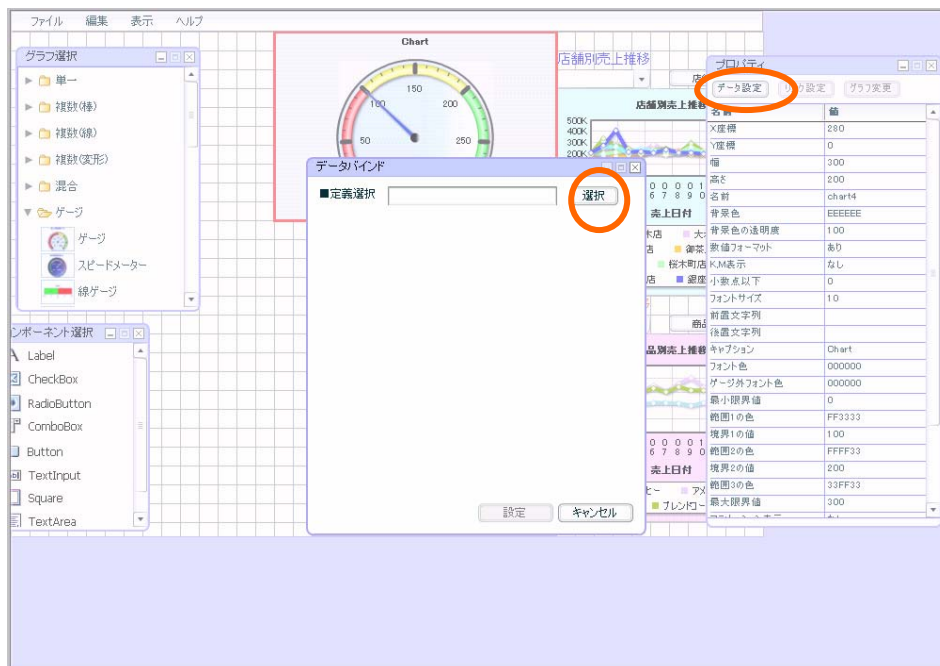
グラフ選択ウィンドウから、「ゲージ」 - 「ゲージグラフ」を選択し、キャンバスにドラッグアンドドロップします。



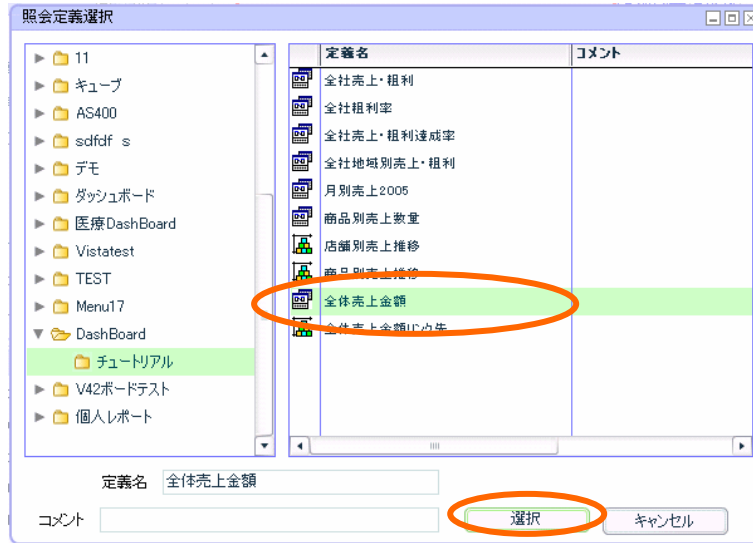
データ設定

プロパティウィンドウの[データ設定]ボタンをクリックします。

表示されたダイアログで、[選択]ボタンをクリックします。

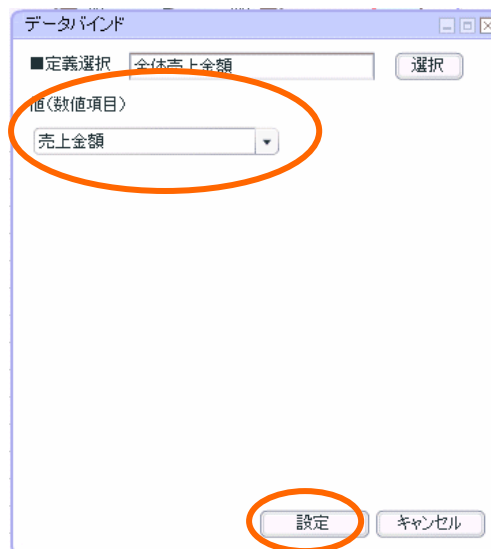


「1 データ用定義作成」で作成した「全体売上金額」を選択し、[設定]ボタンをクリックします。



値は、「売上金額」を選択します。

[設定]ボタンをクリックします。

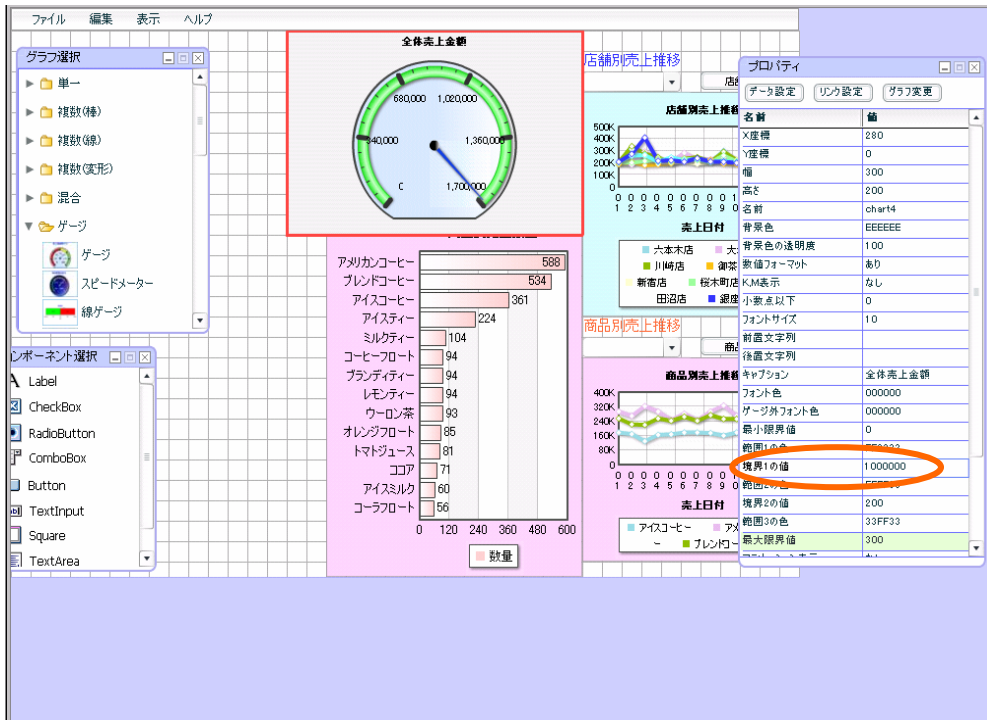


データがバインドされます。

プロパティ設定

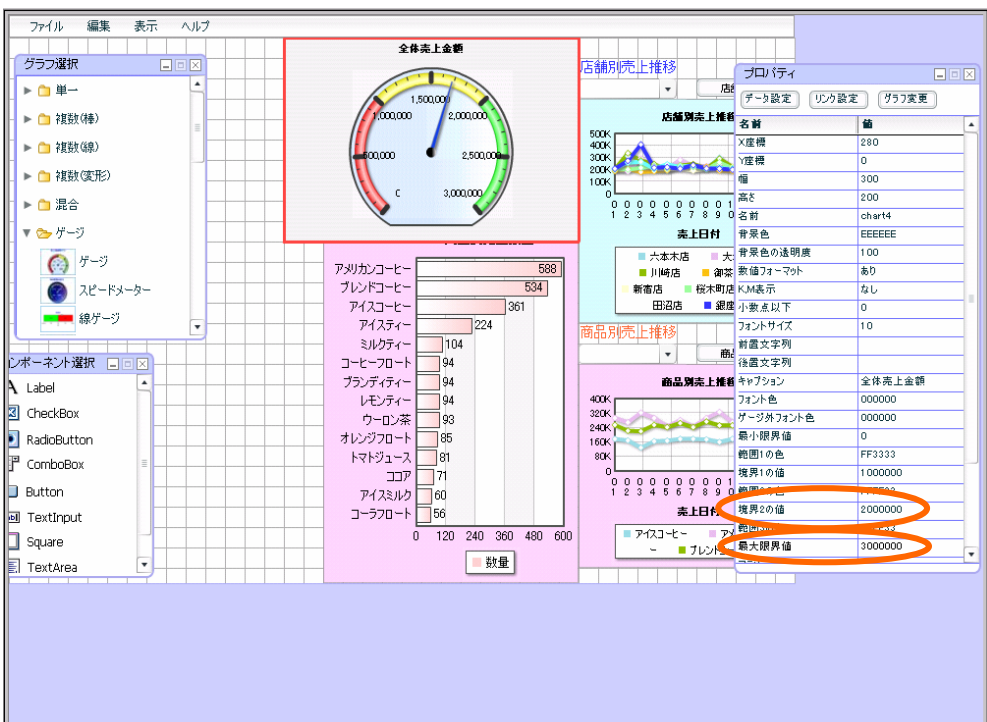
閾値の設定をします。

「プロパティウィンドウ」で、「境界1の値」を「1000000」と設定します。



「境界1の値」と同様に、プロパティウィンドウから、

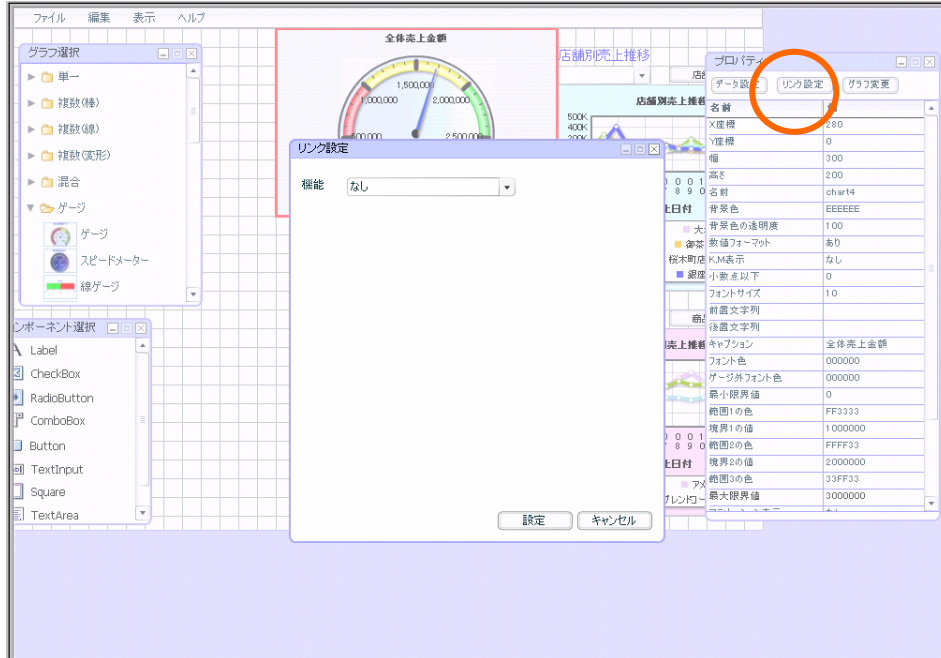
「境界2の値」を「2000000」、「最大限界値」を「3000000」と設定します。



リンク設定

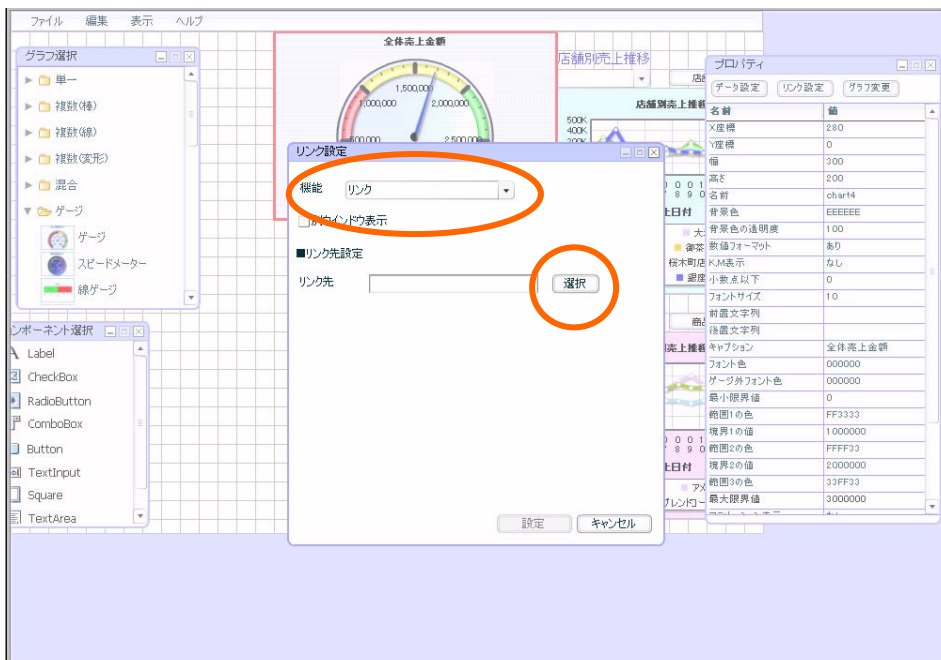
リンク設定をします。

プロパティウィンドウの[リンク設定]ボタンをクリックします。

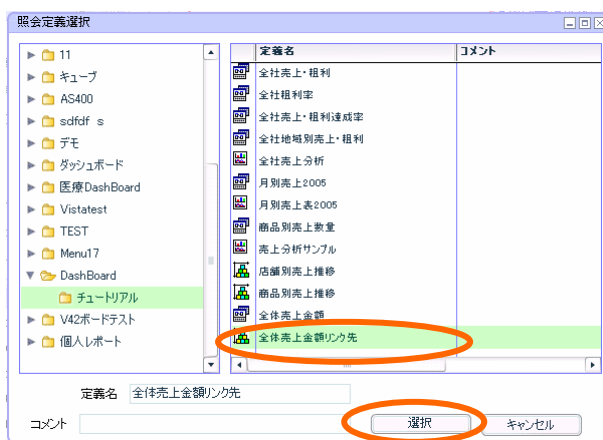


ダイアログで、「リンク」を設定します。

[選択]ボタンをクリックします。

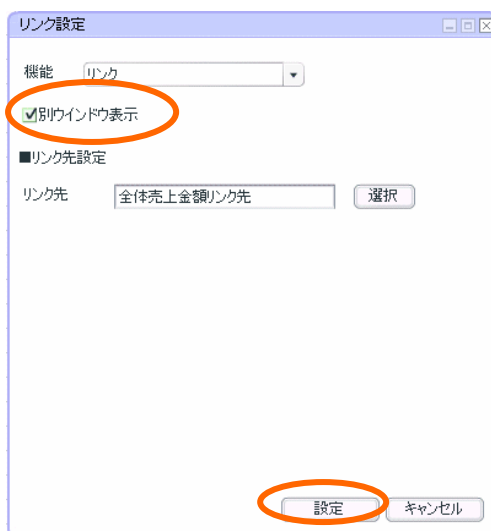


「2 リンク先定義作成」で作成した「全体売上金額リンク先」を選択し、[設定]ボタンをクリックします。



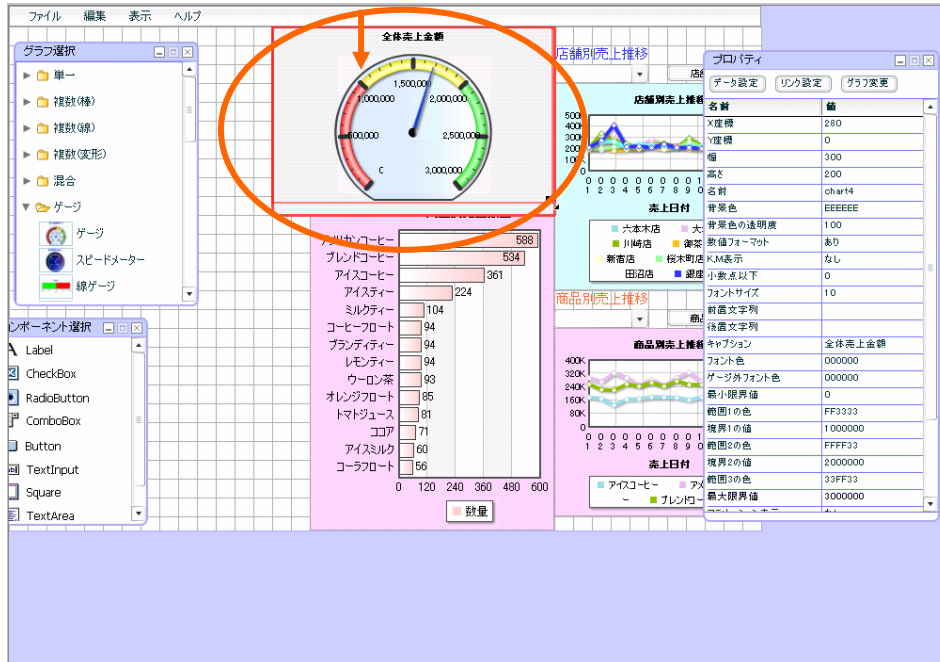
別ウィンドウ表示のチェックボックスにチェックを付けます。

[設定]ボタンをクリックします。

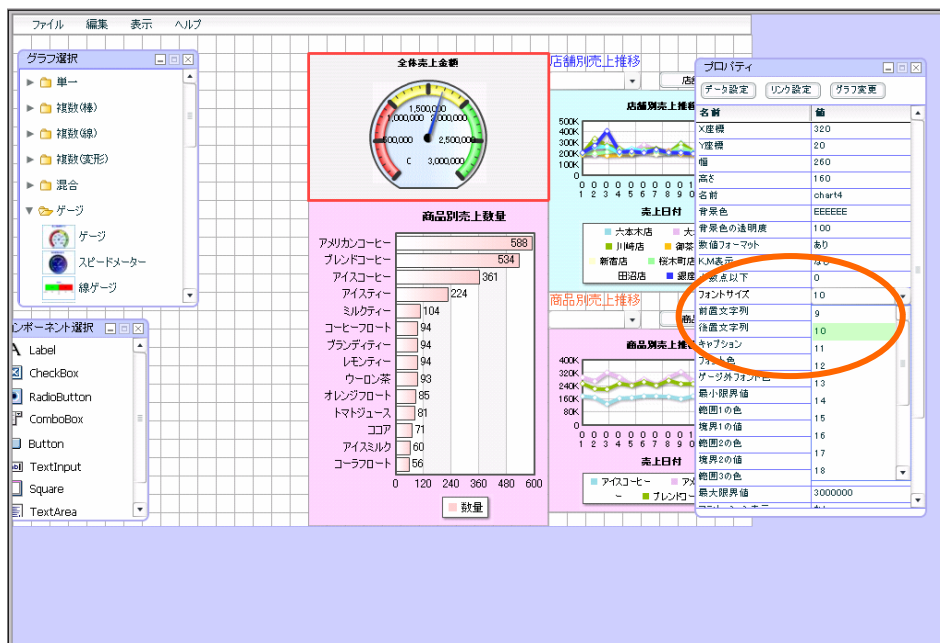


プロパティ設定

マウスドラッグで、幅「260」高さ「160」X座標「320」Y座標「20」に設定します。



プロパティウィンドウで、「フォントサイズ」「12」に設定します。

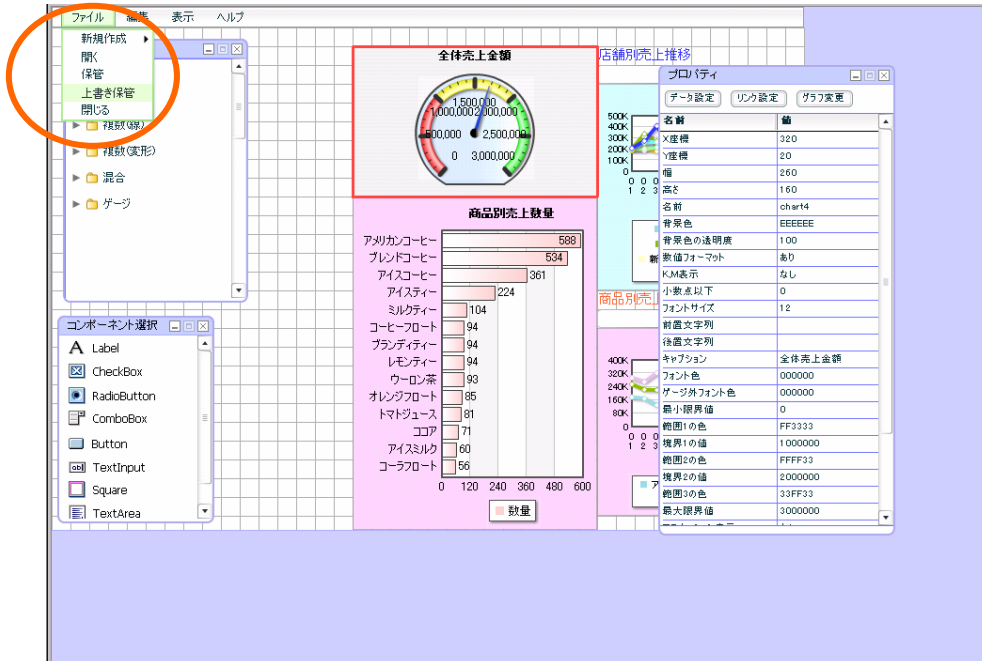


以上で、全体売上グラフの作成は終了です。

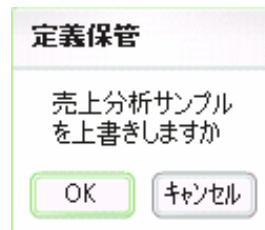
定義保管

定義を上書き保管します。この章のダッシュボードのみ作成した場合には、「第 3 章 2」の**定義保管**をご参照の上、定義を新規保管し、**確認**へお進み下さい。

メニューバーから、「ファイル」 「上書き保管」をクリックします。



警告が表示されますので、「OK」をクリックして下さい。



「ファイル」 - 「閉じる」で、ダッシュボードエディタを終了させます。

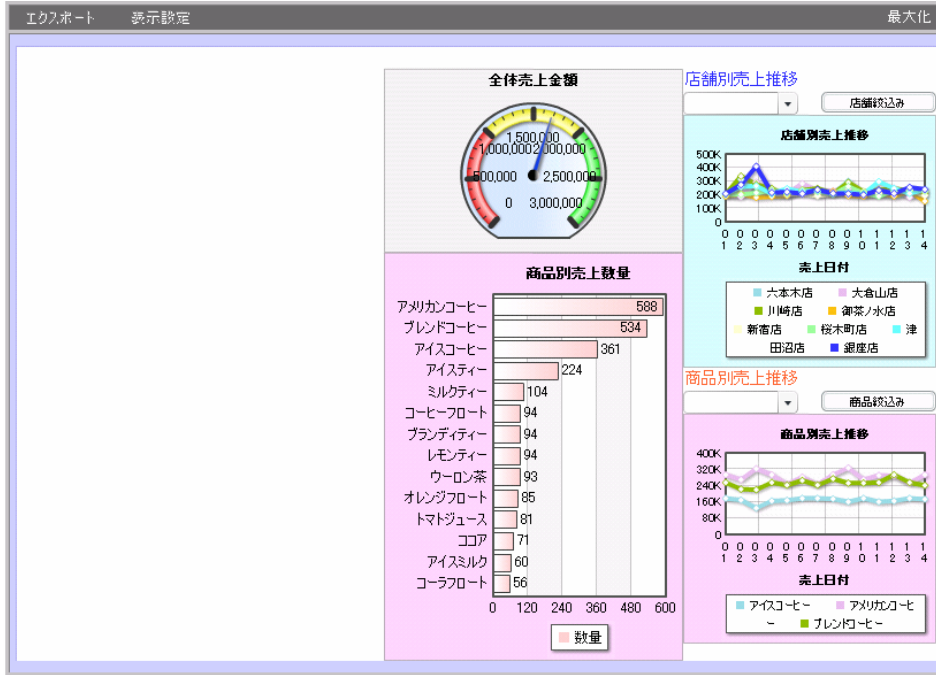
終了時には確認ダイアログが表示されますが、[いいえ]をクリックして下さい。

以上で設定は終了です。

確認

保管した定義の確認をします。

Web 実行画面から定義を保管したメニュー、フォルダを選択し、「売上分析サンプル」定義を選択します。保管したグラフが表示されます。



ゲージグラフをクリックすると、「全体売上金額リンク先」定義が別ウィンドウで表示されます。

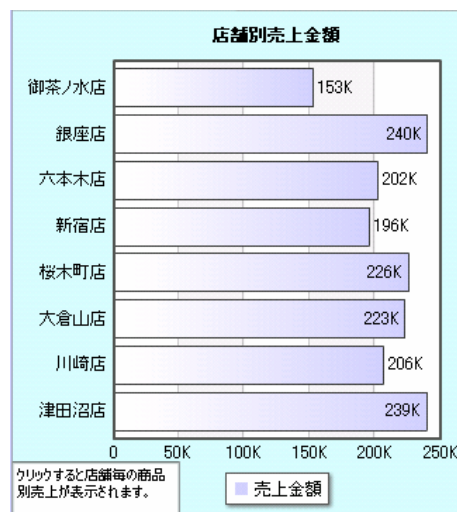
店名	六本木店	大倉山店	川崎店	御茶ノ水店	新宿店	桜木町店	津田沼店	銀座店
アイスカフェ・オレ	6 3480	6 3480	6 3480			6 3480		25
アイスココア	9 5220	9 5220	9 5220			9 5220		40
アイスコーヒー	69 33120	108 51840	92 44160			92 44160		
アイスティー	56 26880	56 26880	56 26880			56 26880		
アイスマルク	7 3360	7 3360	7 3360		60 28800	7 3360		
アメリカンコーヒー	22 10560		101 40480			101 40480	193 92640	193
ブレンドコーヒー		12 6960						
ウーロン茶	3 1440		38 18240				93 44640	
オレンジジュース	11 6060							
オレンジフロート						85 49350		
カフェ・オレ	2 1100			29 15960		17 9350		
ガチマラ	12 6000			12 6000	12 6000			12
キリマンジャロ			23 12650					
ココア								71
コロンビア	4 2000			4 2000	4 2000			7
コーヒーゼリー	10 5800						18 10440	
コーヒーフロート	10 5800	94 54520						
コーラ	12 5760							
コーラフロート			56 32480					
ザンディッチ					6 2200	10 6040		

確認は以上です。

引き続きダッシュボードを作成する場合には、第 7 章へお進み下さい。

第 7 章

店舗別売上金額グラフ を作成する



1 データ用定義作成

店舗別売上金額グラフの定義「店舗別売上金額」を作成します。

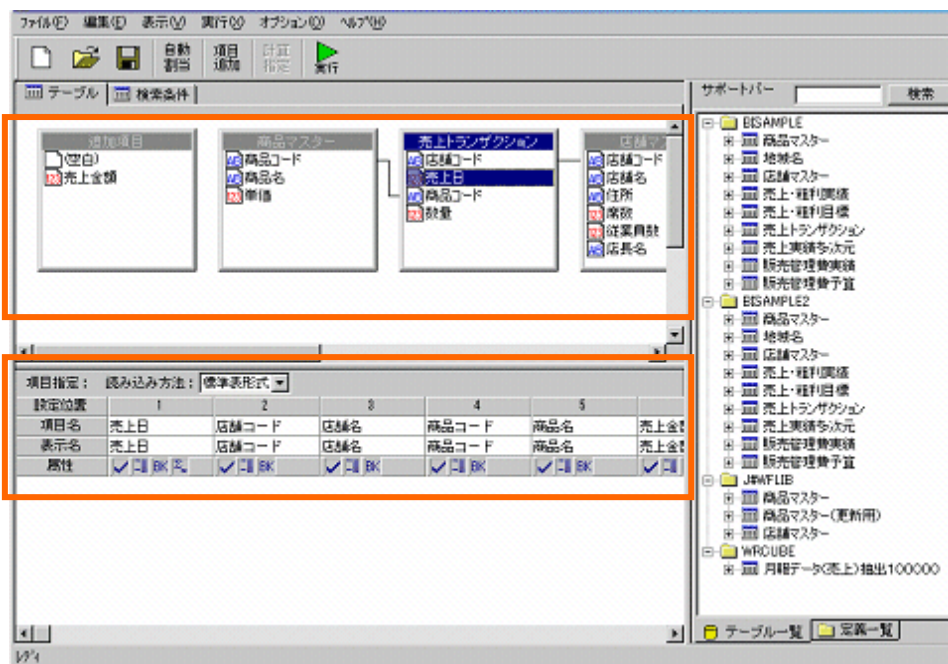
1.1 設定内容

設定内容は以下の通りです。

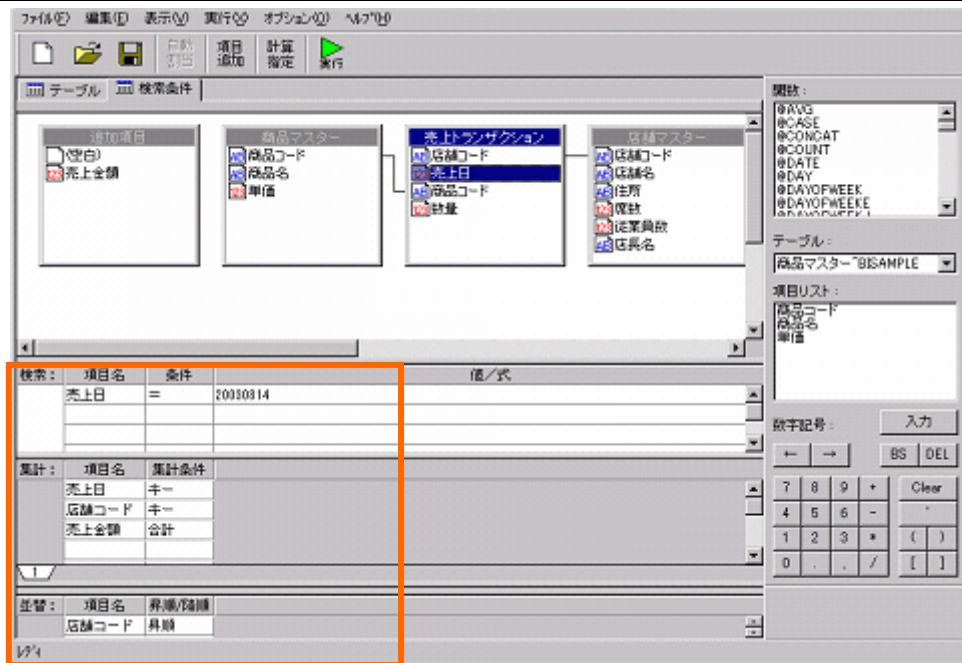
詳細な設定手順は、「設定手順」をご覧ください。

定義名：店舗別売上金額

①使用テーブル	「商品マスター」「売上トランザクション」「店舗マスター」
テーブル結合条件	「商品マスター」と「売上トランザクション」を結合 「商品コード」キー 「店舗マスター」と「売上トランザクション」を結合 「店舗コード」キー
②追加項目	項目名：「売上金額」 項目型「数字型」 計算式：「[単価.商品マスター^スキーマ名]*[数量.売上トランザクション^スキーマ名]」
③項目設定	読み込み方法「標準表形式」 「売上日」、「店舗コード」、「店舗名」、「商品コード」、「商品名」、「売上金額」



④検索条件	「売上日」 = 「20140814」 (画面では「20030814」となっていますが、読み替えて実行してください。)
⑤集計条件	「売上日」キー
	「店舗コード」キー
	「売上金額」合計
⑥並替条件	「店舗コード」「昇順」

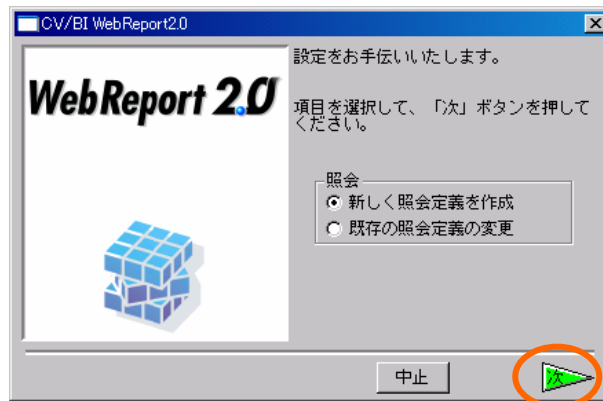


1.2 設定手順

定義設定ボタンをクリックします。

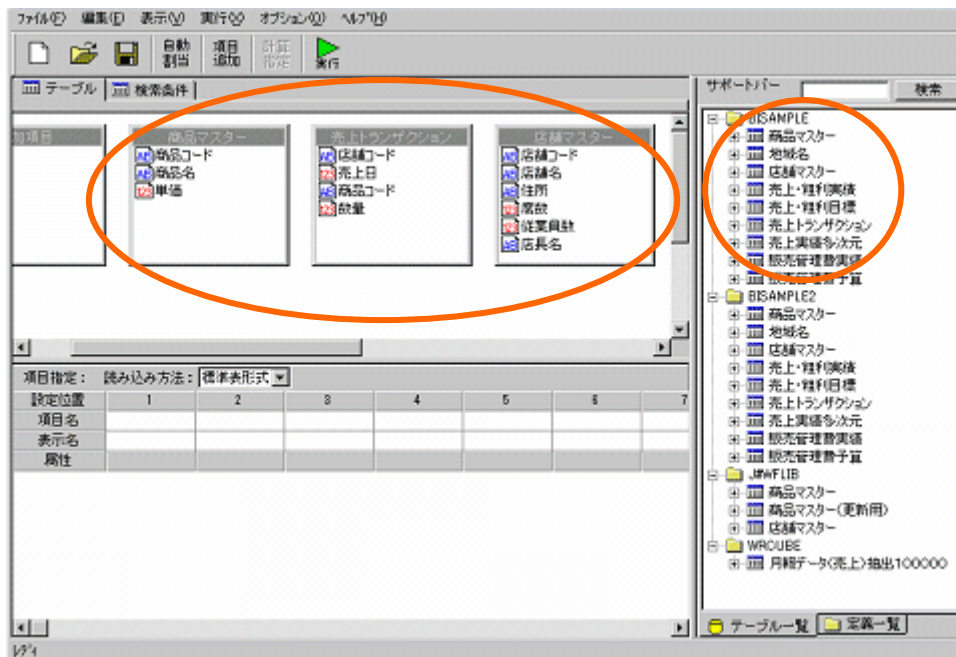


定義設定ウィザードが起動されます。「新しく照会定義を作成」を選択し、[次]ボタンをクリックし、ウィザードを終了させます。



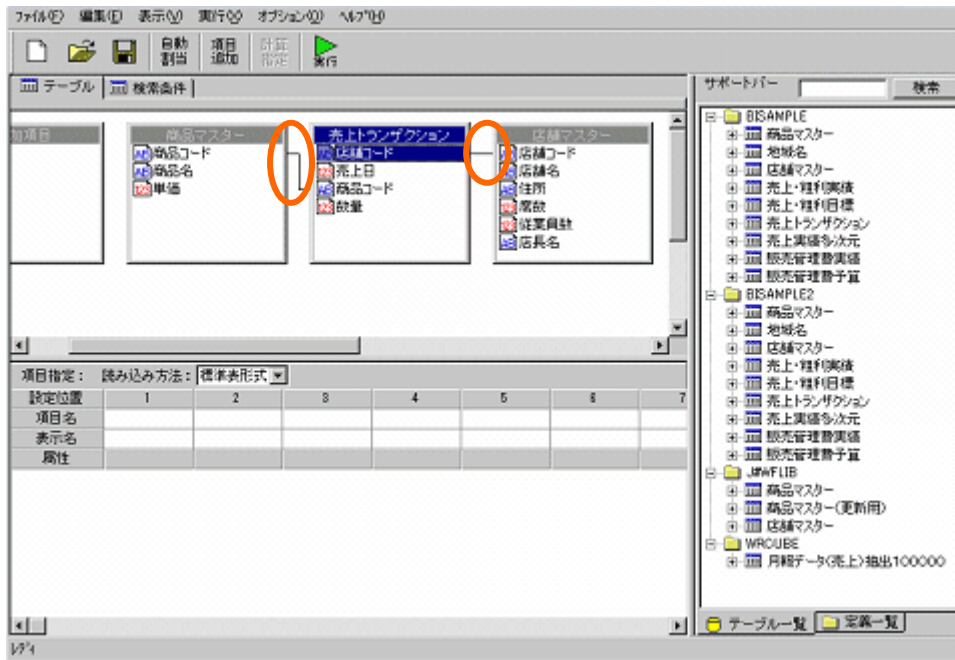
定義設定画面が表示されます。

サポートバーから、「商品マスター」、「店舗マスター」、「売上トランザクション」をドラッグし、テーブル指定域にドロップします。



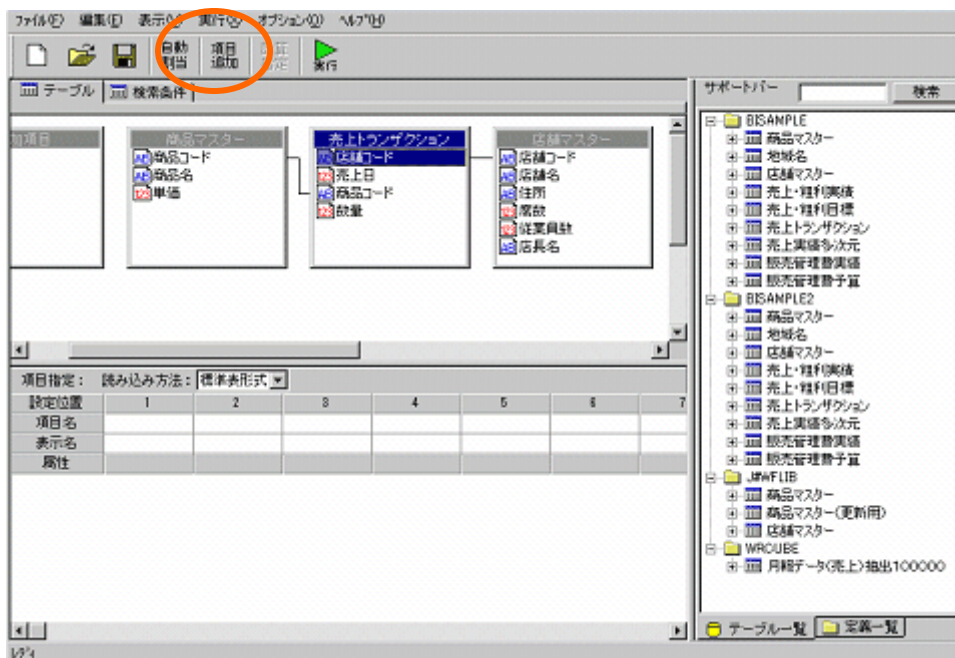
「商品マスター」と「売上トランザクション」を「商品コード」で結合します。

「店舗マスター」と「売上トランザクション」を「店舗コード」で結合します。



追加項目を設定します。

[項目追加]ボタンをクリックします。



追加項目「売上金額」を以下のように設定します。

項目名：「売上金額」

計算式：「[単価.商品マスター<ハスキーマ名>]*[数量.売上トランザクション<ハスキーマ名>]」

[設定]ボタンをクリックします。

[閉じる]ボタンをクリックします。

項目を選択します。

「売上トランザクション」から「売上日」、

「店舗マスター」から、「店舗コード」、「店舗名」、

「商品マスター」から、「商品コード」、「商品名」、

「追加項目」から、「売上金額」をそれぞれ項目指定域に設定します。

([自動割当]ボタンで全ての項目を割り当てても構いません)

項目指定	1	2	3	4	5	6
項目名	売上日	店舗コード	店舗名	商品コード	商品名	売上金額
表示名	売上日	店舗コード	店舗名	商品コード	商品名	売上金額
属性	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

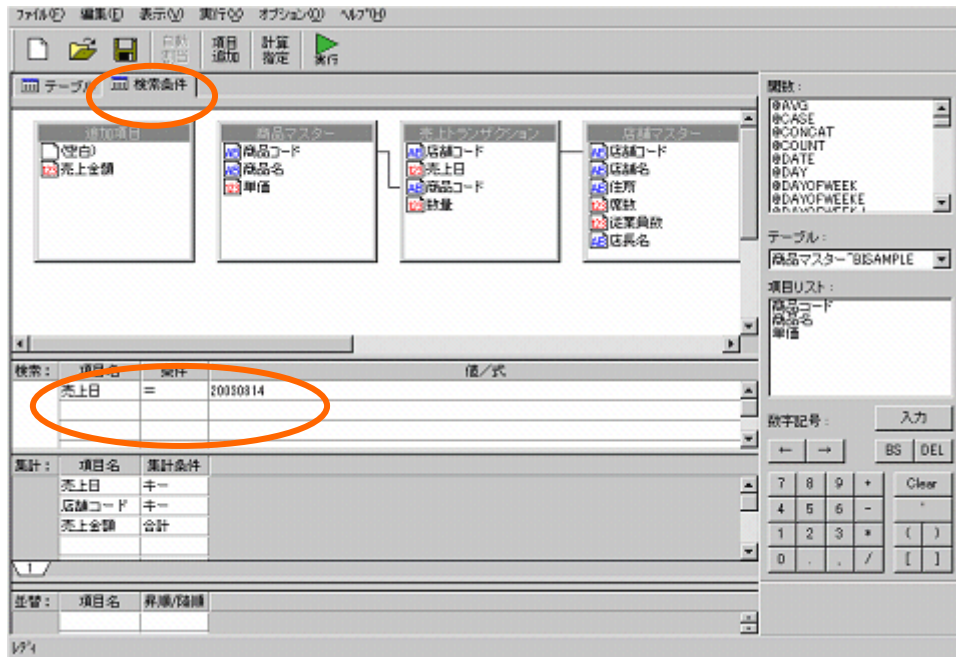
検索条件を設定します。

検索条件タブをクリックします。

検索条件を以下のように設定します。

「売上日」 = 「20140814」

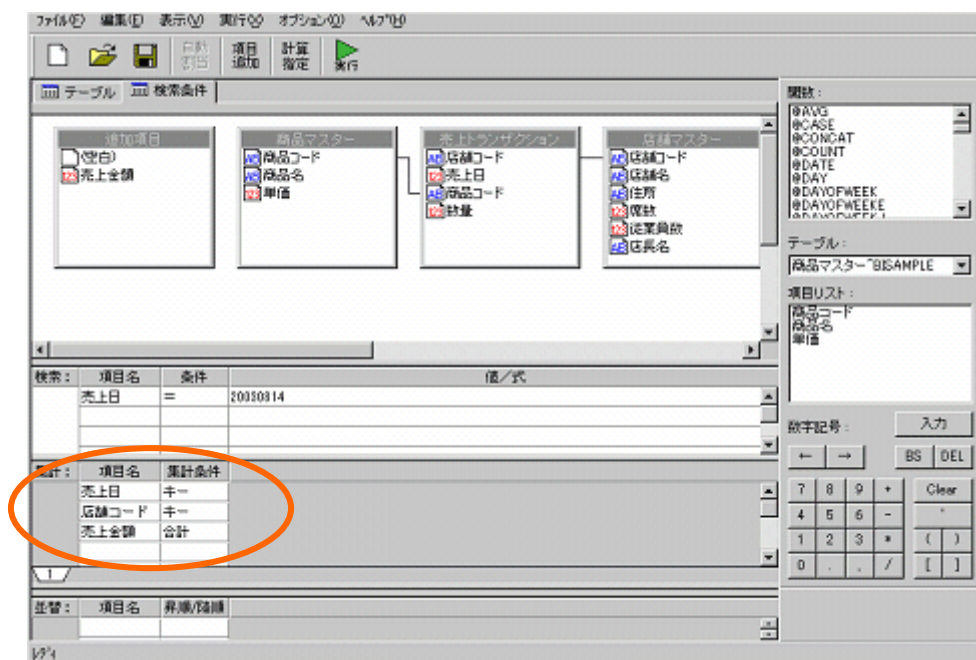
(画面では「20030814」となっていますが、読み替えて実行してください。)



集計を設定します。

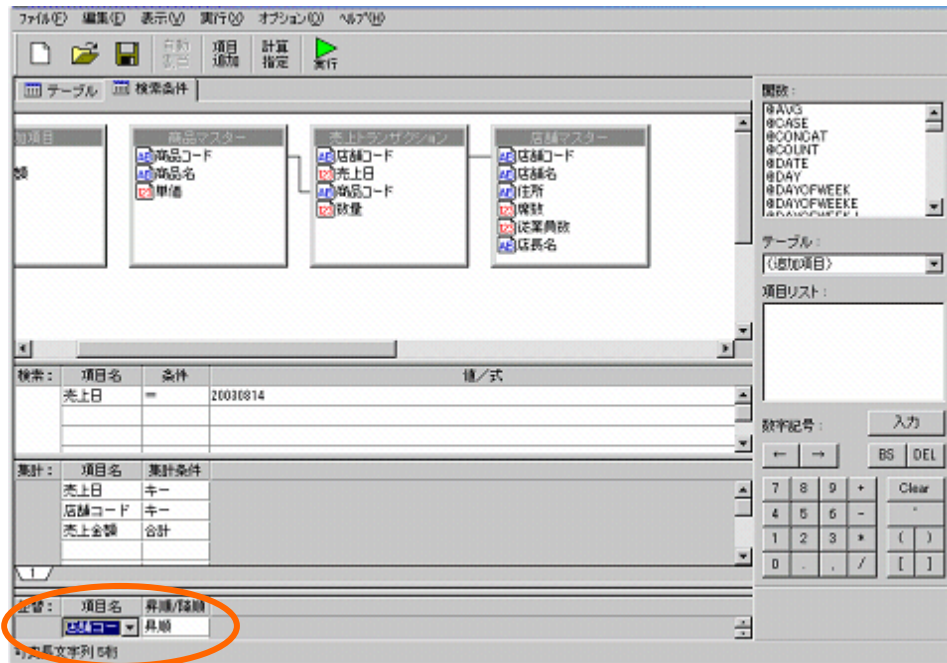
「売上日」「店舗コード」をキーに設定します。

「売上金額」を合計に設定します。



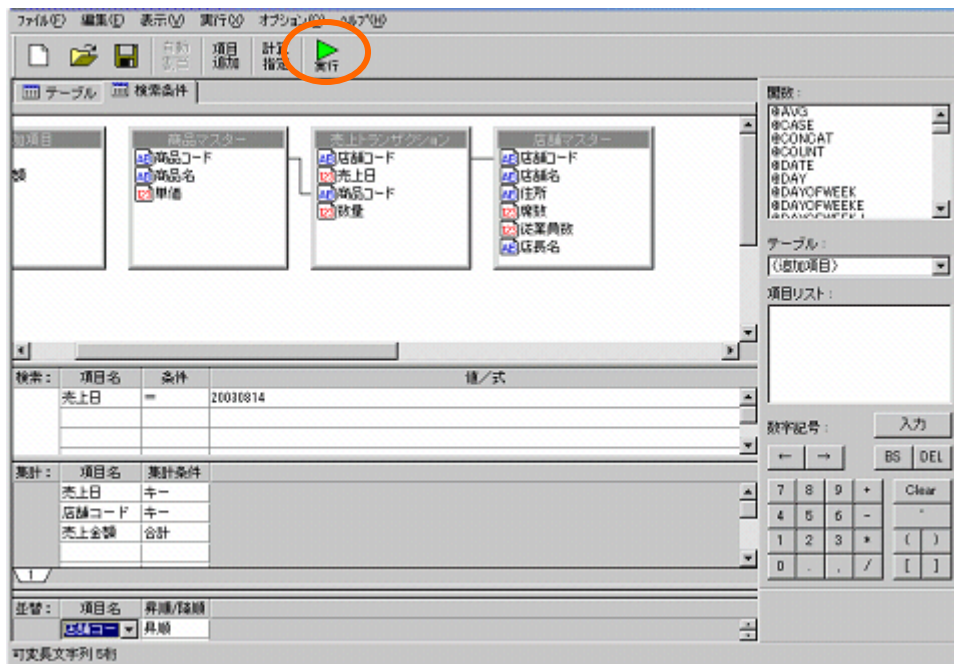
並替条件を設定します。

「店舗コード」を昇順に設定します。



作成した定義の実行結果を確認します。

[実行]ボタンをクリックします。



以下のレポートを、ダッシュボードに使用します。確認後は、[閉じる]ボタンをクリックします。

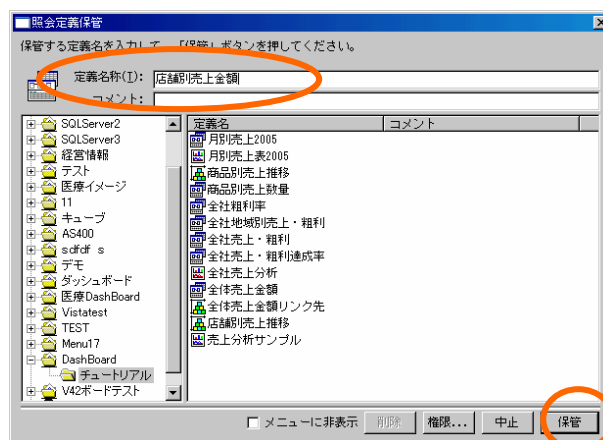
売上日	店舗コード	店舗名	商品コード	商品名	売上金額
20030814 101	御茶ノ水店	401		ブレンドコーヒー	152650
20030814 102	鎌倉店	500		ガテマラ	240020
20030814 103	六本木店	602		ブレンドコーヒー	202090
20030814 104	新宿店	604		ブレンドコーヒー	195530
20030814 201	桜木町店	604		ブラジル	225670
20030814 202	大倉山店	601		ブレンドコーヒー	222710
20030814 203	川崎店	603		ロシアコーヒー	205990
20030814 301	津田沼店	602		ブルーマウンテン	209300

定義を保管します。[保管]ボタンをクリックします。



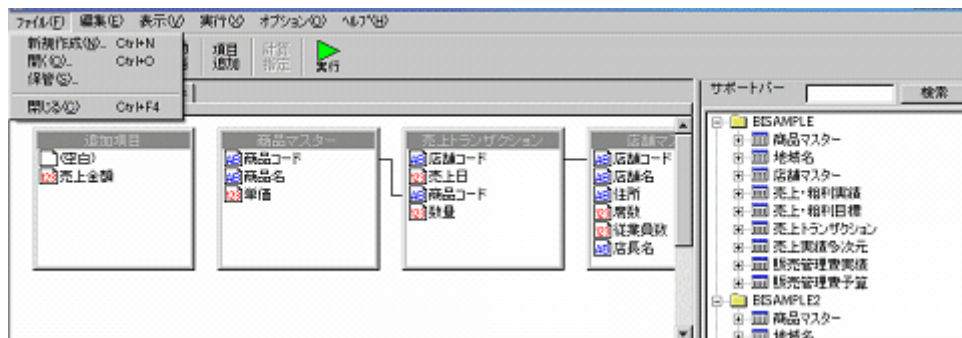
「照会定義保管」ダイアログが表示されます。

「店舗別売上金額」という名前を入力し、[保管]ボタンをクリックします。



定義設定ダイアログを終了させます。

「ファイル」 - 「閉じる」を選択します。



以上で、データ用定義作成は終了です。

2 グラフの作成

店舗別売上グラフを作成します。

1.1 設定内容

グラフの設定内容は以下の通りです。詳細な手順は、「設定手順」をご参照下さい。

【店舗別売上金額グラフ】

データバインド

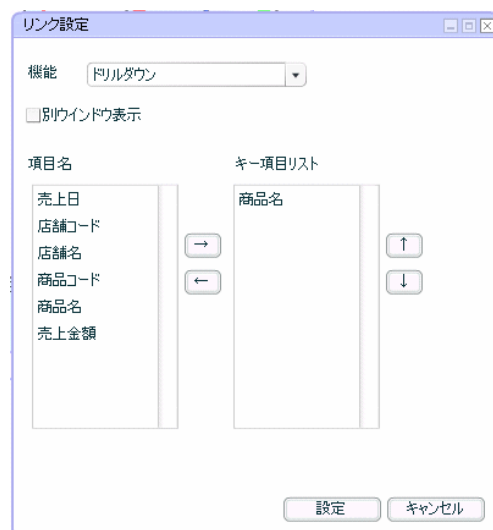
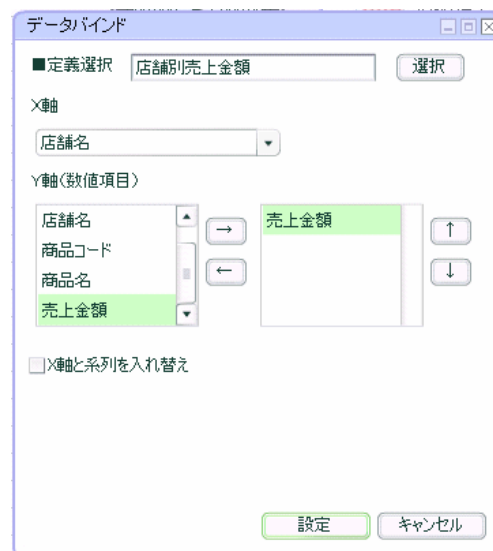
データに使用する定義	店舗別売上金額
X 軸	店舗名
Y 軸	売上金額

プロパティ

X 座標	0
Y 座標	20
幅	320
高さ	360
名前	店舗別売上金額
背景色	D1FAFA(6 行 4 列)
フォントサイズ	12
右余白	15
配色	ブルー

リンク設定

機能	ドリルダウン
キー項目	商品名



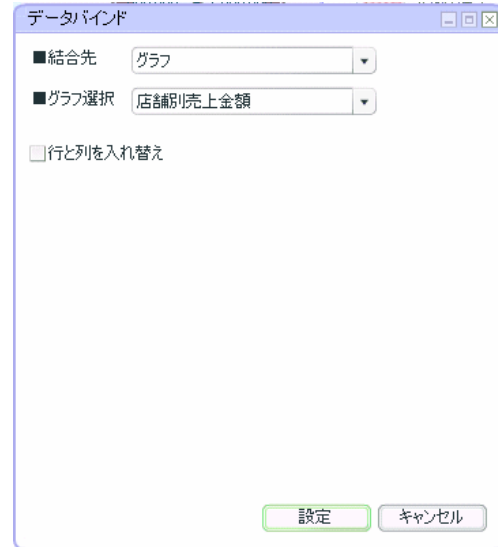
【店舗別売上金額表】

データ設定

結合先	グラフ
グラフ選択	店舗別売上金額

プロパティ

X座標	0
Y座標	380
幅	320
高さ	155
水平スクロールバー	なし



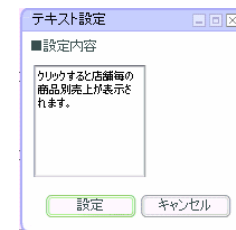
【テキストエリア】

テキスト設定

「クリックすると店舗毎の商品別売上が表示されます。」

プロパティ

X座標	0
Y座標	340
幅	120
高さ	40



【ラベル】

プロパティ

X座標	0
Y座標	0
幅	120
高さ	20
テキスト	本日の売上
フォント色	33FF33(2行3列)
フォントサイズ	14
文字太字	あり
文字アンダーライン	あり

1.2 設定手順

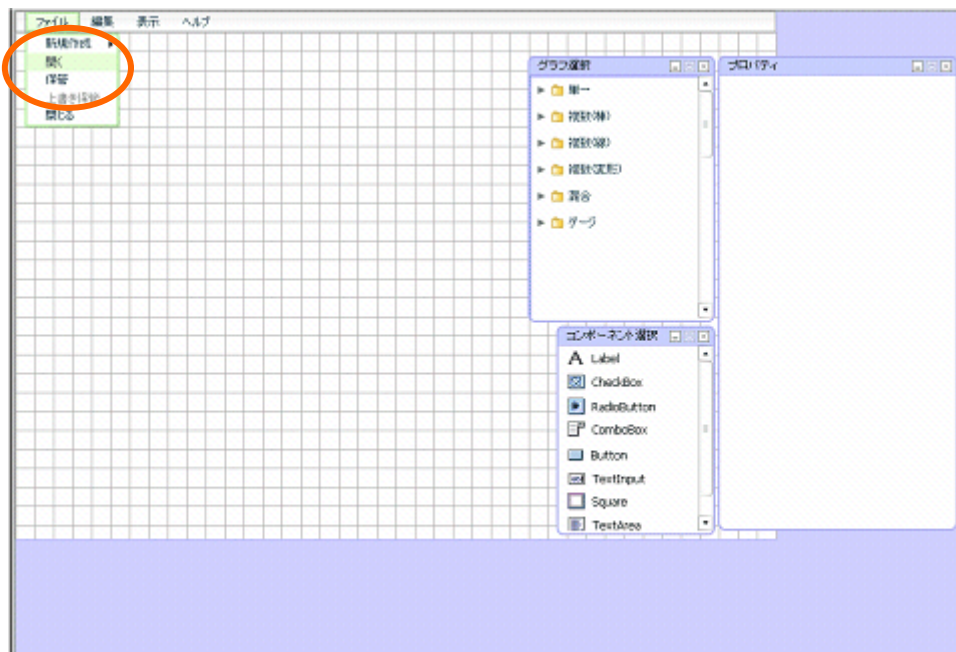
ダッシュボードエディタボタンをクリックします。



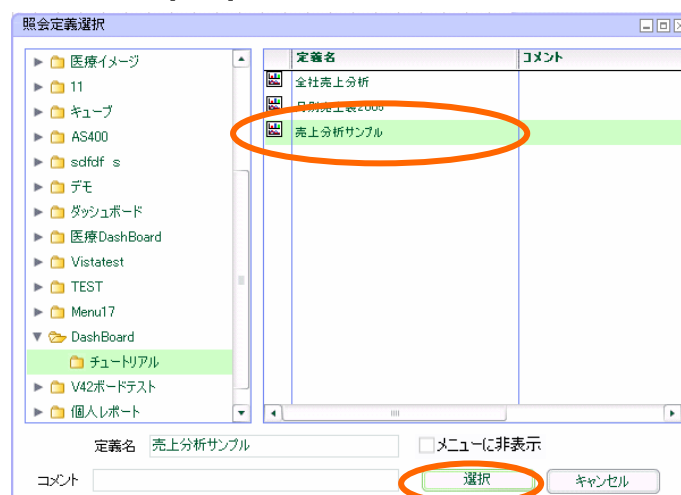
前章の続きからグラフを配置します。この章のみ実施する場合には、[グラフ配置](#)へお進み下さい。

定義作成開始

メニューバーから、「ファイル」 - 「開く」を選択します。



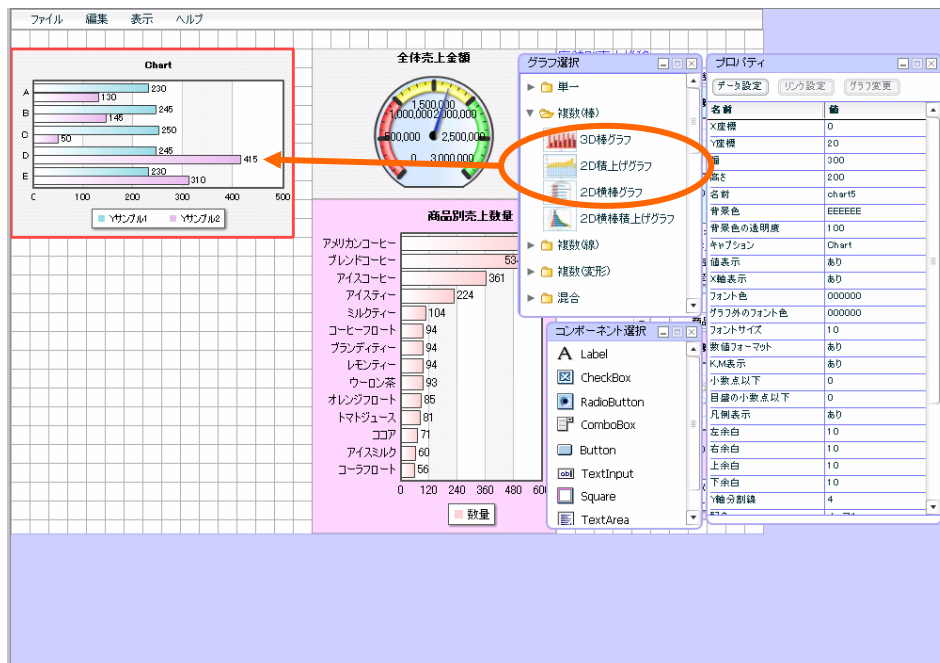
「売上分析サンプル」を選択し、[選択]ボタンをクリックします。



前章までに作成した定義が表示されます。

グラフ配置

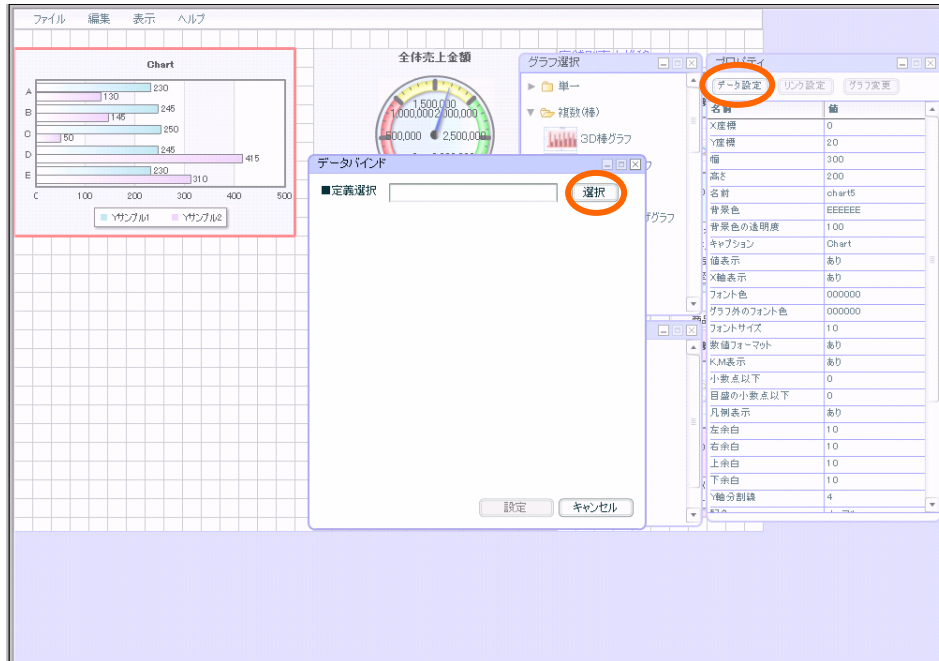
グラフ選択ウィンドウから、「複数(棒)」 - 「2D 横棒グラフ」を選択し、キャンバスにドラッグアンドドロップします。



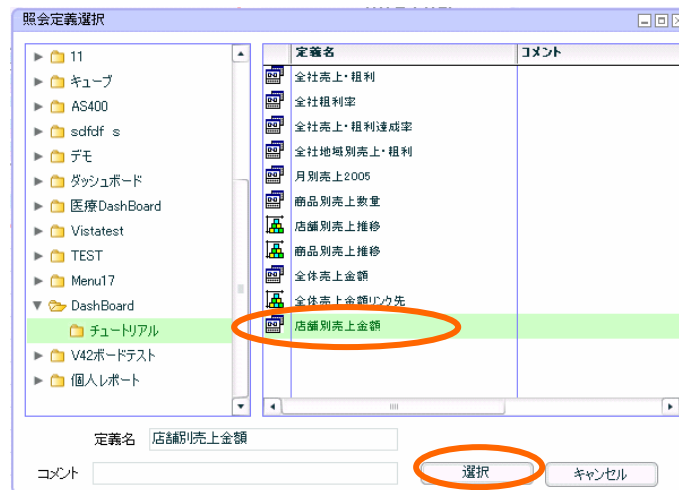
データ設定

プロパティウィンドウの[データ設定]ボタンをクリックします。

[選択]ボタンをクリックします。



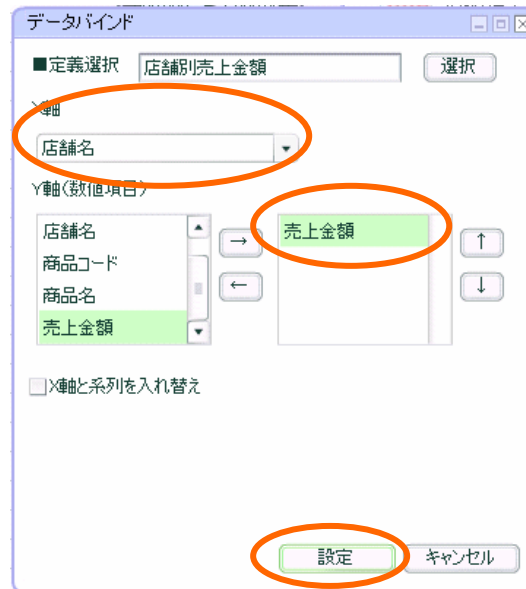
「1 データ用定義作成」で作成した「店舗別売上金額」を選択し、[選択]ボタンをクリックします。



X軸は、「店舗名」

Y軸は、「売上金額」を選択します。

[設定]ボタンをクリックします。

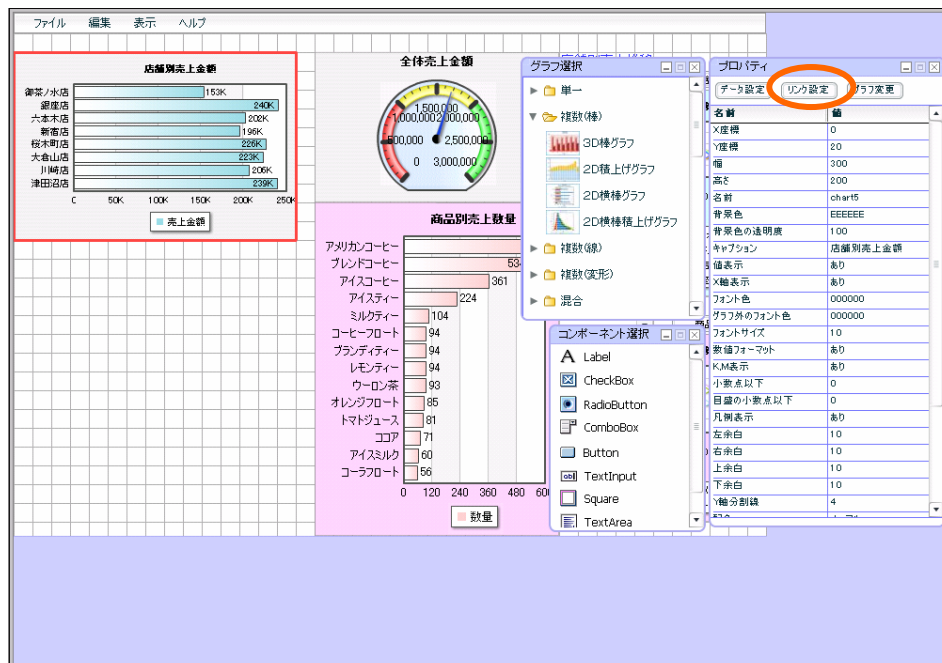


データがバインドされます。

リンク設定

続いて、ドリルダウンの設定をします。

プロパティウィンドウの[リンク設定]ボタンをクリックします。

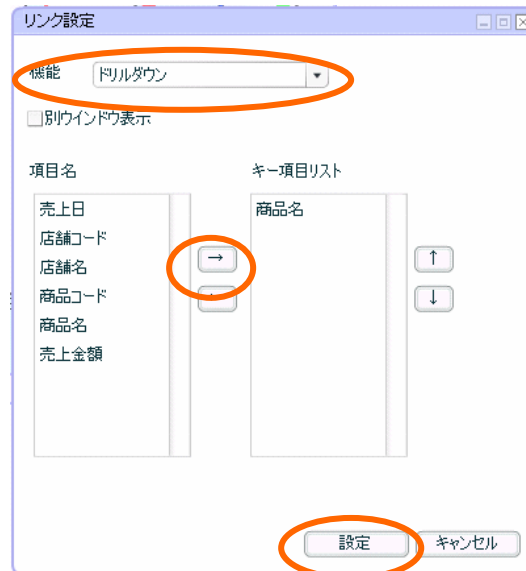


ダイアログが表示されます。

「ドリルダウン」を選択します。

キー項目は、「商品名」を選択します。

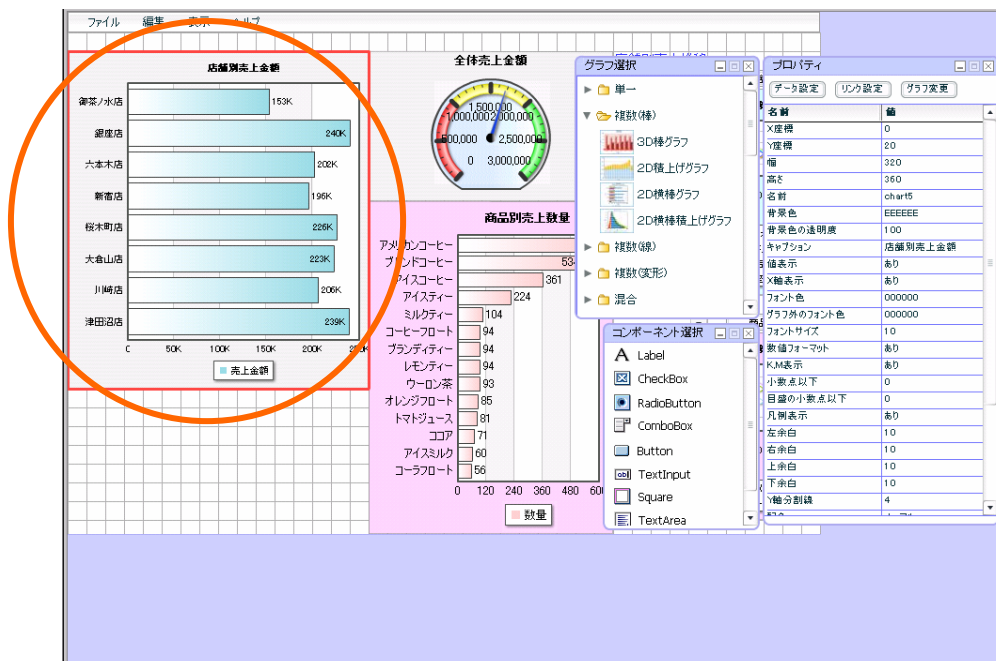
[設定]ボタンをクリックします。



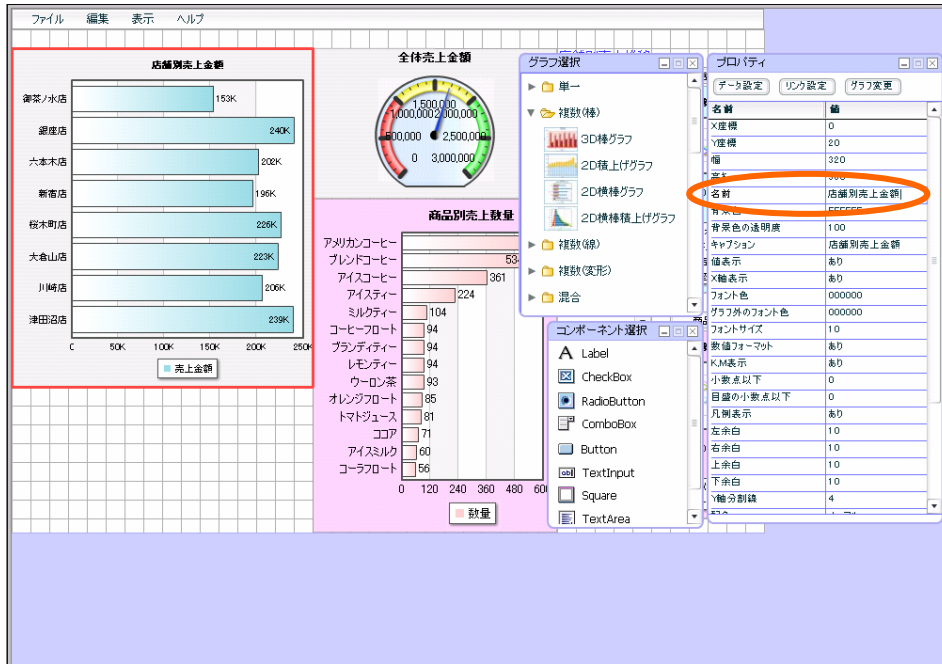
プロパティ設定

マウスドラッグで、幅「320」高さ「360」に設定します。

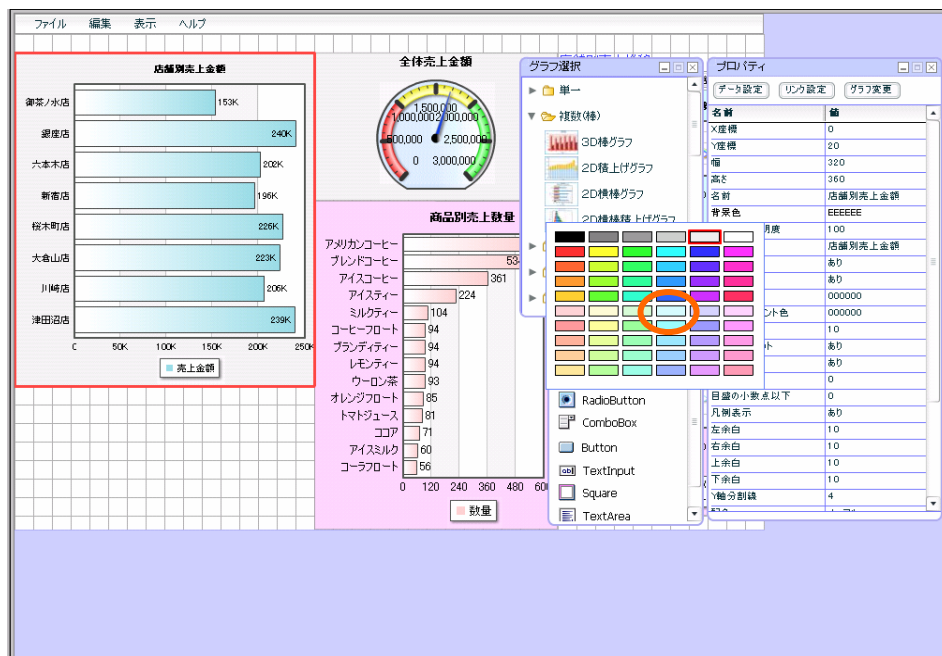
X座標「0」Y座標「20」に設定します。



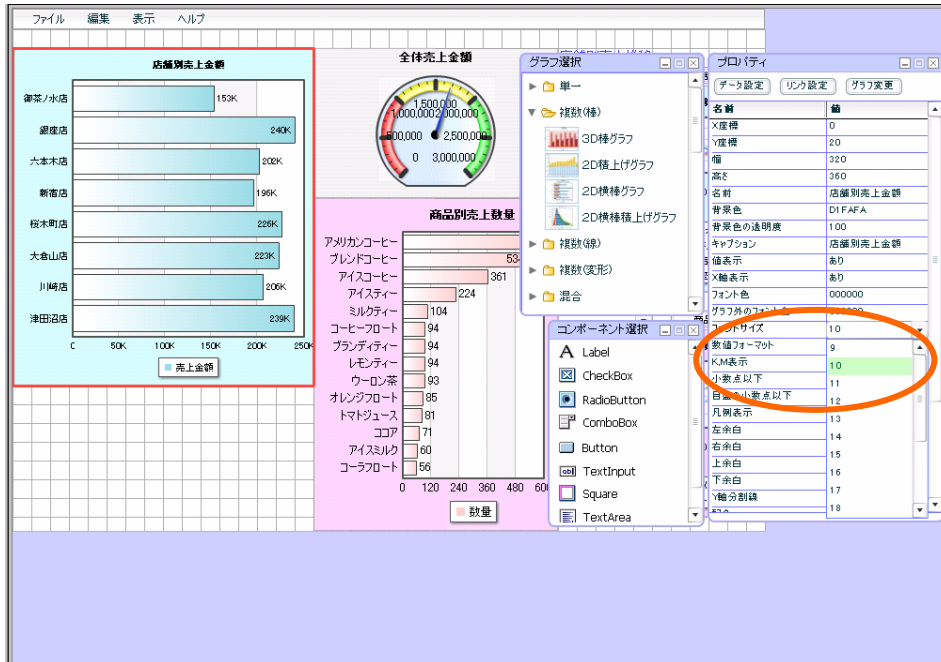
プロパティウィンドウから、「名前」を「店舗別売上金額」に設定します。



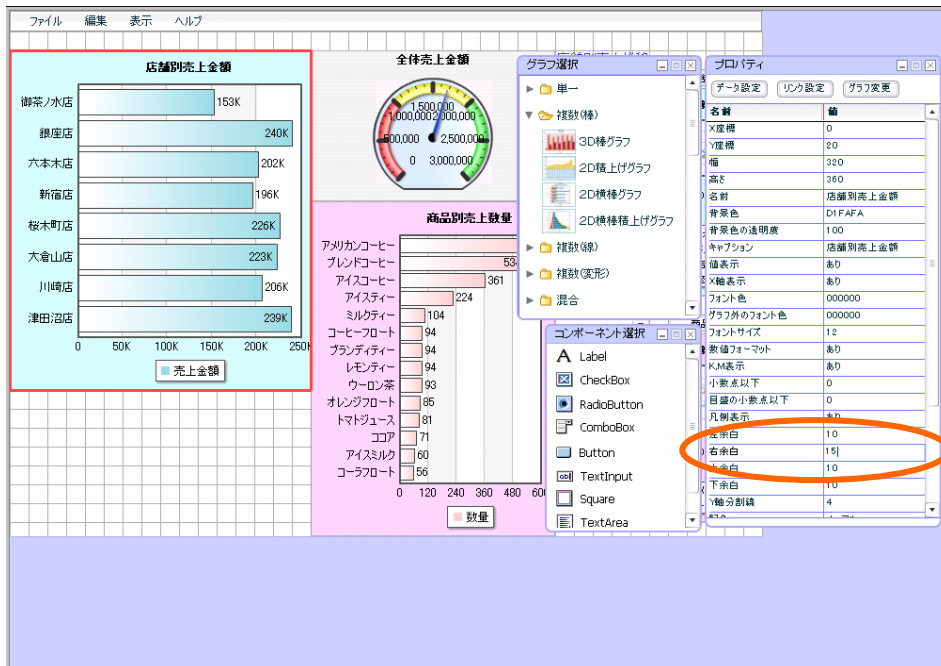
プロパティウィンドウから、「背景色」を「D1FAFA(6行4列)」に設定します。



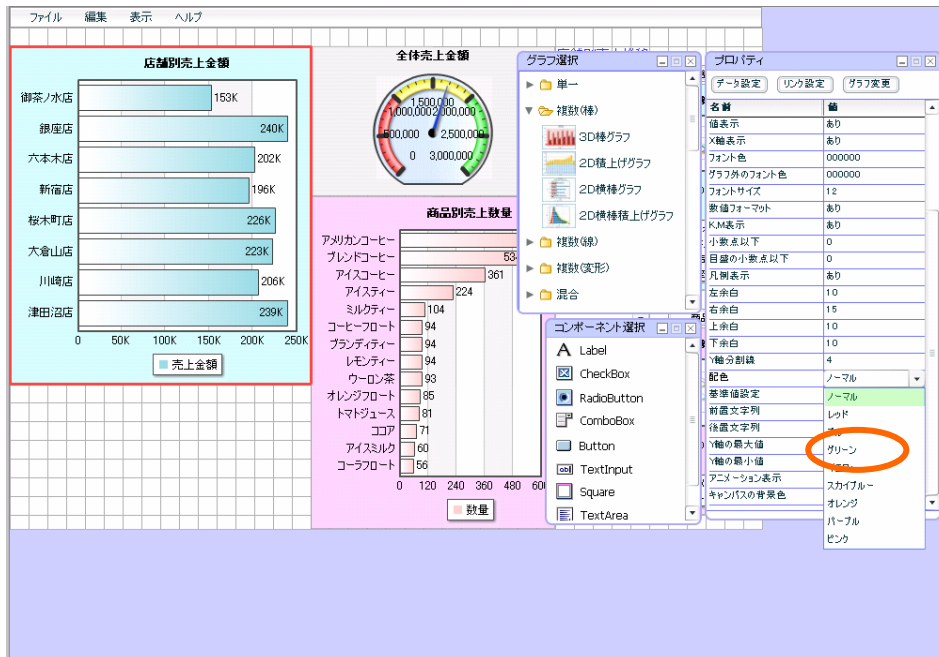
プロパティウィンドウから、「フォントサイズ」を「12」に設定します。



プロパティウィンドウから、「右余白」を「15」に設定します。



プロパティウィンドウから、「配色」を「ブルー」に設定します。

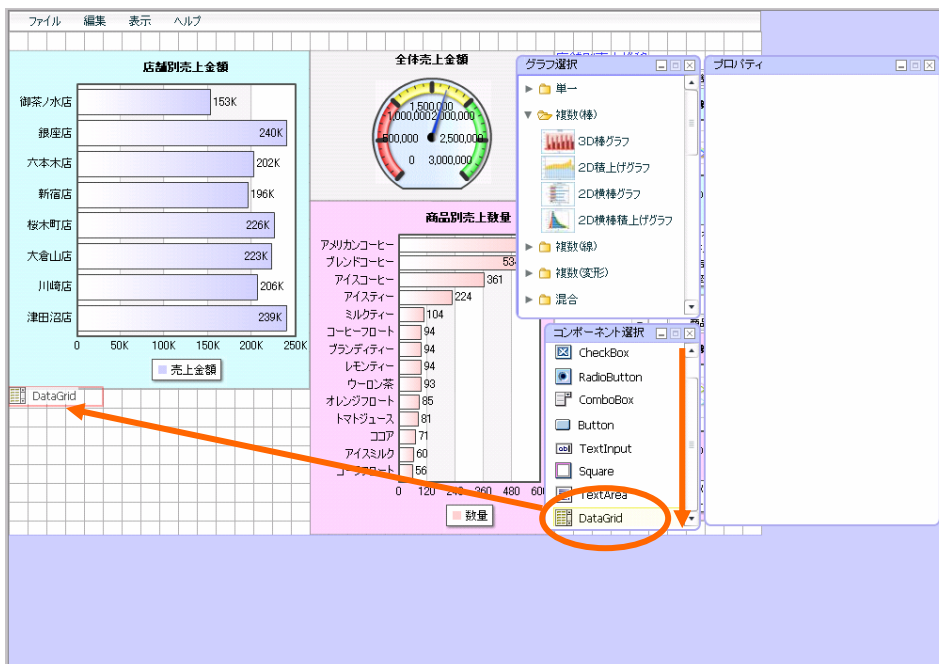


以上で、店舗別売上グラフの作成は終了です。

表配置

店舗別売上グラフに使用したデータを使用して、表を作成します。

コンポーネント選択ウィンドウから、データグリッドコンポーネントをドラッグアンドドロップします。



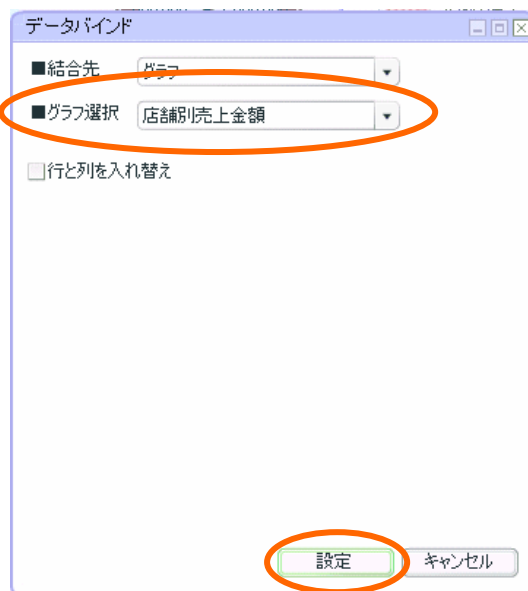
[データ設定]ボタンをクリックします。

ダイアログが表示されます。結合先は、「グラフ」を選択します。



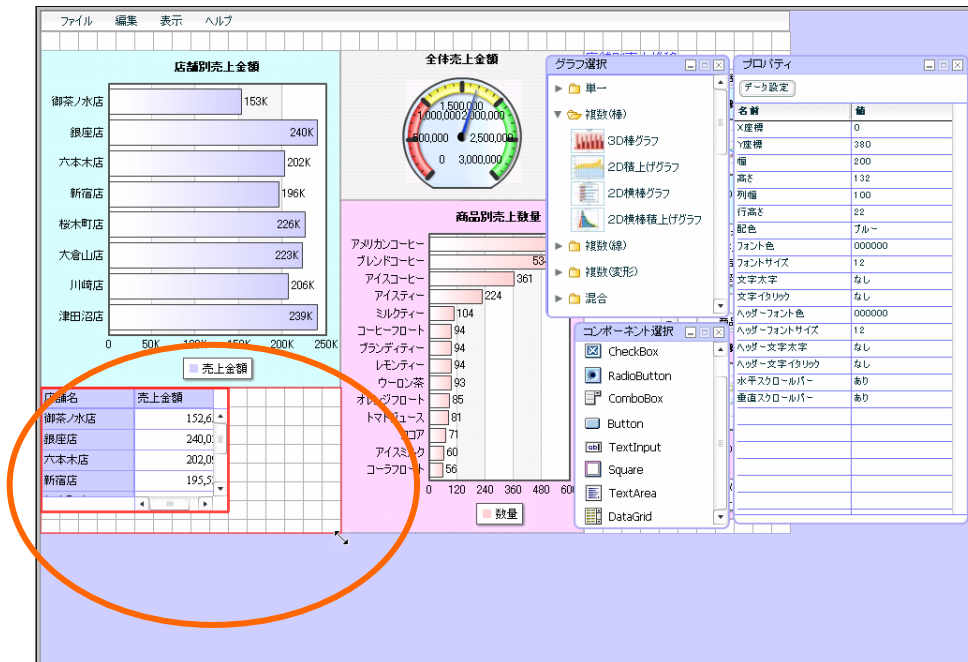
グラフ選択は、「店舗別売上金額」を選択します。

[設定]ボタンをクリックします。

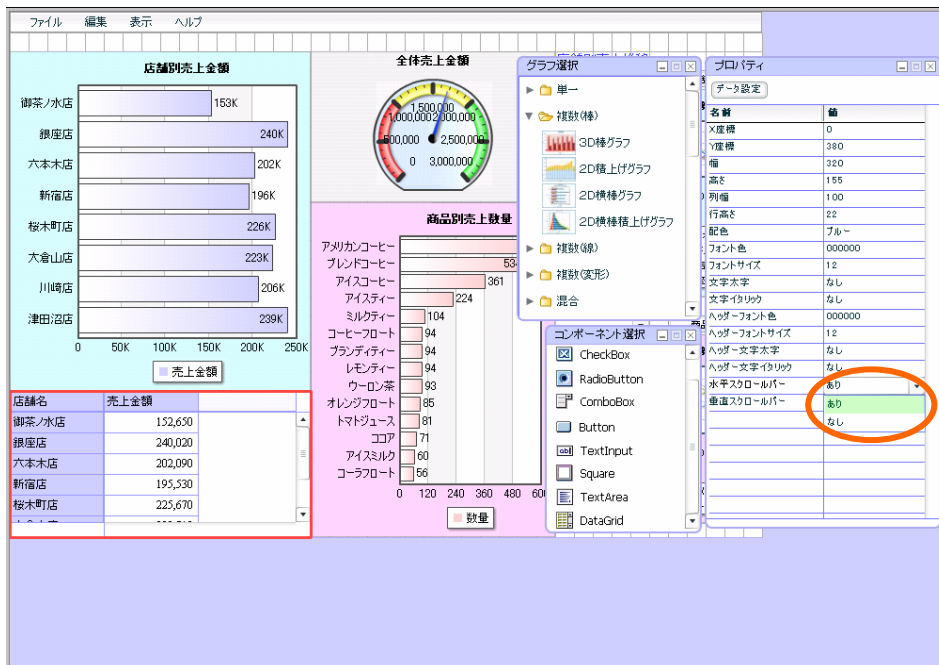


マウスドラッグで、幅「320」、高さ「155」に変更します。

X座標「0」Y座標「380」に移動させます。



プロパティウィンドウで、「水平スクロールバー」を「なし」に設定します。

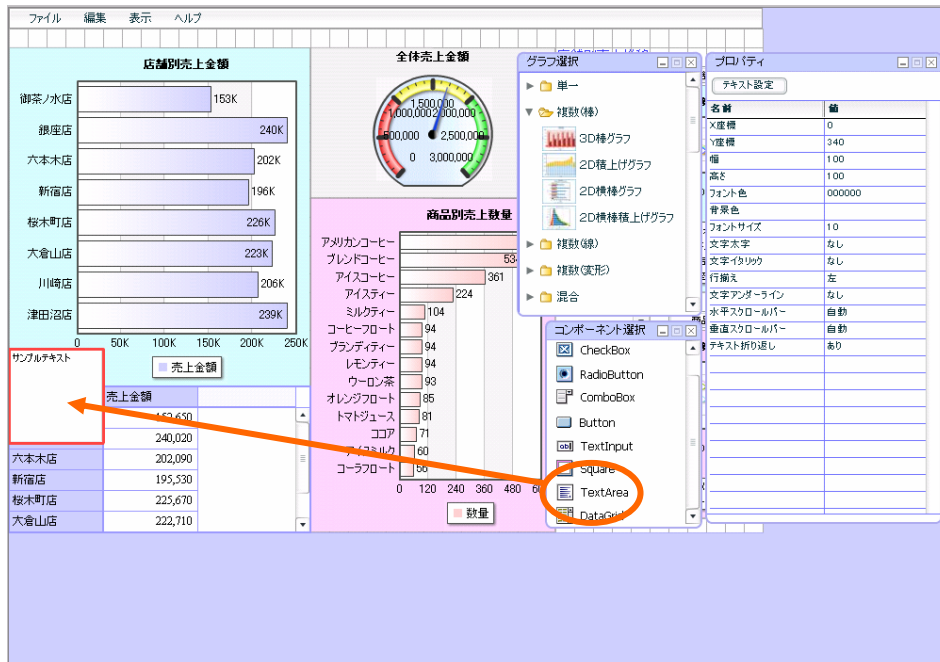


以上で、店舗別売上金額表の作成は終了です。

(任意) テキストエリアコンポーネント配置

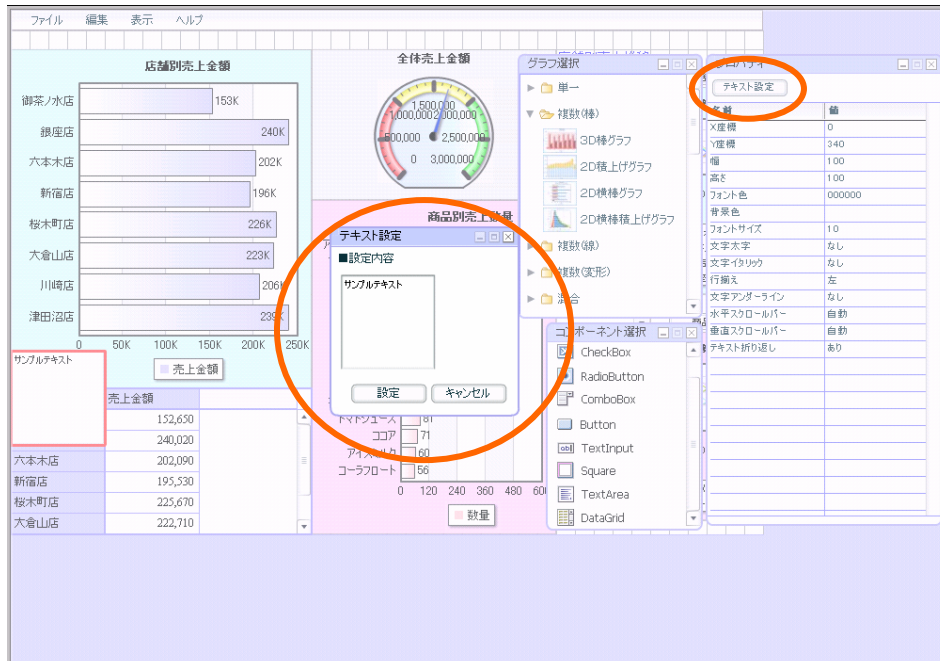
テキストエリアで、「店舗別売上金額グラフ」に説明書きを表示させます。

コンポーネント選択ウィンドウから、「テキストエリア」をドラッグアンドドロップします。

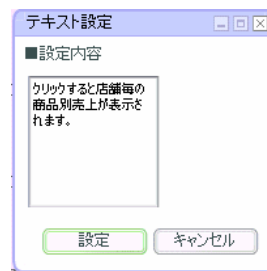


プロパティウィンドウの[テキスト設定]ボタンをクリックします。

ダイアログが表示されます。

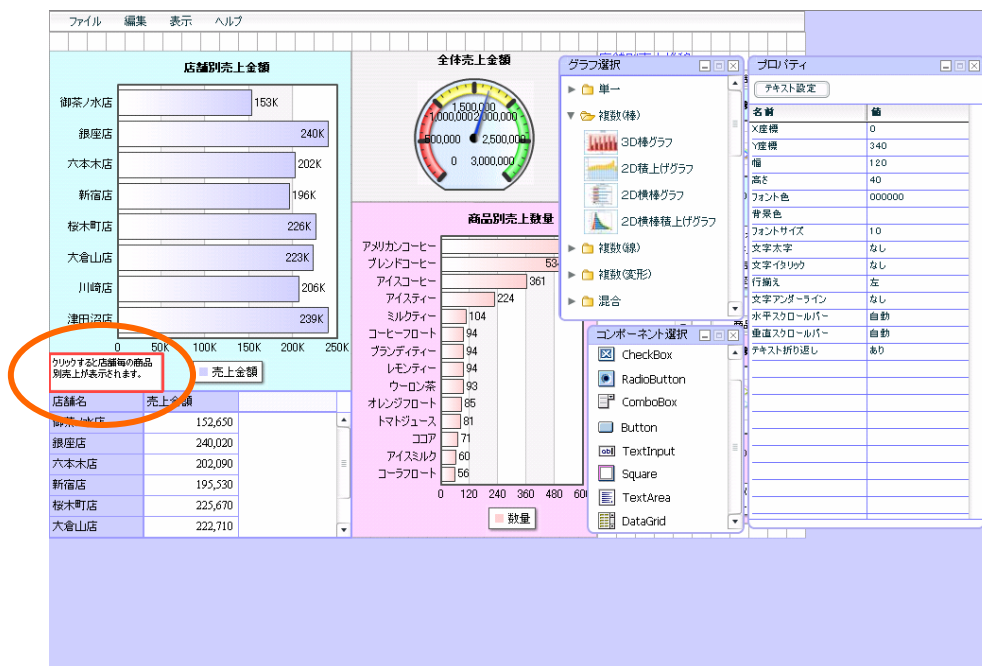


「クリックすると店舗毎の商品別売上が表示されます。」と入力し、[設定]ボタンをクリックします。



マウสดラッグで、幅「120」、高さ「40」に設定します。

X座標「0」Y座標「340」に設定します。

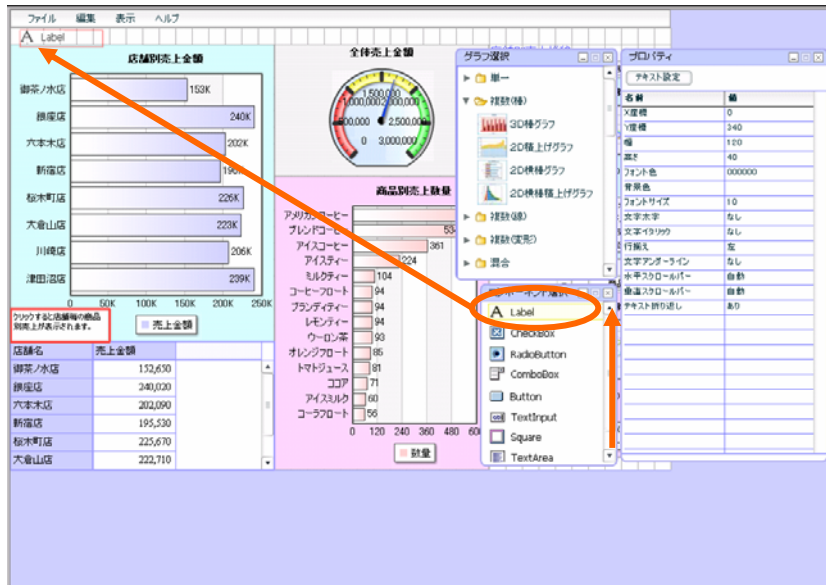


以上で、テキストエリアコンポーネントの設定は終了です。

(任意)ラベルコンポーネント配置

ダッシュボードの説明書きを表示させます。

コンポーネント選択ウィンドウから、ラベルをドラッグアンドドロップします。



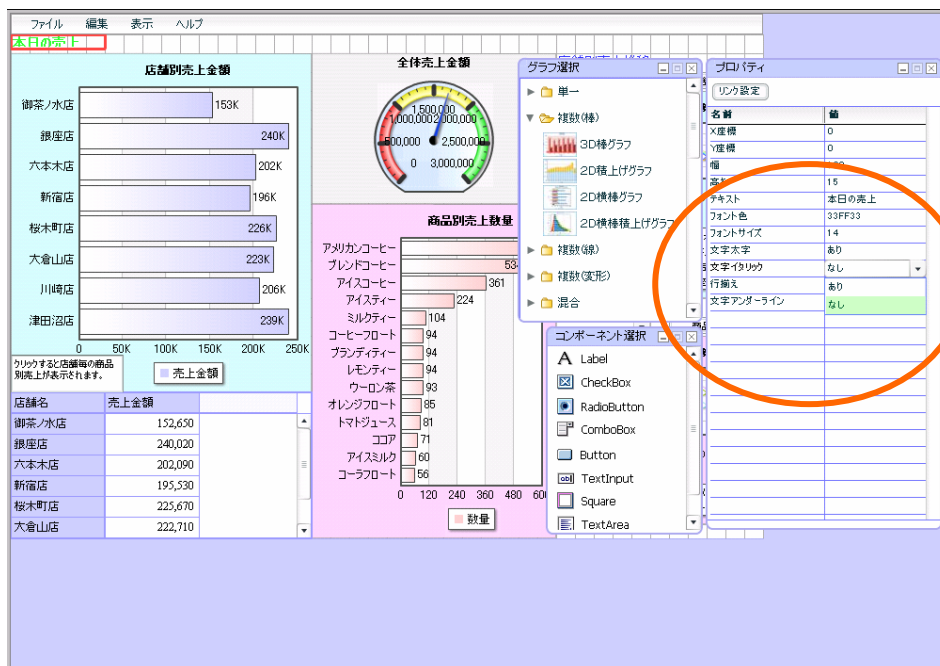
「プロパティウィンドウ」で、テキスト「本日の売上」と入力します。

「プロパティウィンドウ」で、フォント色「33FF33 (2行3列)」に設定します。

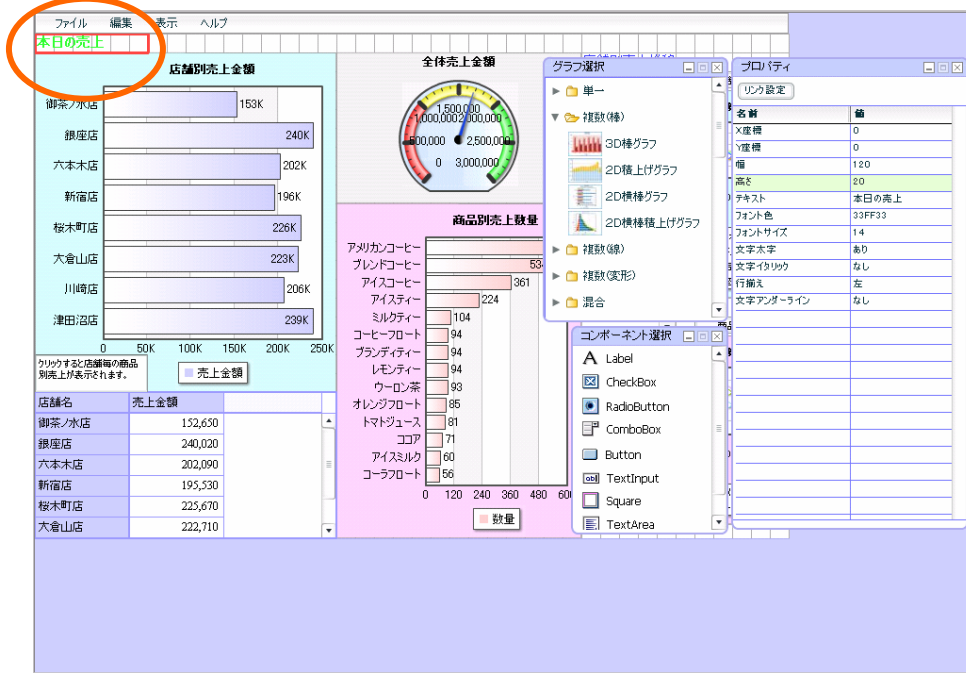
「プロパティウィンドウ」で、フォントサイズ「14」に設定します。

「プロパティウィンドウ」で、文字太字「あり」に設定します。

「プロパティウィンドウ」で、文字アンダーライン「あり」に設定します。

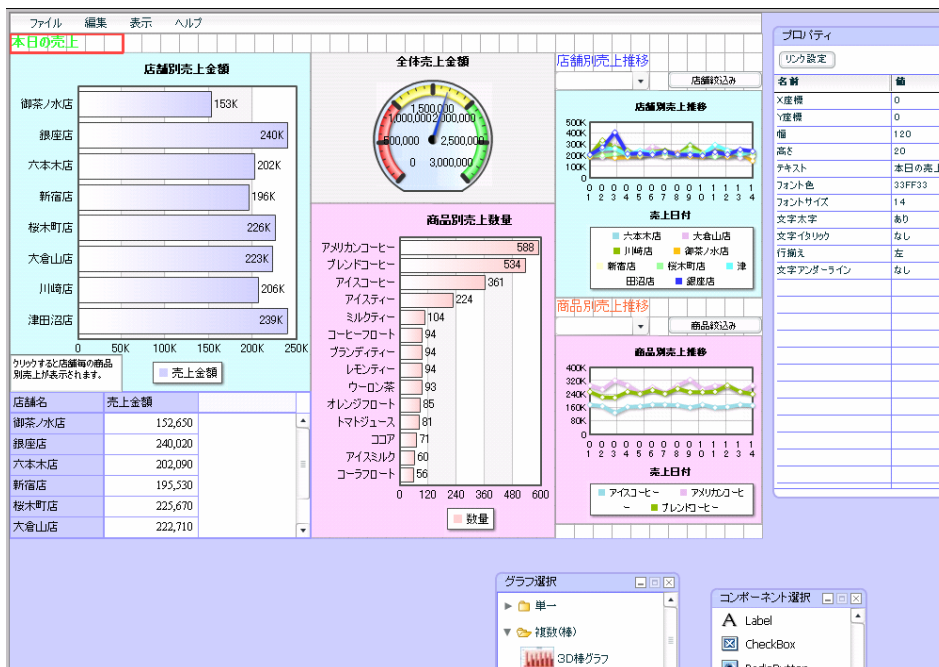


マウスドラッグで、テキストが表示できる大きさに変更します。（「幅」120、「高さ」20）



以上で、ラベルの設定は終了です。

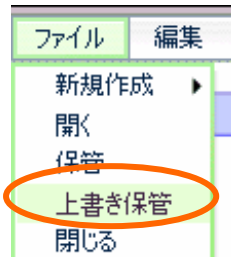
店舗別売上金額グラフ・表および全てのサンプルが完成しました。



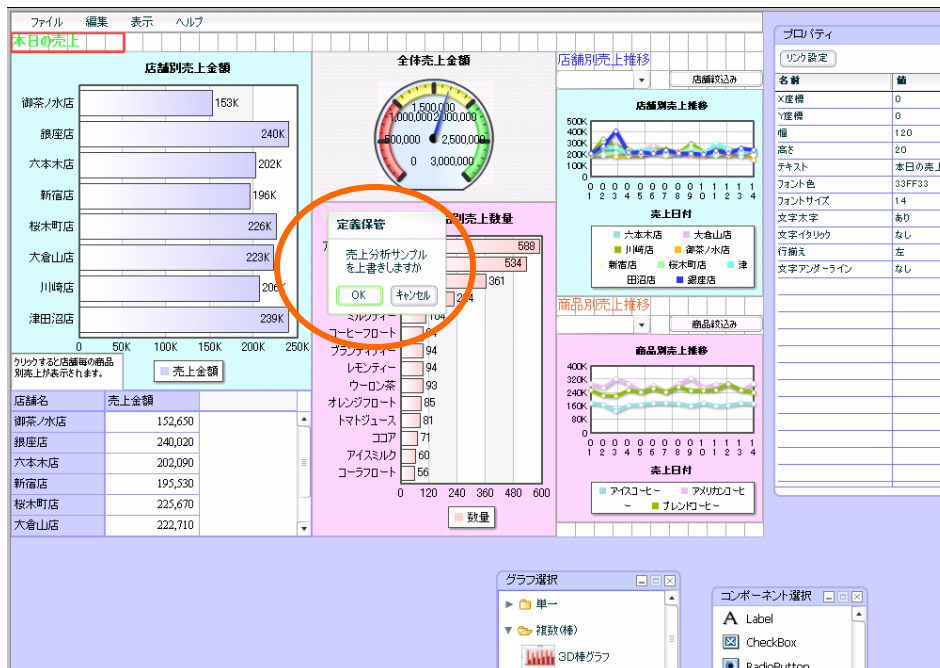
定義保管

定義を上書き保管します。この章のダッシュボードのみ作成した場合には、「第3章2」の**定義保管**をご参照の上、定義を新規保管し、**確認**へお進み下さい。

「ファイル」 - 「上書き保管」を選択します。



ダイアログが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



「ファイル」 - 「閉じる」で、ダッシュボードエディタを終了させます。

終了時には確認ダイアログが表示されますが、[いいえ]をクリックして下さい。

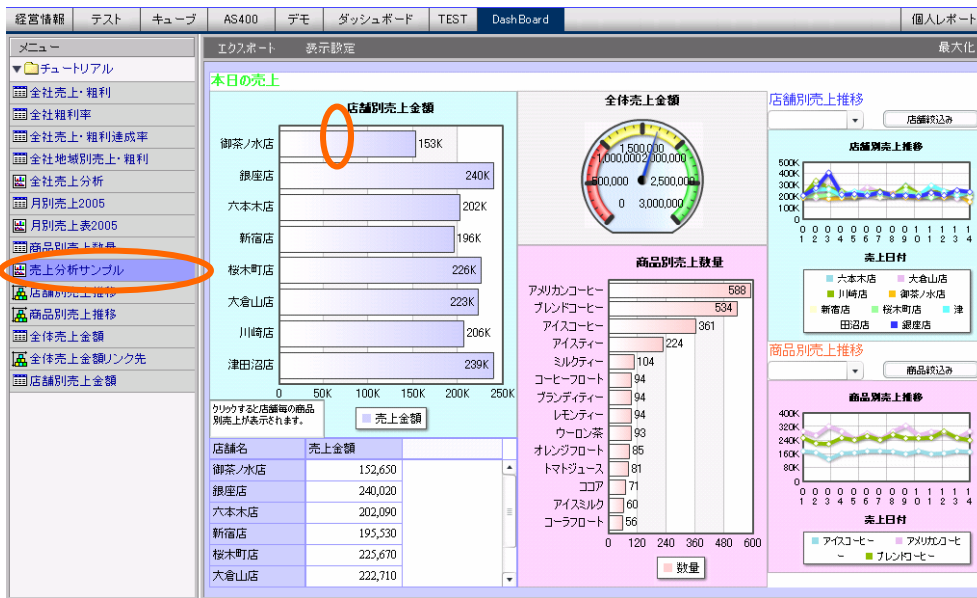
確認

作成した定義を確認します。

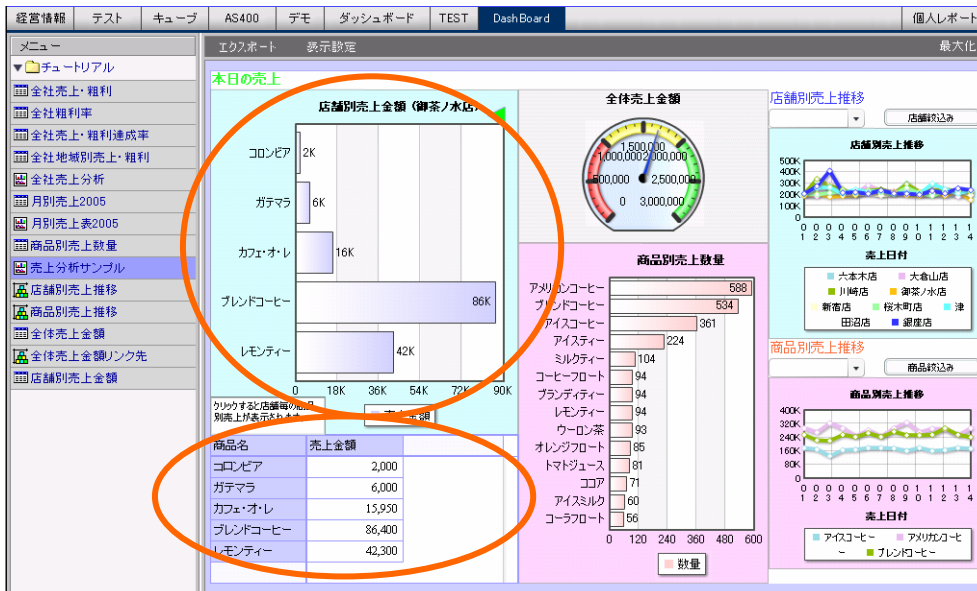
Web 実行画面から定義を保管したメニュー、フォルダを選択し、定義を選択します。

保管したグラフが表示されます。

「店舗別売上金額グラフ」の「御茶ノ水店」のデータをクリックします。



データがドリルダウンされ、表も変化します。



チュートリアルは以上です。

ダッシュボードチュートリアル

2007年01月31日 第1版発行

2018年07月05日 第11版発行

発行 JB アドバンスド・テクノロジー株式会社

お問い合わせ 弊社ホームページより、お問い合わせください。

<http://www.jbat.co.jp/>

本書は著作権上の保護を受けており、本書の全部あるいは一部に関して、JB アドバンスド・テクノロジー株式会社からの文書による許諾を得ず、無断で転写、複製することは禁じられています。また、本書はユーザーへ通知することなく変更される場合があります。

